

1770迄 (1648件)

1761年-08:00|インドネシア| |||<即位>デリ・スルタン「Tuanku Panglima Gandar Wahid」(~1805年)
1761年-05:30|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「クリスティアン・ファン・タイリッゲン」(~1765年)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>カッチ国統治者(ミルザ・マハラオ)「コタジ2世」(~1778年没)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>ジャバワハート国タナール兼ジャングラ国ワジル「ヤクト・カン」(~17720606死去)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>トリブワン国ラジャ「ハラム・マニヤ」(~1767年)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>ナガラ国ラジャ「マン・チャント」(~1762年頃没)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>ハシャル国統治者(ラ)「ウタル・シン」(~1785年没)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>マニラ国ラジャ「ガウリ・シヤム」(2回目~1763年)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>マニラ国ラジャ「タモダル・パニ・デオ」(~1796年没)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>ミラツ国統治者(ラ)「コウ・インド・ラ」建国(~1771年没)
1761年-05:30|インドネシア| |||<就任>ラムナト国ラジャ「ムトゥ・ラマリナ・セトゥパティ1世」(1回目~1772年)、摂政「ラニ・ムトゥ・ティルウ・エヤ・ナケル」(~1772年)
1761年-05:30|インドネシア| |||<即位>マヨール王国(マヨール・スルタン朝)スルタン「ハタル・アリー」(~17821207死去)
1761年-05:30|インドネシア| |||トルボール国はバートボールに併合された(~1775年)
1761年-05:00|パキスタン| |||<即位>カトール朝国王「Shah Khairullah」
1761年-04:00|UAE| |||<即位>アブ・ダビド統治者「Sheikh Dhiyab ibn `Isa ibn Nahayan」(~1793年死去)
1761年-04:00|UAE| |||<即位>アブ・ダビド首長「Sheikh Dhiyab bin Isa Al Nahyan」(~1793年死去)
1761年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「カミル・アフメド・ハッシャ」(~8月、地元の首長によって退位させられた)
1761年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「ハチ・ムスタファ・ハッシャ」(~1762年)
1761年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=フィリップスタール=ハルヒフェルト方伯アドルフ(~1803年)
1761年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「シャルロット・アンヌ・フランソワーズ」(~1799年)
1761年-01:00|ベトナム| |||<即位>アジヤチ・ホアのフォン王国国王「グビ・ヨン」(~1775年)
1761年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「サムス=ベリ」(~1779年)
1761年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチー司令官「フィリペ・ホセ・ソウト・マトス」(~1765年4月)
1761年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ総督「Chamber Senate」(~1767年)
1761年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「クリストヴ・アン・フェルナンド・ス・ロ・ス・ゴ・デ・イニョ・サンチス」
1761年 00:00|イギリス| |||ジョン・ハリソンが船舶用の小型時計を完成
1761年 00:00|イギリス| |||ブラックが物質の状態の変化にのみ熱が使われる「潜熱現象」を発見
1761年 04:00|セントピント/フランス| |||<就任>フランス軍セントピントセント司令官「デュボネ」(~1762年)
1761年 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Louis-Charles Le Vassor de La Touche」(~1762年)
1761年 05:00|ハイチ/イギリス| |||サント・マング、イギリス人により占領
1761年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニュージャージー総督「ジョサイア・ハーディー」(~1763年)
1761年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「ホセ・サント・パ・ハモン」(~1769年)
1761年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ州暫定市長兼副司令官「マヌエル・フラディック・イ・ゴイェナ」(1回目~1763年)
1761年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「アロンソ・デ・カルデナス」(~1762年)
1761年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア暫定総督「メルチョル・ビタル・デ・ロカ・イ・ビリエナ」(2回目~1766年)
1761年 07:00|メキシコ/スペイン| |||マヤ族の反乱。指導者はイツァルの後えいとしてカクをなめる/スペインはカクをとらえ四つ裂きの刑に処す
1761年1月1日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|宝暦10年11月26日|<交替>肥前佐賀藩32万石「鍋島宗教」隠居⇒弟「鍋島重茂」が継ぐ(⇒明和7年閏6月10日(17700801)、死去)
1761年1月6日-05:30|インドネシア| |||<就任>ダール国ラジャ「カンデ・ラオ・プアル」(~1782年没)、摂政「ラニ・ガハナ・バイ・ラジエ」(~1777年)
1761年1月6日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝暦10年12月|「三十三間堂棟由来」<柳>初演、人形浄瑠璃、豊竹座
1761年1月8日-09:00|日本|京都府京都市|宝暦10年12月3日|<就任>京都所司代「阿部正右」(⇒1764(明和1年5月1日))
1761年1月8日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦10年12月3日|<就任>老中「井上正経」(~宝暦13年3月13日)
1761年1月12日-05:30|インドネシア| |||ハニーハットの戦い/マラーター軍完敗
1761年1月12日-09:00|日本|千葉県成田市|宝暦10年12月7日|<交替>下総高岡藩1万石「井上正森」隠居⇒養子「井上正国」が継ぐ(⇒寛政3(1791)年3月7日、隠居)
1761年1月14日-05:30|インドネシア/アフガニスタン| |||<第三次ハニーハットの戦い>ドゥッラーニ朝シャー・アフマド・シャー・ドゥラフ・ザ・ウラフがインドの覇権を握りつつあったマラーター同盟の軍勢を破り、その北進の中断と結束を崩すことに成功
1761年1月15日-05:30|インドネシア/アフガニスタン| |||<死去>グワリヤル太守「ジャンゴジ・ラオ・シンデ・イ1世」アフガン軍に処刑された(グワリヤル太守は17631125まで不在)
1761年1月15日-05:30|インドネシア/イギリス/フランス| |||イギリス軍がフランス領ポント・イシエリを占領(~17650411)
1761年1月16日-05:30|インドネシア| |||フランス東インド会社のポント・イシエリがイギリス東インド会社の攻撃で陥落
1761年1月18日 00:00|チャンド諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ジャージー島知事「John Huske」
1761年1月21日-09:00|日本|滋賀県長浜市|宝暦10年12月16日|<死去>近江小室藩12460石「小堀政峯」(72歳)⇒翌年2月7日、七男「小堀政方」が継ぐ(⇒天明8(1788)年6月12日奉行在職中の専権不正ありとして免職改易)
1761年1月21日-09:00|日本|長崎県大村市|宝暦10年12月16日|<死去>肥前大村藩24973石「大村純保」(27歳)⇒次男「大村純鎮」が継ぐ(⇒享和3(1803)年1月23日隠居)

1770迄(1648件)

1761年1月28日 00:00|チャリ諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「George Keppel」(~17721013死去)
1761年1月29日-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・パハン・リアウ・リンガ(ジョホール帝国)スルタン「アブドゥル・ジヤリル・ムアッザム・シャー・イブン・アル=マフム・スルタン・スライマン・シャー」
1761年1月29日-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・パハン・リアウ・リンガ(ジョホール帝国)スルタン「アフマド・イブン・アル=マフム・スルタン・アブドゥル・ジヤリル」(~1762年没)
1761年1月31日-09:00|日本|新潟県長岡市|宝暦10年12月26日|<死去>越後与板藩2万石「井伊直郡」(18歳)⇒翌年2月18日、弟「井伊直朗」が継ぐ(⇒文政2(1819)年12月20日、死去)
1761年2月2日-04:00|ロシア| |||<就任>カラムイク汗国摂政「ウハシ」(~17710116)
1761年2月5日-09:00|日本|東京都|宝暦11年1月|土佐座(竹本伊勢太夫、人形浄瑠璃)開場
1761年2月7日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Louis Le Vassor de La Touche sieur de Treville」(~17620215)
1761年2月7日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ファン・デ・フランド・マサ・ホルタレロ」(~17620813)
1761年2月14日 00:00|イギリス| |||<死去>6代アングルス伯「リチャード・アンスリー」廃絶
1761年2月17日-05:30|インド/イギリス/フランス| |||フランス領マヘをイギリス軍が陥落し、カナールの支配者に与えられる
1761年2月25日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 副王「ラ・ベガ・デ・アルミ侯爵ペドロ・マシア・デ・ラ・セルタ」(~17721131)
1761年2月27日-09:00|日本|新潟県新発田市|宝暦11年1月23日|<交替>越後新発田藩5万石「溝口直温」隠居⇒長男「溝口直養」が継ぐ(⇒天明6(1786)年閏10月6日、隠居)
1761年3月3日 00:00|イギリス| |||<昇格>キルデア伯「ジェームズ・フィッツジェラルド」⇒初代キルデア侯兼初代オファリー伯(⇒17661126兼初代リンスター公~17731119死去)
1761年3月7日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝暦11年2月|「いろは新助」初演、[作・竹田治蔵]
1761年3月10日-09:00|日本|長崎県対馬市|宝暦11年2月4日|対馬府中大火. 九百余戸を焼失
1761年3月14日-09:00|日本|千葉県佐倉市|宝暦11年2月8日|<死去>下総佐倉藩11万石(老中)「堀田正亮」(50歳)⇒3月26日、家督を三男「堀田正順」が継ぐ(⇒文化2(1805)年7月12日、死去)
1761年3月19日 00:00|イギリス| |||<就任>タルボット伯「ウィリアム・タルボット」(~17820427死去廃絶)
1761年3月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝暦11年2月14日|豊竹座焼失
1761年3月27日-09:00|日本| ||宝暦11年2月21日|武家諸法度を領つ
1761年3月29日-05:30|インド| |||<即位>パティアラ国マハラジャ「アラ・シン」建国(~17650822没)
1761年3月31日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|宝暦11年2月25日|<死去>播磨山崎藩1万石「本多忠堯」(25歳)⇒妹婿「本多忠可」が継ぐ(⇒天明8(1788)年、隠居)
1761年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マッジョーニ」[マリノ・マルテッリ]
1761年4月2日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「ホセ・マルティネス・フォンテス」(~17641130没)
1761年4月3日-05:30|インド| |||<就任>ウダipur 国統治者(マハラ)「アリ・シン」(~17730309没)
1761年4月15日 00:00|イギリス| |||<死去>3代アーガイル公「アーチボルト・キャンベル」
1761年4月15日 00:00|イギリス| |||<就任>4代アーガイル公「ジョン・キャンベル」(~17701109死去)
1761年4月20日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Ambrosio de Benavides Medina Linan y Torres」(~17660312)
1761年4月27日-07:00|タイ| |||<即位>ラーナー王朝国王「キ・ハット」(~1762年)
1761年4月28日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<死去>イギリス領ジブラルタル知事・8代ヒュム伯「ウィリアム・ヒュム」
1761年4月28日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「ジョン・トウーイー」(~6.13)
1761年4月28日 00:00|イギリス| |||<就任>9代ヒュム伯「アレクサンダー・ヒュム」(~17861008死去)
1761年4月29日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>東インド諸島(トランバル)デンマーク領総督(キューバーン)「ピーター・ヘルマン・アヘステイ」(1回目~17750214)
1761年5月13日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン=フィリップスタール=ハルヒフェルト方伯「ヴィルヘルム」
1761年5月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=フィリップスタール=ハルヒフェルト方伯「アドルフ」(~18030717死去)
1761年5月14日 00:00|イギリス| |||<死去>初代シェルバーン伯「ジョン・ベティ」
1761年5月14日 00:00|イギリス| |||<就任>2代シェルバーン伯「ウィリアム・ベティ」先代の長男(⇒17841206兼ランズダウン侯~18050507死去)
1761年5月15日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<死去>オランダ領東インド 総督「Jacob Mossel」
1761年5月15日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド 総督「Petrus Albertus van der Parra」(~17751228死去)
1761年5月23日-08:00|中国| |||雲南、玉溪地震/M6.3、余震と併せて死者200人以上
1761年5月30日-09:00|日本|栃木県日光市|宝暦11年4月26日|<死去>東照官祠官で国学者の吉見幸和(89歳)
1761年6月-05:30|インド| |||マイソール王国の実権を握ったハイダル・アリーがサルヴァー・アデ・イカーリ(首席大臣)に任命された
1761年6月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「グリゴール・イヴァン・カリマチ」(1回目~1764年3月)
1761年6月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「コンスタンティン・ニコラエ・マウロルタット」(6回目~1763年3月)
1761年6月2日-09:00|日本| ||宝暦11年4月29日|<死去>3代伊藤宗看(56歳)将棋棋士/七世名人
1761年6月6日 04:00|トミカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミカ総督「ロ卿アントニョ・ロ」(~1763年)
1761年6月6日 04:00|トミカ国/イギリス| |||イギリスがトミカ占領
1761年6月8日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリスがフランス領のベル・イルを奪う
1761年6月13日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「ジョン・ハースロー」(~17620614)

1770迄(1648件)

1761年6月14日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「アロンソ・フェルナンデス・デ・エルティア」(~17651203)

1761年6月21日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「暫定政府(マニエル・デ・サント・イグネス/ルイス・カルヴァリョ・デ・アンドラーダ/ゴンサロ・シャビエル・デ・バロス・エ・アルグイム)」(~17630627)

1761年6月23日-05:30|インド| |||<死去>マラーター王国宰相「バーラー・シー・バー・シー・ラー・オ」

1761年6月23日-05:30|インド| |||<就任>マラーター王国宰相「マダーウ・ラー・オ1世」(~17721118死去)

1761年6月27日-09:00|日本|新潟県村上市|宝暦11年5月25日|<交替>越後村上藩5万石「内藤信興」隠居⇒長男「内藤信旭」が継ぐ(⇒翌年6月17日、死去)

1761年6月29日-04:00|モリシヤス/イギリス| |||トマス・フレッチャー大尉率いるイギリス船「ラッシー」がトリリガス島港を砲撃し、住民を強制的に追いやる(1763年まで)

1761年7月-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督代理「Manuel Antonio Rojo del Rio y Viera」(~17621006)

1761年7月2日-08:00|中国| ||清・乾隆26年6月|清が貴州の漢族と苗族の通婚の禁をゆるめる

1761年7月3日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カナリア諸島総司令官「Pedro Rodriguez Moreno y Perez de Otero」(~1764.7)

1761年7月4日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの作家サミュエル・リチャードソン/72歳(誕生1689年)

1761年7月13日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦11年6月12日|<死去>第9代将軍「徳川家重」(51歳、正徳1(1711)1221生)

1761年7月21日 00:00|イギリス| |||<就任>ダグラス侯「ジェイムズ・ハミルトン」7代ハミルトン公・4代ブランドン公(~17690707死去)

1761年7月22日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「John Wood」(~17770430死去)

1761年7月23日-09:00|日本|愛知県名古屋|宝暦11年6月22日|<死去>尾張藩61万9500石「徳川宗勝」(57歳)⇒8月5日、次男「徳川宗睦」が継ぐ(⇒寛政11(1799)年12月20日、67歳で死去)

1761年8月-02:00|エジプト/トルコ| |||<交替>オスマン帝国領エジプト総督「カミル・アフメド・パシャ」地元の首長によって退位させられた⇒「ケセ・パヒル・ムスタファ・パシャ」就任(2回目~1762年)

1761年8月4日-09:00|日本|東京都|宝暦11年7月4日|<死去>歌舞伎役者・藤川平九郎

1761年8月6日-09:00|日本|三重県|宝暦11年7月6日|<死去>野呂元文(69歳)本草学者/日本における蘭学の先駆者

1761年8月12日-09:00|日本|福井県あわら市|宝暦11年7月12日|坂井郡北金津で火事、244軒焼失

1761年8月14日-09:00|日本| ||宝暦11年7月14日|<死去>河村九兵衛(83歳)豪商、茶人

1761年8月15日-01:00|フランス/イタリア/スペイン| |||フランス、スペイン、ナポリが家門協定を結び、七年戦争での対イギリス防衛の結束を確認

1761年8月15日 06:00|アメリカ/フランス/スペイン| |||フランスはルイジアナをスペインに譲渡

1761年8月24日-09:00|日本| ||宝暦11年7月24日|<死去>杉浦乗意(61歳)装剣金工

1761年9月8日 00:00|イギリス| |||(英)ジョージ3世、シャーロット・ソフィアと結婚

1761年9月9日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督代行「フェリックス・イグナシオ・デ・ペロタ・イ・トレス」(~17621003)

1761年9月19日 00:00|ポルトガル| |||ポントバル、ポルトガル本国における奴隷制を廃止。ブラジルにおいても訴えがあれば奴隷を解放すると布告

1761年9月24日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領エクアドル暫定総督・総司令官・大審問院長「マニエル・ルビオ・デ・アレバロ・イ・マルティン」(2回目~17660409)

1761年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリッポ・マネンティ」「マルク・アントニオ・タッシーニ」

1761年10月6日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ハリアックス伯爵ジョージ・モンタギュー・ダウ」(~17630922)

1761年10月11日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「マルセリン・ペレイラ・アピラ」(~11.3没)

1761年10月12日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「マニエル・デ・アマト・イ・ジュニエント・プラネッタ・アイメリック・イ・サンタ・パウ」(~17760717)

1761年10月14日-09:00|日本|東京都中央区|宝暦11年9月17日|火事で市村座焼失

1761年10月22日-01:00|トイツ| |||<死去>バーテン・バーテン辺境伯「ルトヴィヒ・ゲオルク」

1761年10月22日-01:00|トイツ| |||<就任>バーテン・バーテン辺境伯「アウグスト・ゲオルク」(~17711021死去)

1761年10月24日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「洪鳳漢」(~17620623)

1761年10月28日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケウ国王「ティリウ」(~17620203)

1761年11月3日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督代行「アントニオ・バロス・ベセラ・デ・オリベイラ/ルイス・ロマン・ダ・シルバ」/商工会議所上院」(~17640219)

1761年11月7日-09:00|日本|東京都台東区|宝暦11年10月11日|<大相撲>宝暦11年10月場所[江戸浅草八幡宮](~8日間)優勝(西前2)戸田川、7勝2敗

1761年11月17日 04:00|セントシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントシア司令官「セザール・ルネ・デ・リエト・ロンギユイル」(~17620225)

1761年11月23日-09:00|日本| ||宝暦11年10月27日|<死去>井上蘭台(57歳)漢学者、戯作者

1761年11月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆26年10月28日|朝鮮が奢侈禁止令により金銀の使用を禁じる

1761年11月27日-09:00|日本| ||宝暦11年11月2日|<死去>松木淡々(88歳)俳人

1761年12月2日 06:00|アメリカ/イギリス| |||イギリス政府、植民地人によるネイティブ・アメリカン領地への侵入を規制

1761年12月9日-09:00|日本|福島県いわき市|宝暦11年11月14日|<交替>陸奥湯長谷藩15000石「内藤政業」隠居⇒養子「内藤貞幹」が継ぐ(⇒安永7(1778)年6月23日、死去)

1761年12月9日-09:00|日本|山形県上山市|宝暦11年11月14日|<死去>出羽上山藩3万石「松平信将」(45歳)⇒長男「松平信亨」が継ぐ(⇒寛政2(1790)年2月20日、強制隠居)

1770迄 (1648件)

1761年12月22日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「トマス・ブーン」(~17640514)
 1761年12月22日-09:00|日本| |||宝暦11年11月27日|<死去>井上蘭台 (57歳)儒学者、戯作者
 1761年12月22日-09:00|日本|京都府宮津市|宝暦11年11月27日|<交替>丹後宮津藩7万石「松平資昌」隠居⇒養子「松平資尹」が継ぐ(⇒明和2 (1765) 年7月23日、死去)
 1761年12月23日-05:30|インド| |||<コチン・トラヴァンコール戦争: 1756年~>トラヴァンコール王国とコチン王国が和平条約締結
 1761年12月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝暦11年12月|「秋葉権現廻船噺」[作・並木正三]大坂中の芝居, 三樹大五郎座, がんどう返し始まる(どんでん返しの語源), 日本駄右衛門、同元祐明・初代中村歌右衛門
 1761年12月26日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦11年12月1日|<就任>老中「松平輝高」(~天明1年9月25日)
 1761年12月31日-09:00|日本|福井県鯖江市|宝暦11年12月6日|<交替>越前鯖江藩5万石「間部詮方」隠居⇒次男「間部詮央」が継ぐ(⇒明和8 (1771) 年5月29日、死去)
 1762年-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・パハン・リアウ・リンガ (ジョホール帝国) スルタン「アフマド・イブン・ニアル=マルフム・スルタン・アフドゥル・ジャリル」(~
 1762年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事代行「フリアル・フランシスコ・ダ・フ・リフィカカオ」「フランシスコ・ホネ」(~1763年)
 1762年-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・パハン・リアウ・リンガ (ジョホール帝国) スルタン「マフムト3世シャー・アラム・イブン・ニアル=マルフム・スルタン・アフドゥル・ジャリル・シャー」(~18110112没)、摂政「デーン・ケンホジャ」(~1770年没)
 1762年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ第18代スルタン「オマル・アリ・サイフディン1世」(~1795年)
 1762年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン精神的支配者・国家元首「チョェキ・ギャルツェン」(~1788年没)
 1762年-05:45|ネパール| |||<即位>ラリタプーラ王「シヤラン・ツァツマ」(~1763年)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>アウド 国統治者 (パンツ・プーティニティ)「ハスカラ」(~同年没)
 1762年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「スルッティン・カーン・ハンザイ」(1回目~3ヶ月)⇒「ブーランド・カーン・ハンザイ」(~1764年)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>オカラザイ朝(クルワイ、パソダ、モハマト・ガル) 太守「Mohammed Hormat Khan」(~1792年死去)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>クルワイ国支配者(ナワブ)「モハメッド・ホーマット・カーン」(~1792年没)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>ケンジヤル国ラジャ「プーラツッパ・ハルハド・ラ・パニ」(~1794年)
 1762年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>ジャム・アフガニスタン総督「スル・ウッティン・カーン・ハムザイ」(1回目~3ヶ月)⇒「ブーランド・カーン・ハムザイ」(~1764年)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>ジュナガド 国支配者(ナワブ)「モハマト・マハバート・ハンジ-1世」(2回目~17741202)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>スケト国ラジャ「ランジツ・セン」(~1791年没)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>チョタ・ウダーイプル国ラジャ「アルシンジ」(~1771年)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>チョタ・ナグプール国支配者(ラジャ)「トウプ・ナス・シャー」(~1790年)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>ナガール国ラジャ「ガジェ・シン」(~1788年)
 1762年-05:30|インド| |||<就任>マルコト国支配者(ナワブ)「ビカン・カーン」(~1763年没)
 1762年-05:30|インド| |||<即位>ダティア国統治者(マハラジャ・ラオ・ラジャ)「サトルジツ・シン」(~1801年)
 1762年-05:30|インド| |||<即位>パトナ国マハラジャ「フリトウ・イラージ・デオ」(~1765年)
 1762年-04:00|アルメニア| |||<即位>エリヴァン汗国ハーン「ホセイン・アリ・ハーン」(~1783年)
 1762年-04:00|アゼルバイジャン| |||シャッキはダゲスタンのガジ=クムクに占領される
 1762年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダットのベイ及びワリス「サディン・ハシャ」⇒「アリ1世アガ」(~1764年)
 1762年-03:00|スーダン| |||<就任>フンジのホルドファン総督「ハディ・ワラト・ラジャブ」(~1775年頃)
 1762年-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ・スルタン国摂政「ムハンマド・アフ・リカイリク」(~1768年)
 1762年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Abdullah Pasha al-Farari」(~同年)
 1762年-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>エストニア総督「ペーター・アウグスト・フリートリヒ・ヘルツォーク・フォン・ホルシュタイン=ベック」(~17750308)
 1762年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「エベキル・ラシム・ハシャ」(~任期2ヶ月後に死去)⇒「アヒスカリ・メフメト・ハシャ」(~1764年)
 1762年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<就任>ヨアニナ(総督)「メフメト・ハシャ」(~1775年)
 1762年-02:00|ラトヴィア/エストニア| |||<就任>リガ大司教・ラント公「コッタルト・フォン・ウェーゲザック若公」(~17640910没)
 1762年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「コカ・アリ・ハシャ」(1回目~同年)⇒「ダマト・メリク・メフメト・ハシャ」(1回目~1764年)
 1762年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ総督「グロティッチ」(~1764年)
 1762年-01:00|ドイツ| |||<就任>リッペン=ヒェステルフェルト 侯「Friedrich Karl」(~17810731死去)
 1762年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニココ「セバステイアン2世」(~1763年)
 1762年-01:00|イタリア| |||トレヴィの泉完成(イタリア, ローマ市)
 1762年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>スペイン王国フェルテントウ島永続的軍政知事「Melchor de Cabrera Bethe ncourt Dumpierrez」
 1762年 00:00|モリタニア| |||<就任>プーラナ連合ミール「アファイタ」
 1762年 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン| |||<就任>トリニダード 知事「ル・アントニオ・キルナイト」(~1765年)
 1762年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>ネイビス大統領「ジョン・リチャード・ソッハーバート」(~1766年)
 1762年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ暫定総督「ル・アントニオ・ラオン・イ・グティエレス」⇒「ル・デ・アラナ・イ・コルニカ」(~1764年)
 1762年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ暫定総督「ル・アントニオ・デ・オレアムノ・イ・バスケス・メンデス」(2回目~17640403)
 1762年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Tomas Velez Cachupin」(~1767年)

1770迄(1648件)

1762年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ルチオール・フェリウ」(~1763年)
1762年1月2日-01:00|スペイン/イギリス| |||スペインが七年戦争に参戦/対英宣戦布告
1762年1月4日-04:00|モリスヤス/フランス| |||<就任>マリアヌ島司令官「イグ・マチュリン・ジュリエンス」(~1782年4月)
1762年1月5日-09:00|日本|徳島県阿南市|宝暦11年12月11日|<死去>平島公方「平島義武」⇒嫡男「平島義宜」が継ぐ(~安永7年4月2日(17780428)、死去)
1762年1月5日-09:00|日本|長野県上田市|宝暦11年12月11日|<上田騒動>上田藩(藩主松平忠順)の農民約13,000人が夜明けとともに上田城下になだれ込んだが、彼らが入城したとき藩主は江戸に出府中で、家老の岡部九郎兵衛が代わりに願いを聞いた
1762年1月5日-04:00|ロシア| |||ロシア暦1761年12月25日|<死去>ロシア帝国女帝「エリザベータ」飲酒と乱倫の生活ののち急死/52歳(誕生17091228)
1762年1月5日-04:00|ロシア| |||ロシア暦1761年12月25日|<即位>ロシア皇帝「ピョートル3世」(~7.9没)
1762年1月6日-09:00|日本|長野県上田市|宝暦11年12月12日|<上田騒動>農民たちは城下町で打ち壊しを行ったほか、小牧村の庄屋が役人と結託しているとして、庄屋の家を襲撃
1762年1月11日-09:00|日本|栃木県さくら市|宝暦11年12月17日|<死去>喜連川藩4500石(10万石格)「喜連川氏連」(23歳)⇒翌年2月23日、養子「喜連川恵氏」が継ぐ(⇒寛政元(1789)年12月10日、隠居)
1762年1月19日-04:00|ジョージア| |||<死去>カトリ王「テムラズ」2世
1762年1月19日-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ・カティ王「エレレ2世」(~17980122没)
1762年1月20日 05:00|ジャマカ/イギリス| |||<就任>英領サテティアコ総督「ウィリアム・ヘンリー・リトルトン」(~17660602)
1762年1月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝暦11年12月30日|幕府大坂米商の空米切手及び両替商の印金売買を禁ず
1762年1月30日 00:00|イギリス| |||<就任>初代モリ伯「ジョン・ロートン」(~17930620死去)
1762年2月-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン大統領府総督代理「Samuel Ardley」(~7月)
1762年2月 00:00|イギリス/セントビンセント| |||<就任>イギリス領セントビンセント総督「ロバート・モンクトン」セントビンセントをイギリスが占領(~同年)⇒「ロバート・メルガイル」(~同年)
1762年2月3日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウカウー国王「サンタハラム」(~17640501)
1762年2月3日-01:00|フランス| |||パリの「オペラ・コミック座」が「オテル・ド・ブルゴーニュ劇場」にいた「コメディ・イタリアン」と合併
1762年2月3日-01:00|イタリヤ| |||ベネツィアでガスパロ・ゴッツィ、ロッセッラ・アト・レ・ヴェネト・ペリオリョを公開
1762年2月5日 00:00|イギリス/グレタ/マルティニク| |||イギリス軍艦隊が、マルティニクのフランス軍拠点を奪う。さらにフランス領のグレタを占領
1762年2月10日 00:00|イギリス/セントビンセント| |||<就任>イギリス植民地セントビンセント(グレタに從属)副総督「ジョージ・マディソン」(~1764年)
1762年2月11日-09:00|日本|香川県高松市|宝暦12年1月18日|高松城下内町より失火。東浜・新材木町に及ぶ。侍屋敷23軒、町屋372軒、土蔵10か所、船5艘焼失
1762年2月11日-09:00|日本|京都府宮津市|宝暦11年12月17日|<死去>松平資昌(19歳)前丹後宮津藩主
1762年2月14日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールト=コースト長官「カール・ゴットフリート・レッシュ」(~17661020)
1762年2月15日-05:30|インド| |||<就任>アワド国統治者(ナワブ、ワズィル・アル・マリク)「ジャラル・アブ・デイン・ジョジャ・アブ・ダウラ・アブール・マンスール・カーン・ハタール」(~17750126)
1762年2月15日-05:30|インド| |||<就任>ムガル帝国宰相「アワド王シュジャール・ウッダウラガムガル」皇帝シャール・アラム2世により任じられた
1762年2月15日 04:00|マルティニク/イギリス| |||<就任>イギリス領マルティニク知事「Robert Monckton」(~5.21)
1762年2月15日 04:00|マルティニク/イギリス| |||イギリスがマルティニクを占領(~17630711)
1762年2月21日-04:00|ロシア| |||ロシア暦2月10日|ロシア、ピョートル3世が秘密調査庁を廃止し、自らの秘密警察組織の「秘密局」を創る
1762年2月24日-09:00|日本|愛媛県大洲市|宝暦12年2月1日|<交替>伊予大洲藩5万石「加藤泰三」隠居⇒養子「加藤泰武」が継ぐ(⇒明和5(1768)年5月22日、24歳で死去)
1762年2月25日 04:00|セントルシア/イギリス| |||セントルシアをイギリスが占領(~17630210);<就任>イギリス領セントルシア総督「ジョージ・ブリッジス・ストニー」(1回目~17630210)
1762年2月27日-09:00|日本|熊本県人吉市|宝暦12年2月4日|<死去>肥後人吉藩22165石「相良晃長」(11歳)⇒12月15日、養子「相良頼完」が継ぐ(⇒明和4(1767)年1月17日、死去)
1762年3月4日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督・最高司令官「ロバート・スワンソン」(~4月)
1762年3月4日 04:00|グレタ/フランス/イギリス| |||イギリスがフランス人が植民したグレタ島を占領
1762年3月10日-09:00|日本|静岡県牧之原市|宝暦12年2月15日|<加増>相良藩1万石「田沼意次」⇒15000石(⇒明和4(1767)年7月1日、2万石に加増)
1762年3月13日-09:00|日本| |||宝暦12年2月18日|幕府寺院へ田畑を寄進することを禁ず
1762年3月18日-09:00|日本|福岡県朝倉市|宝暦12年2月23日|<死去>筑前秋月藩5万石「黒田長邦」(41歳)⇒4月19日、嫡男「黒田長恵」が継ぐ(⇒安永3(1774)年9月2日、19歳で死去)
1762年3月18日 03:00|日本|奈良県奈良市|宝暦12年2月23日|<奈良宝暦12年の大火>午の刻(午前12時頃)芝辻村横町から出火、二条大路に沿うように東へと延焼/門前町の家々を焼きながら進んだ炎は興福寺の喜多院、大喜院、別院の称名寺を焼き、北に広がって油留木町、手貝町を全焼/さらに若草山の麓へと東進、ついに東大寺の戒壇院、尊光院、金蔵院、見性院、上性院など寺内15院を全焼、さらに千住院谷の6軒を焼き、二月堂前の大杉を焼いた上、東山(若草山)方面へ1里(約4km)焼け抜けて亥の刻(22時頃)鎮火/焼失町家3000余軒、町数にして46町、寺ではそのほかに念声寺、観音堂が焼失/7~8人の死亡

1770迄 (1648件)

1762年3月25日-03:00|スーダン| |||<即位>フジ・スルタン国スルタン「ナシル・イブン・ハバーティ4世」(~1769年没)
 1762年3月26日-09:00|日本| ||宝暦12年3月|俳人白井鳥酔、白井村(子持村)を訪れ「俳諧白井古城記」を著す
 1762年3月30日-09:00|日本| ||宝暦12年3月5日|幕府は、農民が目安箱によらず門訴することを禁止
 1762年4月 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ 総督・最高司令官代行「ジョージ・スコット」(1回目~1763年4月)
 1762年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・マリア・ジヤンツ」 「ジュゼッペ・ベルトニ」
 1762年4月2日-06:00|バングラデシュ/ミャンマー| |||バングラデシュ・ミャンマー北西部で地震(M7.5)津波などにより多数が死亡
 1762年4月12日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アラン伯「アーサー・ゴア」(~17730417死去)
 1762年4月12日 00:00|イギリス| |||<就任>初代コークン伯「ジェームズ・ストップフォード」(~17700112死去)
 1762年4月13日-01:00|フランス| ||ルソーの「社会契約論」刊行、経済的不平等のは正目標を提示
 1762年4月17日-09:00|日本| ||宝暦12年3月23日|<死去>初代中島三甫右衛門(不明)歌舞伎役者
 1762年4月21日-09:00|日本|東京都江東区|宝暦12年3月27日|<大相撲>宝暦12年3月場所[江戸深川八幡宮](~8日間)優勝(東大関)荒瀬,5勝0敗3休
 1762年4月26日-09:00|日本|福井県福井市|宝暦12年4月3日|越前府中で火事、町家213軒焼失
 1762年5月-01:00|フランス| |||<刊行>ルソー「社会契約論」
 1762年5月1日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ホートランド公「ウィリアム・ベントイン」
 1762年5月1日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ホートランド公「ウィリアム・キャヴェンディッシュ・ベントイン」(~18091030死去)
 1762年5月1日-09:00|日本|京都府綾部市|宝暦12年4月8日|<交替>丹波山家藩1万石「谷衛衛」隠居⇒長男「谷衛将」が継ぐ(⇒宝暦14(1764)年正月21日、37歳で死去)
 1762年5月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「アーサー・大司教ジョージ・ストーン/シャノン伯爵ヘンリー・ホイル/ジョン・ホッソナー」(~17630922)
 1762年5月3日-09:00|日本|東京都文京区|宝暦12年4月10日|平賀源内が江戸湯島で物産会を開催
 1762年5月5日-01:00|ロシア/ロシア| ||ロシア暦4月24日|フリードリヒ2世がロシアのピョートル3世と和約
 1762年5月10日 00:00|イギリス| |||<死去>3代マンチスター公「ロバート・モンタギュー」
 1762年5月10日 00:00|イギリス| |||<就任>4代マンチスター公「ジョージ・モンタギュー」(~17880902死去)
 1762年5月10日-09:00|日本|福井県福井市|宝暦12年4月17日|<越前府中宝暦12年の大火>午の刻(午前12時ごろ)過ぎ、竹が花町の忠兵衛宅から出火、延焼、1234軒が焼失、町家はほとんど失われた/藩主の館も主要な部分が焼け落ちたのをはじめ藩士の屋敷97軒が焼失/そのほか、米蔵、煙硝蔵(火薬庫)、鉄砲蔵、藩主家族の蔵2か所など5か所が焼失、藩士と町民の土蔵102棟、寺39か所、神社7か所が失われた/6人死亡
 1762年5月16日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「アドルフ・ニコラウス・フライヘル・フォン・ブッコウ」(政府大統領~17640518没)
 1762年5月16日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴァン伯「ウィリアム・コートニー」
 1762年5月16日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴァン伯「ウィリアム・コートニー」(~17881014死去)
 1762年5月19日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ「フランチェスコ・モレティ」
 1762年5月21日 04:00|マルティニーク/イギリス| |||<就任>イギリス領マルティニーク知事「William Rufane」(~17630711)
 1762年5月26日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン王国第7代首相「第3代ピット伯爵ジョン・ステュアート」トリー党(~17630408)
 1762年5月31日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ「マルコ・フォスカリーニ」(~17630331死去)
 1762年6月6日 00:00|イギリス/キューバ| |||ジョージ・ボック提督の指揮する200隻の船団、8千の水夫、1万2千の兵士、2千の黒人奴隷の大軍がハバナを攻撃
 1762年6月9日-01:00|フランス| ||ルソーの「エミール」に有罪判決が下る
 1762年6月14日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「エドワード・コンウォリス」(~17760114死去)
 1762年6月20日-09:00|日本|長崎県対馬市|宝暦12年閏4月28日|<死去>対馬府中藩22800石「宗義蕃」隠居⇒甥「宗義暢」が継ぐ(⇒安永7(1778)年1月5日、死去)
 1762年6月21日-09:00|日本|岡山県津山市|宝暦12年閏4月29日|<死去>美作津山藩5万石「松平長孝」(38歳)⇒長男「松平康哉」が継ぐ(⇒寛政6(1794)年8月19日、43歳で死去)
 1762年6月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「申晩」(~17630706)
 1762年6月23日 00:00|イギリス| |||<死去>初代コンウォリス伯「チャールズ・コンウォリス」
 1762年6月23日 00:00|イギリス| |||<就任>2代コンウォリス伯「チャールズ・コンウォリス」先代の息子(⇒17921008初代コンウォリス侯~18051005死去)
 1762年6月26日-09:00|日本| ||宝暦12年5月5日|<死去>8代市村羽左衛門(65歳)歌舞伎役者
 1762年6月29日-09:00|日本| ||宝暦12年5月8日|<死去>慶紀逸(68歳)俳人
 1762年7月-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン大統領府総督「Roger Carter」(~1767年)
 1762年7月6日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦12年5月15日|<加増>清水徳川家3万石「徳川重好」⇒10万石(⇒寛政7(1795)年7月8日、死去)
 1762年7月7日-09:00|日本|福井県|宝暦12年5月16日|吉田郡稲多村・古市村・下森田村で火事、家219軒焼失
 1762年7月8日-05:30|インド| |||<就任>ハイデラバード 国統治者(ニザム・アル・ムルク)「アリ・カーン・アサフ・ジャ2世」(~18030806没)
 1762年7月8日-05:30|インド| |||<廃位>ハイデラバード 国統治者(ニザム・アル・ムルク)「サラハト・ジヤング」幽閉される(~17630916殺害される)
 1762年7月8日-09:00|日本| ||宝暦12年5月17日|<死去>滝瓢水(79歳)俳人
 1762年7月9日-04:00|ロシア| ||ロシア暦6月28日|<即位>ロシア皇帝「エカテリーナ2世」皇后(~17961117)
 1762年7月9日-04:00|ロシア| ||ロシア暦6月28日|<廃位>ロシア皇帝「ピョートル3世」(34)妻エカテリーナ(33)がクーデターを決行
 1762年7月13日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの天文学者「ジェームズ・フラッド・リー」(1693.3~)「グリニッジ天文台」の所長を

1770迄 (1648件)

つとめ、星の観測の光行差定数を計算した

1762年7月13日-09:00|日本| ||宝暦12年5月22日|幕府が、無城の大名の在所陣屋普請について、堀・塀など新規普請のみ届け出るよう決める

1762年7月17日-04:00|ロシア/ドイツ| |||<死去>前ロシア皇帝「ピョートル3世」兼ルシヤイン公「カール・ペーター・ウリヒ」

1762年7月17日-01:00|ドイツ| |||<即位>ルシヤイン公「パヴェル・ペートルヴィチ」(のちロシア皇帝「パヴェル1世」~17730701、デンマーク王領「ホルシュタイン」の割譲と引き替えに、ルシヤインにおける共同統治者の地位を放棄)

1762年7月30日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミシゴ 総督「ガブリエル・ド・ボリー・ド・サン・ヴァンサン」(~17630307)

1762年8月 00:00|イギリス/ベリーズ| |||ベリーズ地方、英領ホンデュラスとして植民地化

1762年8月6日-09:00|日本|新潟県村上市|宝暦12年6月17日|<死去>越後村上藩5万石「内藤信旭」(19歳)⇒弟「内藤信凭」が継ぐ(⇒安永10(1781)年1月19日、死去)

1762年8月7日-09:00|日本|福井県小浜市|宝暦12年6月18日|<死去>若狭小浜藩10万3500石「酒井忠興」(42歳)⇒嫡男「酒井忠貴」が継ぐ(⇒文化3(1806)年1月12日、死去)

1762年8月12日 00:00|イギリス| |||<就任>24代キャリック伯「ジョージ」先代の孫(~18200129連合王国国王「ジョージ」4世)

1762年8月13日 05:00|キューバ/イギリス| |||<就任>イギリス領キューバ 総督・総司令官「アルマール伯「ジョージ・ケッセル」」(~17630101)

1762年8月13日 05:00|キューバ/イギリス| |||ハバナ、2ヶ月におよぶ抵抗ののちイギリスに占領され、アルマール伯の領地となる(~17630708)

1762年8月13日-09:00|日本|兵庫県姫路市|宝暦12年6月24日|<交替>播磨林田藩1万石「建部政民」隠居⇒長男「建部長教」が継ぐ(⇒明和元(1764)年7月10日に41歳で死去)

1762年8月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェストモラント 伯「ジョン・フェイン」

1762年8月26日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモラント 伯「トマス・フェイン」先代の二従兄弟の子(~17711125死去)

1762年8月28日-08:00|中国| ||清・乾隆27年|<即位>タララ「8世」ジャムヘル・ギヤツォ」(~18041119死去)

1762年8月31日-09:00|日本|京都府京都市|宝暦12年7月12日|<死去>桃園天皇(22歳、寛保1(1741)0229生)116代天皇

1762年9月4日-09:00|日本|鳥取県米子市|宝暦12年7月16日|伯耆大山爆発/激水湧出し、100余人が死亡

1762年9月15日-09:00|日本|京都府京都市|宝暦12年7月27日|<就任>摂政「近衛内前」

1762年9月15日-09:00|日本|京都府京都市|宝暦12年7月27日|<踐祚>117代「後桜町天皇」智子内親王/宝暦13年11月27日即位式(~17701124)

1762年9月17日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ 領セイロン総督「エック男爵「バート・ヤン」」(~17650401死去)

1762年9月19日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|宝暦12年8月2日|<交替>美濃加納藩32000石「永井直陳」隠居⇒養子「永井尚備」が継ぐ(⇒明和6(1769)年7月18日、死去)

1762年9月20日-09:00|日本|広島県広島市西区|宝暦12年8月3日|<竣工>国泰寺本堂庫裡

1762年9月22日-05:30|インド| |||<就任>コルハール国統治者(ラジャ・チャトラパティ)「シヴァージー-2世」(~18130424没)

1762年9月22日-09:00|日本| ||宝暦12年8月5日|<死去>2代中島勘左衛門(67歳)歌舞伎役者

1762年9月25日-09:00|日本|京都府京都市|宝暦12年8月8日|<死去>山脇東洋(58歳)医学者/「蔵志」を著した

1762年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジャンバティスト・ザンビニ」「ポンペイ・ゾリ」

1762年10月3日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督「アントニオ・デ・ギル・イ・ゴンザガ」(~17680117)

1762年10月5日-08:00|フィリピン/スペイン/イギリス| |||スペイン軍が降伏し、イギリス軍がマニラを占領

1762年10月5日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||ウィーンで、ドイツの作曲家グluckのオペラ「アルファとエリザベータ」が上演される

1762年10月5日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|宝暦12年8月18日|<死去>織田信右(50歳)前上野小幡藩主

1762年10月6日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「ジェンデ・アンダ」(1期目~17640317)

1762年10月6日-09:00|日本|広島県広島市中区|宝暦12年8月19日|<竣工>白神社本殿[広島]

1762年10月17日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|宝暦12年9月|<交替>下野宇都宮藩65900石「松平忠祇」隠居⇒弟「松平忠恕」が継ぐ(⇒安永3(1774)年6月、肥前島原藩65000石に移封)

1762年10月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆27年9月4日|李朝朝鮮で禁酒令違反者を死刑に処す

1762年10月20日-09:00|日本|富山県富山市|宝暦12年9月4日|<死去>越中富山藩10万石「前田利幸」(34歳)⇒弟「前田利与」が継ぐ(⇒安永6(1777)年11月8日、隠居)

1762年10月22日-05:30|インド| |||<就任>ジャヤサルミル国統治者(マハラワ)「ムラージ-2世」(~18191008没)

1762年10月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝暦12年9月10日|<初演>近松半二、竹田和泉、北窓俊一、竹本三郎 兵衛、人形浄瑠璃「奥州安達原」竹本座

1762年10月31日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||<就任>サクラメント新植民地ポルトガル総督「Pedro Antonio de Cevallos Cortez Calderon」(1期目~17631228)

1762年11月-08:00|フィリピン| |||ロス・バンガシオン、カヤン地方などフィリピン各地で反乱が多発

1762年11月2日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>イギリス領フィリピン総督「Dawsonne Drake」(~17630210)

1762年11月3日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||フォンタンブローで、フランス、イギリス、スペイン間に平和仮条約が結ばれる

1762年11月5日-09:00|日本|三重県津市|宝暦12年9月20日|<死去>伊勢久居藩53000石「藤堂高雅」(42歳)⇒11月29日、甥「藤堂高敦」が継ぐ(⇒明和7(1770)年間6月26日、本家伊勢津藩を継ぐ)

1762年11月11日-09:00|日本|福岡県大牟田市|宝暦12年9月26日|<交替>筑後三池藩1万石「立花長熙」隠居⇒次男「立花種周」が継ぐ(⇒文化2(1805)年12月27日、隠居蟄居)

1762年11月14日-09:00|日本|佐賀県唐津市|宝暦12年9月29日|<移封>三河岡崎藩6万石「水野忠任」⇒肥前唐津藩6万石(⇒安永4(1775)年9月23日、隠居)

1770迄 (1648件)

1762年11月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|宝暦12年9月30日|<移封>下総古河藩5万石「松平康福」⇒三河岡崎藩5万石(⇒明和6(1769)年11月18日、石見浜田藩に移封)

1762年11月15日-09:00|日本|茨城県古河市|宝暦12年9月30日|<移封>肥前唐津藩7万石「土井利里」⇒下総古河藩7万石(⇒安永6年8月14日(1770915)、死去)

1762年11月23日 00:00|イギリス| ||<死去>5代ヨーク伯・5代オースリー伯「ジョン・ポール」

1762年11月23日 00:00|イギリス| ||<就任>6代ヨーク伯・6代オースリー伯「ハミルトン・ポール」(~17640117死去)

1762年11月24日-01:00|オーストリア/ドイツ| ||プロシヤとオーストリアが七年戦争の休戦条約に調印

1762年11月24日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||(5.5)フランスのポルトガル侵攻は英国の支援で敗北

1762年11月25日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ロドルフォ・ジュリオ・ブリノレ・サレ」(~17641125)

1762年12月1日-08:00|中国| ||清・乾隆27年10月16日|清が伊犁將軍を設置し明瑞を初代將軍に任命、天山南北路を統括させる

1762年12月9日 00:00|イギリス| ||<死去>4代ウィットデー爾侯「ジョン・ヘイ」

1762年12月9日 00:00|イギリス| ||<就任>5代ウィットデー爾侯「ジョージ・ヘイ」(~17701004死去)

1762年12月9日-09:00|日本|秋田県大館市|宝暦12年10月24日|<死去>安藤昌益(60) 医師・思想家・哲学者

1762年12月14日-08:00|フィリピン| ||ティエゴ・シランがピガンで武装蜂起

1763年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<死去>アンボン島オランダ総督「Meyert Johan van Idsing」

1763年-08:00|フィリピン| ||<死去>スール王国スルタン「ムハンマド・Muizuddin」

1763年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>アンボン島オランダ総督代理「Goderd Ludolf van Beusechem」(2回目~同年) ⇒「ヨシア・アレクサンダー・de Villeneuve」(~1764年)

1763年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| ||<就任>ティモール知事「デ・イオニオ・コンサルベス・ガルヴァン・エ・レベロ」(~1765年)

1763年-08:00|マレーシア| ||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「ラジャ・ロンク・ヨナ」(~1795年)

1763年-08:00|フィリピン| ||<即位>スール王国スルタン「ムハンマド・Alimuddin1世」(2回目~1773年)

1763年-08:00|インドネシア| ||<即位>テルアタ・スルタン「Jalaluddin」(~1774年)

1763年-07:00|タイ| ||<即位>ラーナー王朝国王「アハヤカマニ」(~1768年)

1763年-06:00|ブータン| ||<就任>ブータン摂政「トウルク・フンゾ」(~1765年)

1763年-06:00|バングラデシュ| ||<就任>ベンガル・ナワブナジム「ムハンマド・ジャファル・アリー・ハーン」(2回目~17650117)

1763年-05:45|ネパール| ||<復位>ラリタプーラ王「ジャヤプラサマ」(2回目~1764年)

1763年-05:30|インド| ||<就任>アウット・国統治者(パンツ・プラーティニティ)「シュリニヴァサオ・ガンガダル」(3回目~1765年)

1763年-05:30|インド| ||<就任>カシア国統治者(サルダール)「ケル・バクシュ・シン」建国(~1785年没)

1763年-05:30|インド| ||<就任>ケナル国統治者(ターケル)「アヌト・デヴ」(~1795年没)

1763年-05:30|インド| ||<就任>コホ・ヒール国ラジャ「デベンドラ・ナヤナ」(~17650812没)、摂政「ラニ・ラル・バ」(~17650812)

1763年-05:30|インド| ||<就任>ジント・国ラジャ「ガジン・バット・シン」建国(~17891111没)

1763年-05:30|インド| ||<就任>ファリット・コット国統治者(サルダール)「ハミル・シン」コット・カプーラ国から分裂(~1782年没)

1763年-05:30|インド| ||<就任>マニッポール国ラジャ「ジャヤ・シン」(2回目~17980205)

1763年-05:30|インド/イギリス| ||プロト・ウツコッタ国がイギリスの保護領となる(1806年に確認)

1763年-04:00|アゼルバイジャン| ||<就任>イエニ・シャマク汗国ハーン「アガジ・ハーン」(~1768年)

1763年-04:00|アゼルバイジャン| ||<就任>カラバク汗国ハーン「イブラヒム・ハリール・ハーン」(~18060614死去)

1763年-03:30|イラン| ||<就任>パティグル汗国カーン「ナザリ・ハーン」(~1792年没)

1763年-03:30|イラン| ||<就任>ペルシャ大宰相「ミルザ・ジャファル・イスファハニ」(~1779年)

1763年-03:30|イラン| ||<即位>トンボリ汗国カーン「アフマド・カーン・トンボリ」(~1786年没)

1763年-03:00|ウガンダ| ||ブガンダ王国がアフリカ東海岸と通商を開始

1763年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Kusta Mustafa Bakir Pashaj」(~同年)

1763年-02:00|ラトヴィア| ||<就任>ケルラント・ゼムカレン公国政府議長「ハインリヒ・クリスティアン・フォン・オフエンベルク」(~1767年)

1763年-02:00|ラトヴィア| ||<廃位>ケルラント公「カール・フォン・ザクセン」

1763年-02:00|エジプト| ||エジプトでアリー・ベイが支配権を確立

1763年-01:00|ニジェール| ||<就任>アル国統治者(アモカル)「ムハンマド・フマド・イブン・ムハンマド・アル・ムバラク」(3回目~1768年)

1763年-01:00|フランス| ||フランスでアブラムシの特効薬が実用化

1763年 00:00|セネガル| ||<就任>ケール統治者(タンメル)「ジョール・ヤシン・イサ」(~1766年)

1763年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>ビサウ司令官「フィリペ・ホセ・ト・ソト・マヨール」

1763年 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ暫定知事「Jean Pierre Antoine de Behague」(1回目~17640102)

1763年 03:00|ブラジル| ||ブラジルで副王府がリオデジャネイロに移る

1763年 04:00|サン・バルテルミー/フランス| ||<就任>フランス領サン・バルテルミー島司令官代理「Alexis Brin」(~1764年)

1763年 04:00|サン・マルタン/フランス| ||<就任>フランス領サン・マルタン副王「Auguste Lescuiller Descoudrelles」知事(~1785年)

1763年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領西フロリダ植民地総督「ジョージ・ジョンストン」(~1767年)

1763年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領東フロリダ植民地総督「ジェームズ・グラント」(~1771年)

1763年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ニュージャージー総督「ウィリアム・フランクリン」(~1776年)

1763年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ベニオール植民地総督「ジョン・ペン」(~1771年)

1763年 06:00|エルサルバドル/スペイン| ||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ州暫定市長兼副司令官「ホセ・バシント・パロモ・イ・ロドリゲス」(~1765年)

1763年 06:00|アメリカ/フランス| ||<就任>フランス領ルイジアナ植民地総督「ジャン・ジャック・ブレース・ダバティー」(~1765年)

1763年1月1日 05:00|キューバ/イギリス| ||<就任>イギリス領キューバ総督・総司令官「アルバ・マール伯ウィリアム・ケッセル」(~7.8)

1770迄 (1648件)

1763年1月2日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ケラングイル伯「ジョン・カートレット」
1763年1月2日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ケラングイル伯「ロバート・カートレット」(~17760213死去)
1763年1月2日-09:00|日本| ||宝暦12年11月19日<死去>橋常樹(59歳)国学者、歌人
1763年1月6日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督・総司令官「ジョアン・ペレイラ・ダ・シルバ・ハルバ・アラウド」(~17650817))
1763年1月8日-09:00|日本|愛媛県大洲市|宝暦12年11月25日|大洲領長浜に大火があり、178軒を焼失
1763年1月9日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|宝暦12年11月26日<死去>永井直陳(65歳)前美濃加納藩主
1763年1月22日-08:00|マレーシア| |||<就任>パラバンガン酋長「アレクサンダー・ダリンプル」(~17710321)
1763年1月22日-08:00|マレーシア/イギリス| |||スールの سلطان がパラバンガン島と北ボルネオ海岸の一部をイギリス東インド会社に譲渡/パラバンガンはフェリシア島に改名された(~17750226)
1763年1月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝暦12年12月9日<就任>大坂城代「阿部飛騨守正允」(~明和1. 6. 21)
1763年1月22日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦12年12月9日<就任>老中「(松平)松井康福」(~天明8年4月3日)
1763年1月23日-02:00|ラトビア| |||<就任>ケルラント・ゼムガレン公国摂政「ハインリッヒ・クリスティアン・フォン・オッフェンベルク」(~2. 21)
1763年1月23日-02:00|ラトビア| |||<就任>ケルラント・ゼムガレン公「エルンスト・ヨハン・フォン・ビロン」(~1769年)
1763年1月25日-01:00|フランス| |||<死去>アベ・フレウオー/65歳(誕生16970401)/「マノン・レスコー」の作家
1763年1月27日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ大司教「ケテンホーヴ・ド・フレチュール男爵ギヨーム・マリ」(~4. 8)
1763年1月27日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン・マインゲン公「カール・ヴィルヘルム」(~17820721死去)
1763年1月27日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||ポルトガルは軍事的理由でブラジル管区の首都をサルバドルから、南方のリオデジャネイロに移転
1763年1月29日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国秘密評議会議長「ヨハン・ハルトヴィヒ・エルンスト・フォン・ベルンストルフ」(~17700916)
1763年2月 04:00|ガイアナ| |||ベルギー管内カヘ川沿いの二つの農園で、カフィの率いる黒人奴隷の大規模な反乱
1763年2月10日-01:00|フランス/イギリス/ハイチ/グアドループ/マルティニーク| |||イギリスはサント・マングと小アンティル諸島のグアドループ、マルティニーク、セントルシアをフランスに返還
1763年2月10日-01:00|フランス/イギリス/ドミニカ国/グレナダ/セントビンセント| |||イギリスはドミニカ、グレナダ、セントビンセントなどをフランスから獲得
1763年2月10日-01:00|スペイン/イギリス/キューバ/アメリカ| |||イギリスはハバナを含むキューバをスペインに返還し代りにフロリダを獲得
1763年2月10日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||パリ条約締結でフレンチ・インディアン戦争終結/フランス=スペイン軍の敗北
1763年2月10日-01:00|フランス/スペイン/アメリカ| |||フランスはミシシッピ以西のルイジアナをスペインに割譲
1763年2月10日 00:00|セカール/イギリス/フランス| |||ゴレ島がフランスに返還される
1763年2月10日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||フランス植民地(サンピエール島とミクロン島)に分割
1763年2月10日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ヒュエル・リュシアン・ド・ラ・シャペル・シュヴァリエ・ト・ジュミラック」(~1764年9月)
1763年2月10日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<制定>イギリス植民地ドミニカ
1763年2月10日 04:00|トリニダード・トバゴ/フランス/イギリス| |||トバゴはパリ条約でフランスからイギリスに譲渡された
1763年2月10日 06:00|カタラ/フランス/イギリス/アメリカ| |||フランスは、仏領カタラとミシシッピ以东のルイジアナをイギリスに割譲
1763年2月13日-09:00|日本|熊本県宇土市|宝暦13年|細川興文、藩校温知館を設立
1763年2月13日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・景興24年<即位>パントランガ王「Po Tisundimahrai (Nguyen Van Thiet)」(~1765年)
1763年2月15日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||オーストリアとプロシヤがベルタウスブルクの和約に合意して七年戦争が終わる/プロシヤのシュレージン領有の確定
1763年2月23日 04:00|ガイアナ/オランダ| |||ベルギー管内カヘ川沿いの二つの農園で、カフィ(Cuffy)の率いる黒人奴隷の大規模な反乱。三千人の奴隷が参加し、農園を次々に焼き討ち。この反乱で白人農園主の半数がオランダに戻る
1763年2月26日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランテンブルク=ハノーヴァー辺境伯「フリードリヒ3世」
1763年2月26日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク=ハノーヴァー辺境伯「フリードリヒ・クリスティアン」(~17690120死去)
1763年2月27日-05:30|インド| |||<就任>スーラト国支配者(ナワブ)「ミール・ハフィズ・ウッデイン・アフマド・カーン」ムガル帝国から独立宣言(~1790年3月没)
1763年3月-05:30|インド| |||マイソール王国首席大臣ハイダル・アリーはクラティナーヤ朝を滅ぼしアラビア海に面したカウ地方の併合に成功。この王朝の首都であるビタヌルをハイダルナガルと改名し、シュリーランガパトナに代わる自身の拠点とした
1763年3月5日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの産婦人科医ウィリアム・スミス/66歳(誕生1697年)
1763年3月7日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミッシェル総督「ベルズンズ子爵アルマン」(~8. 4没)
1763年3月15日-09:00|日本|東京都|宝暦13年2月|「奥州安達原」歌舞伎初演、森田座
1763年3月21日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘル司教フランチェスク・フェルナンデス・ド・ザティバ・イ・コントラス」(~17710422)
1763年3月21日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Diego de Noboa y Villamarin」(1期目~同年)⇒総督「Diego Maria de Osorio」(~1766年)
1763年3月21日-09:00|日本|山形県米沢市|宝暦13年2月7日|米沢藩が内紛、家老らが藩主の上杉重貞の側近の森利直を殺害
1763年3月24日 00:00|イギリス/アメリカ| |||軍隊宿営法発効
1763年3月31日-01:00|イタリア| |||ヴェネツィア共和国ドージェ「マルコ・フォスカリーニ」莫大な負債を残す
1763年4月 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ総督・最高司令官代行「キャンベル・ダリンプル」(~1764年2月)

1770迄 (1648件)

1763年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・バティスト・ボネリ」「フィリッポ・ファツツィーニ」
1763年4月4日-09:00|日本|広島県広島市|宝暦13年2月21日|<交替>安芸広島藩42万6500石「浅野宗恒」隠居⇒長男「浅野重晟」が継ぐ(⇒寛政11(1799)年8月21日、隠居)
1763年4月7日 00:00|イギリス| |||イギリスのピュート内閣が総辞職
1763年4月8日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「テギ・キ・ハムザ・ハミド・パシャ」(~11.1)
1763年4月8日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ大司教「オルトモン伯爵シャルル・ニコラ・アレクサンドル」(~17711022死去)
1763年4月13日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ウォルト・グレイヴ伯爵「ジェームズ・ウォルト・グレイヴ」
1763年4月13日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ウォルト・グレイヴ伯爵「ジョン・ウォルト・グレイヴ」先代の弟(~17841022死去)
1763年4月14日-09:00|日本|長野県上田市|宝暦13年3月2日|<上田騒動>首謀者、夫神村の農民・清水半平(60歳)と中沢浅之丞(39歳)は死罪、庄屋の西戸太郎兵衛は永牢となった
1763年4月16日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン王国第8代首相「ジョージ・グレインヴィル」ホイッグ党(~17650713)
1763年4月19日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ「アルヴィゼ・モチーニゴ4世」(~17781231)
1763年4月23日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「コンスタンティン・ミハイル・ラコウ・イツァ」(2回目~17640126)
1763年4月25日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦13年3月13日|<解任>老中「井上正経」
1763年5月-01:00|オランダ/ガイアナ| |||オランダはカフィの率いる黒人奴隷反乱の鎮圧に成功/カフィは自殺、残党は1年にわたる掃討作戦で全滅
1763年5月3日-09:00|日本|愛媛県松山市|宝暦13年3月21日|<死去>伊予松山藩15万「松平定喬」(48歳)⇒弟「松平定功」が継ぐ(⇒明和2年2月11日(17650331)、死去)
1763年5月7日 06:00|アメリカ| |||ホンティアック戦争/アメリカのオジャ族の族長ホンティアック率いる西部インディアン諸部族連合がデトロイトを攻撃
1763年5月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ミルトン伯爵「ジョセフ・リーソン」(~17831002死去)
1763年5月14日-01:00|オーストリア| |||<初演>クリストフ・グ・イリバルト・ゲルック《歌劇「クレリアの勝利」》
1763年5月17日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦13年4月5日|<大相撲>宝暦13年4月場所「江戸神田明神」(~8日間)優勝(東関脇)荒瀬,6勝1分1休
1763年5月18日-09:00|日本|茨城県結城市|宝暦13年4月6日|<交替>下総結城藩18000石「水野勝前」隠居⇒長男「水野勝起」が継ぐ(⇒天明3(1783)年4月12日、死去)
1763年5月19日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|宝暦13年4月7日|<交替>肥前鹿島藩25000石「鍋島直郷」隠居⇒5月1日、養子「鍋島直熙」が継ぐ(⇒明和7(1770)年7月、佐賀藩を継ぎ第8代藩主となった)
1763年5月21日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・乾隆28年4月9日|李朝朝鮮で屠牛が禁止
1763年5月22日-09:00|日本|大分県中津市|宝暦13年4月10日|青の洞門開通(342m)
1763年5月25日-01:00|ルウェー| |||ルウェーで初の週刊新聞が発行
1763年5月31日-09:00|日本|愛媛県今治市|宝暦13年4月19日|<死去>伊予今治藩35000石「松平定郷」(62歳)⇒6月14日、嫡孫「松平定休」が継ぐ(⇒寛政2(1790)年4月5日、隠居)
1763年6月15日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島知事「Francois Gabriel d'Angeac」(~17730731)
1763年6月20日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ15世「ケル・ラ・レーヌ(王妃の遊歩道)」(8区)と「チュイリー」(1区)との間に「ルイ15世の騎馬像」を設置/のちの「革命広場」、現在の8区「コンコルト広場」
1763年6月23日-09:00|日本|京都府綾部市|宝暦13年5月13日|<死去>谷衛衛(64歳)前丹波山家藩主
1763年6月24日-09:00|日本|秋田県秋田市|宝暦13年5月14日|<交替>久保田新田藩(2)2万石「佐竹義道」隠居⇒三男「佐竹義忠」が継ぐ(⇒安永9(1780)年11月7日、隠居)
1763年6月27日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ケニャ伯爵アントニオ・アルヴァレス・ケニャ」(~17670831)
1763年6月27日-09:00|日本|秋田県秋田市|宝暦13年5月17日|出羽国秋田藩飯島に一揆が起こる
1763年7月-08:00|マレーシア| |||<死去>クランタン・ラジャ「ラジャ・ロング・ムハンマド・イブニ・アル=マルフム・トゥアン・スーロン」
1763年7月-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・ラジャ「スルタン・ロン・ユヌス・イブニ・アル=マルフム・ラジャ・ロング・スライマン」(~17950715没)
1763年7月2日-03:30|イラン/イギリス| |||イランがイギリス東インド会社にブーシェフル港での諸特権を付与
1763年7月2日-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Cristoforo Francesco Sizzo de Norris」(~1776年)
1763年7月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「洪鳳漢」(~17661015)
1763年7月4日 04:00|グアートループ/フランス| |||<就任>グアートループ総督「Francois Charles de Bourlamarque」(~17640624死去)
1763年7月4日 04:00|グアートループ/フランス| |||<就任>マリー・ガランテ特定知事「Marc Etienne de Joubert」(~1776年)
1763年7月6日-01:00|スペイン/イギリス/アメリカ| |||イギリスとスペインの間にパリ条約締結。スペインは東フロリダ(半島部)をイギリスに割譲。西フロリダ(現アラバマ、ミシシッピ州の海岸部)を確保
1763年7月7日-05:30|インド| |||<退任>ベンガル太守「ミール・カシム」
1763年7月8日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「リケルメ・ロドリゲス・デ・ベシジャルパント・アバルカ・デ・ボレラ」(~17650627)
1763年7月11日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Francois Louis de Salignac」(~1764.4死去)
1763年7月16日-09:00|日本|岐阜県郡上市|宝暦13年6月6日|<死去>金森頼錦(51歳)元美濃郡上藩主
1763年7月19日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<死去>オランダ領ゴールド=コースト総裁「デヴィッド・ピーター・エラスムス」
1763年7月19日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド=コースト総督「ヘンリー・ウルムベック」(~17640910没)
1763年7月25日-05:30|インド| |||<再任>ベンガル太守「ミール・ジャファール」(~17650205死去)

1770迄(1648件)

1763年7月29日-09:00|日本| ||宝暦13年6月19日|<死去>大岡春ト(84歳)狩野派の絵師
1763年7月31日-09:00|日本| ||宝暦13年6月21日|<死去>狩野英信(47歳)絵師
1763年8月-05:30|インド| ||マダーガ・ラオはアランガ・バート付近ラ・グシャブ・ヴァンでニザーム王国の軍勢を破り、820万ルピーの地を割譲させた(ラ・グシャブ・ヴァンの戦い)
1763年8月4日 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント・ミシゴ 総督代行「モンリュイ伯爵ピエール・アントレ・ド・ゴアン」(~1764 0423)
1763年8月6日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|宝暦13年6月27日|<交替>上野伊勢崎藩2万石「酒井忠告」隠居⇒養子「酒井忠温」が継ぐ(⇒天明7(1787)年3月9日、隠居)
1763年8月7日-09:00|日本|和歌山県新宮市|宝暦13年6月28日|<死去>紀伊新宮藩35000石(紀州藩附家老)「水野忠興」(28歳)⇒8月6日、養子「水野忠実」が継ぐ(⇒文政5(1822)年4月25日、死去)
1763年8月9日-09:00|日本| ||宝暦13年7月|<刊行>平賀源内「物類品隣」
1763年8月14日 06:00|アメリカ| ||印紙条例に反対するボストン騒動始まる
1763年8月24日-09:00|日本|京都府京都市|宝暦13年7月16日|<死去>売茶翁(高遊外)(89歳)黄檗宗の僧、茶人/煎茶を広めた
1763年8月29日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヴァルデック侯「カール・アウグスト・フリードリヒ」
1763年8月29日-01:00|ドイツ| ||<就任>ヴァルデック侯「フリードリヒ・カール・アウグスト」(~18120924死去)
1763年9月-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| ||<即位>コンゴ 王国マニコング「ピョートル5世」(~1764年)
1763年9月7日-04:00|レユニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Jean Sentuary」(~10. 14)
1763年9月22日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「ノサンバーランド 伯爵ヒュー・スミス・パーシー」(~17650605)
1763年9月26日-09:00|日本| ||宝暦13年8月19日|幕府が、効能がないとして広東人参の市中販売を禁じる
1763年9月30日-09:00|日本|長野県諏訪市|宝暦13年8月23日|<交替>信濃高島藩3万石「諏訪忠林」隠居⇒四男「諏訪忠厚」が継ぐ(⇒天明元(1781)年10月、強制隠居)
1763年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ジローラモ・ゴジ」「ハ・ホ・ティニ」
1763年10月3日-09:00|日本|奈良県天理市|宝暦13年8月26日|<交替>大和柳本藩1万石「織田秀賢」隠居⇒弟「織田長恒」が継ぐ(⇒明和3(1766)年8月20日、死去)
1763年10月5日-01:00|ポーランド/リトアニア/ドイツ| ||<死去>ポーランド 王・リトアニア大公「アウグスト3世」兼ザクセン選帝侯「フリードリヒ・アウグスト2世」66歳
1763年10月5日-01:00|ドイツ| ||<就任>ザクセン選帝侯「フリードリヒ・クリスティアン」(~12. 17死去)
1763年10月6日-09:00|日本|奈良県奈良市|宝暦13年8月29日|<死去>大和柳生藩1万石「柳生俊峯」(45歳)⇒10月22日、養子「柳生俊則」が継ぐ(⇒文化4(1807)年8月5日、隠居)
1763年10月7日 06:00|アメリカ/イギリス| ||ジョージ3世、国王宣言でアパラチア山脈以西での植民地人の土地所有を当面禁止
1763年10月7日-01:00|日本| ||宝暦13年9月1日|午前8時頃、暦にのっていない日食がおこる
1763年10月8日 04:00|ドミニカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領ドミニカ総督「ロバート・メルギル」(~1765年)
1763年10月8日-09:00|日本|茨城県結城市|宝暦13年9月2日|<死去>水野勝前(40歳)前下総結城藩主
1763年10月9日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「ケリマルティン公爵」(~1770219)
1763年10月9日-09:00|日本| ||宝暦13年9月3日|京都に大風が吹き、大坂の通船が破損して千人が溺死
1763年10月14日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|宝暦13年9月8日|<交替>伊予吉田藩3万石「伊達村信」隠居⇒次男「伊達村賢」が継ぐ(⇒寛政2(1790)年2月16日、死去)
1763年10月16日-09:00|日本|神奈川県小田原市|宝暦13年9月10日|<交替>相模小田原藩11万3000石「大久保忠興」隠居⇒長男「大久保忠由」が継ぐ(⇒明和6(1769)年10月1日、死去)
1763年10月18日 00:00|イギリス| ||<死去>ノザンプトン伯「チャールズ・コンプトン」26歳
1763年10月18日 00:00|イギリス| ||<就任>ノザンプトン伯「スペンサー・コンプトン」(~17960407死去)
1763年10月22日-09:00|日本|岡山県倉敷市|宝暦13年9月16日|<交替>備中岡田藩10343石「伊東長丘」隠居⇒三男「伊東長詮」が継ぐ(⇒安永7(1778)年6月23日、死去)
1763年10月24日-09:00|日本|広島県広島市|宝暦13年9月18日|広島愛宕町出火、荒神町延焼、家数385軒(600竈)焼失
1763年10月30日-09:00|日本|香川県丸亀市|宝暦13年9月24日|<死去>讃岐丸亀藩51512石「京極高矩」(46歳)⇒10月晦日、長男「京極高中」が継ぐ(⇒文化8(1811)年1月13日、死去)
1763年11月1日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ケセ・ハヒル・ムスタファ・パシャ」(3期目~17650328)
1763年11月1日 06:00|アメリカ/イギリス| ||ニューヨークで印紙条例阻止の暴動始まる
1763年11月5日-04:00|レユニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Francois Jacques Bertin d'Avesnes」(~17670330)
1763年11月12日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督「Jose Solano y Bote, marques del Socorro」(~17710404)
1763年11月14日-09:00|日本|東京都台東区|宝暦13年10月10日|<大相撲>宝暦13年10月場所[江戸浅草八幡宮](~8日間)優勝(西前2)鱸綱, 6勝1敗1分1休
1763年11月14日-09:00|日本|栃木県大田原市|宝暦13年10月10日|<交替>下野黒羽藩2万石「大関増興」隠居⇒長男「大関増備」(⇒明和元年8月27日(17640922)、死去)
1763年11月19日 00:00|イギリス| ||<死去>2代エフィンガム伯「トマス・ハワード」
1763年11月19日 00:00|イギリス| ||<就任>3代エフィンガム伯「トマス・ハワード」(~17911119死去)
1763年11月21日 00:00|イギリス/カナダ| ||ケック植民地にイギリス総督マレーが赴任

1770迄 (1648件)

1763年11月25日-05:30|インド | |||<就任>グワリエル国統治者(スベタル)「カタルジ・ラオ・シンデ・イア」(~17640710)
1763年11月28日-06:30|ミャンマー | |||<死去>ビルマ王「ナウン・キー」
1763年11月28日-06:30|ミャンマー | |||<即位>ビルマ王「シンビ・ユン」(~17760610没)
1763年12月-02:00|シリア・アラブ/トルコ | |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Azmezade Mehmed Pasha」(~1764年)
1763年12月 00:00|セネガル/イギリス | |||<就任>イギリス・セネガル総督「ジョン・バーンス」(~17650525)
1763年12月1日-09:00|日本|広島県竹原市|宝暦13年10月27日|賀茂郡竹原下市にて大火, 焼失家数237軒(462竈)
1763年12月2日 04:00|バミューダ/イギリス | |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「フランス・ジョンズ」(3期目~1764. 8)
1763年12月2日-09:00|日本|福島県郡山市|宝暦13年10月28日|<死去>陸奥守山藩2万石「松平頼寛」(61歳)⇒三男「松平頼亮」が継ぐ(⇒享和元(1801)年9月8日、死去)
1763年12月5日-09:00|日本 | |||宝暦13年11月|<刊行>平賀源内、談義本「根南志具佐」前編, 「風流志道軒伝」
1763年12月6日-09:00|日本 | |||宝暦13年11月2日|<死去>2代鳥居清倍(58歳) 浮世絵師
1763年12月14日 06:00|アメリカ | |||(ハ・クストン・ボーイズの虐殺)50名以上のハ・クストン・ボーイズとして知られる自警主義者集団が、6名のサスケハノック族を殺害
1763年12月16日-05:30|インド | |||<就任>タンジール国ラジャ「トウル・ヤジ」(~1787年没)
1763年12月17日-01:00|ト・イツ | |||<死去>ザ・ケン選帝侯「フリート・リヒ・クリスティアン」
1763年12月17日-01:00|ト・イツ | |||<就任>ザ・ケン選帝侯「フリート・リヒ・アウグスト3世」(18061220ザ・ケン王ザ・ケン王フリート・リヒ・アウグスト1世~18270505)
1763年12月24日-09:00|日本|京都府亀岡市|宝暦13年11月20日|<死去>丹波亀山藩5万石「松平信岑」(68歳)⇒甥「松平信直」が継ぐ(⇒天明元(1781)年閏5月27日、隠居)
1763年12月25日-05:30|インド | |||<死去>パラトル国マハラジャ「スジャント・シン」
1763年12月25日-05:30|インド | |||<即位>パラトル国マハラジャ「ジャハル・シン」(~17680827没)
1763年12月27日 06:00|アメリカ | |||(ハ・クストン・ボーイズの虐殺)パラトル・ボーイズ がランカスターの留置所に押し入り、残っていたサスケハノック族14名を殺した
1763年12月27日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦13年11月23日|神田紺屋町に朝鮮人参座が創設される
1763年12月28日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル | |||<就任>サクラメント新植民地ポルトガル総督「Jose Fernandes Pinto Alpoim」(~17640101)
1763年12月30日-08:00|中国 | |||清・乾隆28年11月26日|中国・雲南省、通海地震M6. 5、死者1000人
1764年-08:00|インド・ネア/オランダ | |||<就任>アンボン島オランダ 総督「Willem Fockens」(~17670930)
1764年-08:00|インド・ネア | |||<即位>アチ王国スルタン「Badruddin」(~1785年)
1764年-08:00|インド・ネア | |||<即位>サンバ王国スルタン「Umar Akam ud-din2世」(~1786年)
1764年-08:00|フィリピン | |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Alimud-Din1世」(~1774年)
1764年-08:00|インド・ネア | |||<即位>テルテ・スルタン「Jalaluddin, Kaicili Zwaarderkroon」(~1774年)
1764年-08:00|マレーシア | |||クランタンは独立回復
1764年-05:45|ネーデル | |||<即位>ラタワラ王「タラマダ・ナ・シャー」篡奪者、ゴルカのシャー王朝(~1765年)
1764年-05:30|インド/アフガニスタン | |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ムルッテ・イン・カン・ハンザイ」(2回目~1765年)
1764年-05:30|インド | |||<就任>パグナガル国統治者(タクル・サーヒブ)「アケハラジ 3世バ・ブ・シムジ」(~1772年没)
1764年-05:30|インド | |||<就任>マルコトラ国支配者(ナワブ)「カン・サーヒブ・カン・バ・ハート・カル・カン」(~1766年)
1764年-05:30|インド | |||<就任>モルガイ国統治者(タクル・サーヒブ)「パ・チャンジ・ラウジ」(~1772年没)
1764年-05:30|インド | |||<就任>ラジビブ王国統治者(ラジャ・マハラ)「ラインジ」(~1786年没)
1764年-05:00|ウズベキスタン/ガザフスタン/キルギス/タジキスタン | |||<死去>ユカント・ハン国ベイ「エル・ニ」
1764年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン | |||<死去>ヒヴァ・ハン国第36代ハン「テムル・ガースィー」
1764年-05:00|パキスタン | |||<就任>カン統治者(ミール)「アッバス・カン2世」(~1796年)
1764年-05:00|ウズベキスタン/ガザフスタン/キルギス/タジキスタン | |||<即位>ユカント・ハン国ベイ「スライマン」(~同年)⇒「シャルフ3世」(~同年)⇒「ナルブ・タ・ビー」(~1801年死去)
1764年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン | |||<即位>ヒヴァ・ハン国第37代ハン「タウケ」(~1766年)
1764年-04:00|アゼルバイジャン | |||<就任>ナフチヴァン汗国ハン「ハジ・ハーン」(~1765年)
1764年-04:00|アゼルバイジャン | |||<就任>ナフチヴァン汗国ハン「レヒム・ハーン」(~1770年)
1764年-04:00|レユニオン/フランス | |||<設立>フランス王領植民地ブルボン島
1764年-03:00|クウェート | |||<死去>クウェート初代首長「サバーハ1世」
1764年-03:00|カンタ | |||<就任>バグウェリ統治者(ムカマ)「ムロント」(~1771年頃)
1764年-03:00|イラク/トルコ | |||<就任>バグダットのベイ及びワリス「オマル・ハ・シャ」(~1775年)
1764年-03:00|クウェート | |||<即位>クウェート第2代首長「アブドゥッラー1世」(~18140503死去)
1764年-02:00|エジプト/トルコ | |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハジ・アハメド・ハ・シャ」(9月、死去)
1764年-01:00|セルビア/トルコ | |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「ムスタファ・ハ・シャ」(~1768年)
1764年-01:00|モンテネグロ | |||<就任>モンテネグロ総督「ヨヴァン・スタノフ・ラドニッチ」(~18030708没)
1764年 00:00|イギリス/セントビンセント | |||<就任>イギリス植民地セントビンセント(グレナダに従属) 副総督「ジョセフ・ヒギンソン」(~1766年)
1764年 00:00|セネガル | |||<就任>ブントウ支配者(エリマン)「サンバ・トゥマーネ・シ」⇒「アマデ・イ・ゲ・イ・シ」(~?)⇒統治者(アルマミ)「アマデ・イ・ゲ・イ・シ」(~1786年)
1764年 00:00|ガーナ | |||<即位>アシャンティ王「クワ・ウ・オコワイ」(~1777年)
1764年 00:00|イギリス | |||イギリスの職工ハーゲリーブスがジャニエー紡績機を発明

1770迄 (1648件)

1764年 04:00|モントセト/イギリス| |||<死去>イギリス植民地モントセト大統領「George Wyke」
1764年 04:00|サン・バルテルミー/フランス| |||<就任>フランス領サン・バルテルミー島司令官「Rene Camille」(~1771年)
1764年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王代理「Vupil du Sablon」
1764年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ホセ・フラスコ・デ・オロスコ」(~1767年7月没)
1764年 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領ヘック植民地総督「ジェームズ・マレー」(~1768年)
1764年 07:00|メキシコ/スペイン| |||スペインがメキシコに初めて正規軍を派遣
1764年1月1日 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||<就任>サラメント新植民地ポルトガル総督「Pedro Jose Soares de Figueiredo Sarmento」(~1769年死去)
1764年1月2日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Louis-Thomas Jacau de Fiedmond」(1期目~12.22)
1764年1月8日 00:00|イギリス| |||<死去>2代アソル公・2代ティリバーティン侯・5代トリバーティン伯・2代ストラステ=ストラスエーデル伯「ジョージ・マレー」
1764年1月8日 00:00|マン島| |||<死去>マン島主「James3世 Murray」
1764年1月8日 00:00|イギリス| |||<就任>3代アソル公・3代ティリバーティン侯・6代トリバーティン伯・3代ストラステ=ストラスエーデル伯「ジョン・マレー」2代公の甥(~17741105死去)
1764年1月8日 00:00|マン島| |||<就任>マン島主「Charlotte Murray」(~17650711)、代理「John Murray」(~17650711)
1764年1月10日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国エルベントウ島永続的軍政知事「Gines de Cabrera Bethencourt Dumpierrez」(~1766年死去)
1764年1月12日-09:00|日本|静岡県掛川市|宝暦13年12月10日|<死去>遠江掛川藩5万石「太田資俊」(44歳)⇒長男「太田資愛」が継ぐ(⇒文化2(1805)年2月17日、67歳で死去)
1764年1月13日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦13年12月11日|<就任>老中「松平康福」(~1788年4月3日)
1764年1月17日 00:00|イギリス| |||<死去>6代ヨーク伯・6代オウリー伯「ハミルトン・ボイル」
1764年1月26日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ステファン・ミハイル・ラコヴィツァ」(~17650901)
1764年1月29日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ダラムウー伯「チャールズ・ラムゼイ」
1764年1月29日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ダラムウー伯「ジョージ・ラムゼイ」(~17871115死去)
1764年2月 04:00|グレタダ/イギリス| |||<就任>グレタダ総督・最高司令官代行「ジョージ・スコット」(2回目~12.13)
1764年2月1日-08:00|中国| ||清・乾隆28年12月30日|<死去>曹雪芹/40歳(誕生1724年)/長編小説「紅樓夢」の作者
1764年2月2日-04:00|ロシア/中国| ||清・乾隆29年|清がロシアの不正課税を理由にキヤフでの交易を停止
1764年2月15日 06:00|アメリカ/フランス| |||フランス人が、セント・ルイスを建設
1764年2月19日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「バルトロメウ・デ・スーザ・フリート・ティグレ」(~1766年12月)
1764年2月22日-09:00|日本|京都府綾部市|宝暦14年1月21日|<死去>丹波山家藩1万石「谷衛将」(37歳)⇒弟「谷衛秀」が継ぐ(⇒安永9(1780)年8月13日、52歳で死去)
1764年3月6日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハートウィック伯「フィリップ・ヨーク」
1764年3月6日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ハートウィック伯「フィリップ・ヨーク」先代の息子(~17900516死去)
1764年3月7日 05:00|エカトル| |||リバンの先住民が、ミタの軽減と土地の分与を求め反乱
1764年3月13日-09:00|日本|埼玉県児玉郡美里町|宝暦14年2月中旬|平賀源内が猪俣村で石綿を使った燃えない布を製造して火流布と名づける
1764年3月13日-09:00|日本|東京都|宝暦14年2月11日|<死去>奥村政信(79歳)浮世絵師/奥村派の始祖
1764年3月17日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督代理「Francisco Javier de la Torre」(~17650706)
1764年3月17日 00:00|イギリス| |||<死去>2代マクス・フィールド伯「ジョージ・ハーカー」
1764年3月17日 00:00|イギリス| |||<就任>3代マクス・フィールド伯「トマス・ハーカー」(~17950209死去)
1764年3月27日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「ヨーゼフ2世」フランツ1世とマリア・テレジアの息子(⇒17650818皇帝~17900220)
1764年3月28日-09:00|日本|山口県周南市|宝暦14年2月26日|<死去>周防徳山藩3万石「毛利広寛」(30歳)⇒4月21日、弟「毛利就馴」が継ぐ(⇒寛政8(1796)年9月24日、隠居)
1764年3月29日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ゲリゴール・アレクサンドル・キカ」(1回目~17670203)
1764年4月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクホ・ワリス(総督)「Kopruluzade Hafiz Ahmed Pasha」(~1765年)
1764年4月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<死去>フランス領マルティニーク知事「Francois Louis de Salignac」
1764年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスタ・エンジェル」
1764年4月1日-09:00|日本|東京都中央区|宝暦14年3月|「禅のつとめ」下座の始まり中村座
1764年4月1日-08:00|中国| ||清・乾隆29年3月|清が生糸輸出禁止令を解除
1764年4月3日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ホセ・ホアキン・デ・ナバ・イ・カバスト」(~17730614)
1764年4月5日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリス議会が砂糖条例を可決、アメリカ13植民地に対する課税強化策
1764年4月5日 04:00|フォークランド/フランス| |||<就任>フランス領フォークランド諸島総督「ルイス・アントワーヌ・デ・ブーゲンビル」(~1767年)
1764年4月5日 04:00|フォークランド/フランス| |||フランスの探検家ルイス・アントワーヌ・デ・ブーゲンビル、東フォークランド島に最初の永久の居留地ポルト・レイを建設。サン・マロの島と名づける(スペイン名マルビナスの語源)
1764年4月8日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「マルトヴァンザート・アリ・パシャ」(~17650324)
1764年4月8日 03:00|ウルグアイ/スペイン| |||<就任>モンテビデオ総督「Agustin de la Rosa Queipo de Llano」(~17710108)

1770迄 (1648件)

1764年4月11日-09:00|日本|千葉県富津市|宝暦14年3月11日|<死去>上総佐貫藩16000石「阿部正興」(32歳)⇒養子「阿部正賀」が継ぐ(⇒安永9(1780)年10月24日、死去)
1764年4月14日-09:00|日本|岡山県岡山市|宝暦14年3月14日|<死去>備前岡山藩31万5千石「池田宗政」(38歳)⇒長男「池田治政」が継ぐ(⇒寛政6(1794)年3月8日、隠居)
1764年4月19日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリス議会が通貨条例を可決し、植民地に紙幣の発行を禁止
1764年4月20日-09:00|日本|兵庫県明石市|宝暦14年3月20日|<死去>播磨明石藩6万石「松平直純」(38歳)⇒5月、長男「松平直泰」が継ぐ(⇒天明4(1784)年10月、隠居)
1764年4月21日 04:00|米領グァージン諸島/デンマーク| |||<死去>セント・マス島・セントジョン島総督「John Georg von John」
1764年4月23日 04:00|米領グァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督代理「Ditlev Wilhelm Wi ldthagen」(~11.7死去)
1764年4月23日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミゴ 総督「エスタン伯ジャン・バティスト・シャル・アンリ」(~17660701)
1764年4月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝暦14年3月26日|<死去>5代鴻池善右衛門(48歳)大阪の豪商
1764年4月27日-09:00|日本|東京都台東区|宝暦14年3月27日|<大相撲>宝暦14年3月場所[江戸浅草八幡宮](~8日間)優勝(東小結)雪見山,5勝0敗1無勝負1預1休
1764年5月-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニココ「アルファロ11世」(~1779年没)
1764年5月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サスカトゥワ植民地総督「ウィリアム・ブル2世」(~1766.6)
1764年5月1日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウ=ウ=国王「アハヤ」(~17740117)
1764年5月5日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦14年3月24日|<解任>老中「秋元涼朝」
1764年5月6日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|宝暦14年4月6日|<交替>下総生実藩1万石「森川俊令」隠居⇒長男「森川俊孝」が継ぐ(⇒天明8(1788)年6月28日、死去)
1764年5月13日-05:30|インド| |||<就任>チャンパ 国ラジャ「ラジ・シン」(~1794年没)
1764年5月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「ジョン・スコット」(~17820725)
1764年5月15日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「アーサー大司教ジョージ・ストーン」(17641219まで)/「シャノン伯爵ヘンリー・ホイル」(17641228まで)/「ジョン・ホッソル・ホウス」男爵「ジョン・ホウス・コロン」(17650222から)」(~17651018)
1764年5月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ノーティントン伯「ロバート・ヘンリー」(~17720114死去)
1764年5月30日 04:00|モントセロ/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセロ大統領「Michael 柯イト」(~1782年)
1764年5月31日 00:00|イギリス/フィリピン| |||イギリス軍のマニラ占領集結
1764年5月31日-09:00|日本|佐賀県小城市|宝暦14年5月|<交替>肥前小城藩73000石「鍋島直員」隠居⇒次男「鍋島直愈」が継ぐ(⇒寛政6(1794)年4月、隠居)
1764年6月6日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「フランシスコ・イゼンシオ・デ・スーザ・コウチニョ」(~17721121)
1764年6月15日-09:00|日本|秋田県北秋田市|宝暦14年5月16日|幕府が秋田藩に対して、阿仁銅山と周辺の土地1万石の召し上げを通告/名目は経営難の救済だったが、真の狙いは幕府の銅の確保にあった
1764年6月15日-09:00|日本|東京都千代田区|宝暦14年5月16日|解任>老中「酒井忠寄」
1764年6月24日 04:00|グアドループ/フランス| |||<死去>グアドループ 総督「Francois Charles de Bourlamarque」
1764年6月24日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 暫定総督「Henri Edouard, baron de Copley」(~17650320)
1764年6月30日-09:00|日本| |||明和1年6月2日|「明和」に改元
1764年7月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Domingo Bernardi Gomez Rabelo」(~1767.3死去)
1764年7月3日 00:00|イギリス| |||イギリスのバロン艦隊がブラマから探検航海に出航
1764年7月5日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|明和1年6月7日|<死去>上野小幡藩2万石「織田信富」(42歳)⇒養子「織田信邦」が継ぐ(⇒明和4(1767)年8月21日、蟄居)
1764年7月10日-05:30|インド| |||<就任>ケワエル国統治者(スベタル)「マナラ・シンディア」(~17680118)
1764年7月16日-04:00|ロシア| |||<死去>元ロシアツァーリ「イヴァン6世」幽閉された監獄の看守により暗殺される
1764年7月18日-09:00|日本|広島県広島市|明和1年6月20日|安芸郡仁保島丹那出火,家数98軒(114竈)焼失
1764年7月19日-09:00|日本|愛知県西尾市|明和1年6月21日|<移封>出羽山形藩6万石「松平乗祐」⇒三河国西尾藩6万石(⇒明和6(1769)年9月4日、死去)
1764年7月19日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和1年6月21日|<就任>大坂城代「松平和泉守乗佑」(~明和6.9.4)
1764年7月19日-09:00|日本|岡山県真庭市|明和1年6月21日|<移封>三河西尾藩23000石「三浦明次」⇒美作勝山藩23000石(⇒安永元(1772)年、隠居)
1764年7月19日-09:00|日本|京都府京都市|明和1年6月21日|<就任>京都所司代「阿倍正允」(⇒1769(明和6年8月18日))
1764年7月28日-09:00|日本|三重県亀山市|明和1年6月30日|<死去>伊勢亀山藩6万石「石川総慶」(61歳)⇒8月23日、次男「石川総堯」が継ぐ(⇒11月14日、死去)
1764年8月-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>ヒグア・ハン国ハン「Tawke Khan Khudaydad」(~1766.2)
1764年8月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「マカル・ハチ・ハサン・パシャ」(~1765年、就任直後に解任)
1764年8月7日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「アントゥス・グロフ・ハデイク・フタキ」(政府大統領~17680204)
1764年8月7日-09:00|日本|兵庫県姫路市|明和1年7月10日|<死去>播磨林田藩1万石「建部長教」(41歳)⇒弟「建部政賢」が継ぐ(⇒文化9(1812)年11月22日、隠居)
1764年8月9日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ジョージ・ジェームス・フルーレ」(~17800

1770迄 (1648件)

910死去)

1764年8月24日 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>ランサロテ島領主「Martin Miguel de Castejon y Davila」
1764年8月24日 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>ランサロテ島領主「Maria del Pilar de Castejon y Silva」(~1806年死去)、「Martin Pedro de Castejon y Silva」(~1765年死去)
1764年9月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「セリム3世ギレイ」(1期目~17670314)
1764年9月 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「クロード・フランソワ・アンヌ・ド・ミヨウ」(~1771年)
1764年9月7日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<即位>ポーランド王・リトアニア大公「スタニスワフ・アウグスト・ポニャトフスキ(スタニスワフ2世アウグスト)」(~17951125第3次ポーランド分割による共和国消滅とともに退位/ロシアに亡命中に死去)
1764年9月10日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「ヤン・ピーター・テオドール・ハイデコパー」(2回目~17670711在任中死去)
1764年9月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝コーブルク＝ザールフェルト公「フランツ・ヨシアス」
1764年9月16日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝コーブルク＝ザールフェルト公「エルスト・フリートリヒ」フランツ・ヨシアスの息子(~18000908死去)
1764年9月17日-02:00|ラトヴィア/エストニア| |||<就任>リガ大司教・リヴァント公「アントン・レオ・ストゥーアー」(~1767年)
1764年9月18日 00:00|イギリス| |||<死去>2代カーパー伯「ウィリアム・クレイヴ・アーリング＝カーパー」
1764年9月18日 00:00|イギリス| |||<就任>3代カーパー伯「ジョージ・ナッソー・クレイヴ・アーリング＝カーパー」(~17891222死去)
1764年9月22日-09:00|日本|栃木県大田原市|明和1年8月27日|<死去>下野黒羽藩2万石「大関増備」(33歳)⇒長男の「大関増輔」(享和2(1802)年8月6日、隠居)
1764年9月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和1年9月|<初演>大晏寺堤、歌舞伎「敵討襷襦錦」中の芝居
1764年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・アントニオ・レオナルディ」マリノ・マルテッリ
1764年10月2日 00:00|イギリス| |||<死去>4代デヴオンシャー公「ウィリアム・キャヴェンディッシュ」
1764年10月2日 00:00|イギリス| |||<就任>5代デヴオンシャー公「ウィリアム・キャヴェンディッシュ」先代の息子(~18110729死去)
1764年10月7日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|明和1年9月12日|下野国宇都宮に一揆が起こる
1764年10月8日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和1年9月13日|<死去>豊竹越前少掾(84歳)義太夫節太夫/豊竹座の創始者
1764年10月13日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|明和1年9月18日|<死去>豊後森藩12500石「久留島光通」(61歳)⇒五男「久留島通祐」が継ぐ(⇒寛政3年8月10日(17910907)、死去)
1764年10月23日-05:30|インド/イギリス| |||<フクサル(カールスル)の戦い>ムガル皇帝シャー・アラム2世、アワド太守シジュ・ウッダウ、前ベンガル太守ミール・カシム三者連合軍40000はヒールとアワドの境にあるフクサルで、イギリス東インド会社の軍7000と会戦、戦いは1日で終結し、結果はイギリスの圧勝
1764年10月25日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの画家で版画家ウィリアム・ホース/66歳(誕生16971110)「娼婦の一生」を描いた
1764年10月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆29年10月|朝鮮、掌隷院を廃止
1764年10月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和1年10月|<初演>人形浄瑠璃「嬢景清八嶋日記」豊竹座
1764年11月1日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|明和1年10月8日|<死去>徳川宗春(69歳)元尾張藩主
1764年11月6日-09:00|日本|山口県岩国市|明和1年10月13日|<死去>周防岩国藩6万石「吉川経永」(51歳)⇒12月2日、養子「吉川経倫」が継ぐ(⇒寛政4(1792)年、隠居)
1764年11月7日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<死去>セントトマス島・セントジョン島総督代理「Ditlev Wilhelm Wieldthagen」
1764年11月9日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督代理「Peter Gynthelberg」(~17650829)
1764年11月12日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||トバゴはイギリスの植民地
1764年11月13日-09:00|日本|東京都江東区|明和1年10月20日|<大相撲>明和1年10月場所[江戸深川八幡宮](~8日間)優勝(東前4)押尾川、6勝1敗1休
1764年11月15日-09:00|日本|東京都|明和1年10月22日|<死去>初代富本豊前掾(49歳)富本節創始者
1764年11月17日-02:00|ウクライナ| |||ヘーチマン国ロシアに編入、ヘーチマンの称号を廃止
1764年11月19日 00:00|イギリス| |||<就任>グロスター＝エディンバラ公「ウィリアム・ヘンリー」(~18050825死去)
1764年11月22日-09:00|日本|神奈川県小田原市|明和1年10月29日|<死去>大久保忠興(51歳)前相模小田原藩主
1764年11月30日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「フアン・デ・イェグロス・イ・レタマ」(~17660929)
1764年12月6日-09:00|日本|三重県亀山市|明和1年11月14日|<死去>伊勢亀山藩6万石「石川総亮」(21歳)⇒甥「石川総純」が継ぐ(⇒安永5(1776)年5月13日、死去)
1764年12月13日 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ総督・最高司令官「ハート・メルヴィル」(1回目~1768年8月)
1764年12月17日-05:30|インド| |||<就任>コタ国支配者(マハラ)「クマン・シン」(~17710117没)
1764年12月22日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Etienne Francois de Turgot」(~1765.4)
1764年12月22日-09:00|日本| ||明和1年11月30日|<死去>理秀女王(40歳)中御門天皇の皇女、臨濟宗の尼
1764年12月28日-09:00|日本| ||明和1年12月6日|<死去>大口樵翁(76歳)茶人
1765年-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ主長(トゥイ・カクポオ)「トホウヒ」(~1771年)
1765年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事代行「統治ジュンタ(フリー・アントニオ・デ・サン・ボアベントウラ・シヨアン・ド・リゲス・ペレイラ)」(~1768年)
1765年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Hendrik Breton」(~1767年)
1765年-08:00|インドネシア| |||<即位>シヤク第3代サルタン「Abdul Jalil Jalaluddin Shah」(~1766年)
1765年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「トウルク・テンジン1世」(~1768年)

1770迄 (1648件)

1765年-05:45|ネーデル| |||<即位>リキア王「ジヤヤテジヤナヤナマツラ」(~1768年10月)
 1765年-05:30|インド| |||<死去>アリ国統治者(ラナ)「ハ・ハト・デ・オ2世」
 1765年-05:30|インド| |||<就任>アジヤガル国ラジヤ「グ・マン・シン」(~1792年没)
 1765年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ヤン・ムハマト・カーン」(~1766年)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>アリ国統治者(ラナ)「フ・ラタッパ・シン1世」(~1818年没)
 1765年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「ピーター・ハクスティーン」(~1773年)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>オムカ国ラジヤ「ハティ・シン」(~1768年没)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>コッホ・ヒール国ラジヤ「タイルシエント・ラ・ナヤン」(1回目~1770年)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>シヤイトフル国ラジヤ「ガ・イ・シン」(~不明)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>タルチャ・国ラジヤ「チャント・ラ・セカル・ヒラール・ハリヤンダン」(~1766年)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>チャルカリ国ラジヤ「クマン・シン」建国(~1782年没)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>ナルシンフル国ラジヤ「リシュナ・チャント・ラ・ハリヤンダン・モハトラ」(~1775年)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>ヒンジャワル国ラジヤ「ヒル・シン・デ・オ」建国(~1793年没)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>ファルカン国摂政「ラニ・サガ・ナハイ」(~1767年)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>マクタイ国ラジヤ「ハ・ラト・シャー」(~不明)⇒「ウダ・イ・シャー」(~不明)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>ラジャウリ国ラジヤ「カルマ・カーン」(~1808年没)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>ラダンプール国支配者(ナワブ)「ムハンマト・ナジム・アッデイン・カーン」(~1787年没)
 1765年-05:30|インド| |||<就任>ワドワン国統治者(タル・サーヒブ)「チャント・ラシムジ・サバルシムジ」(~1778年没)
 1765年-05:30|インド| |||<即位>パト国マハラジャ「ラムチャント・ラ・シン・デ・オ1世」(~1820年)
 1765年-05:30|インド/イギリス| |||トリプ・ラ国はイギリス保護領(1809年に確認)
 1765年-05:00|パキスタン| |||<就任>ラズバウ国ジャム・サハブ「コーラム・シャー」(~1776年)
 1765年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>バタフジャン・ハン「フルハン・アッデイン」(~不明)⇒「ミルザ・カーン2世」(~不明)⇒「アフマト・シャー・カーン」(~不明)⇒「ミルザ・カーン3世」(~不明)⇒「ザマン・アッデイン」(~1792年)
 1765年-04:00|シヨージア| |||<就任>グリア公「ギ・オルギ5世」(2回目~1771年)
 1765年-03:00|エチオピア| |||<即位>カファ帝国カフィ・アティオ「シャギ・シェロチヨ」(~1768年)
 1765年-03:00|サウジアラビア| |||<即位>デイルヤ首長「アブドゥル・アズィーズ1世」(ブ・ン・ムハンマト・アル=サウド) (~18031002死去)
 1765年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「シラフダル・マヒル・ハムザ・ハ・シャ」(~1767年、地元の首長によって退位させられた)
 1765年-01:00|ベナン| |||<就任>サヘ統治者「オラ・ジャグ・ホ」(~1770年)
 1765年-01:00|ベナン| |||<就任>ダホメ王国サ・イ・フエダ総督「セクワ・ロン」
 1765年-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>ベルゲン・オブ・ズーム総督「ペレント・ルー・ヴァン・アト・ウアルト」(~1773年)
 1765年-01:00|アルジェリア| |||<即位>トウゲルト・スルタン「ウマル2世」(ブ・ン・ムハンマト) (~1766年)
 1765年-01:00|ハンガリー| |||ハンガリーのトナウ川以南で農民反乱が勃発
 1765年 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>ランサロー島領主「Martin Pedro de Castejon y Silva」
 1765年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュ司令官「セバシヤン・タ・クーニャ・ソウト・マイオール」(~1766年)
 1765年 00:00|セネガル| |||<就任>ワタ・ト・ロ統治者(デ・ナンケ・サティギ)「サンバ・ホ・ヒ・コンコ」(~1772年)
 1765年 04:00|トミカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミカ総督代行「シヨージ・スコット」(~17671106没)
 1765年 05:00|エクアドル| |||エクアドルのキトで植民地支配に対する反乱が勃発
 1765年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ州市長兼副司令官「クリストバル・マルコス・デ・ガルベス・コラル」(2回目~1766年)
 1765年 06:00|アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ルイジアナ植民地総督「シャルル・フィリップ・オーブリー」(~1766年)
 1765年 07:00|メキシコ/スペイン| |||ユカタンでケツクの反乱
 1765年 10:00|ハワイ| |||<死去>マウイ島国王「Kamehamehanui Ailuaui」(kalani)
 1765年 10:00|ハワイ| |||<即位>マウイ島国王「Kahekili2世」(~1794年死去)
 1765年1月1日-01:00|イタリア| |||ベネチアで日刊紙「デ・イア・リオ・ヴェネト」発刊。商業問題とあらゆる日常の出来事を扱う
 1765年1月8日-07:00|日本|三重県伊勢市|明和1年12月17日|<伊勢山田明和元年の大火>(~18日)夜中の八つ時(午前2時頃)、山田の中島町、中野金剛橋前にある塩魚を商う奥井勘兵衛の家から出火、火元の町から表通りに燃え広がり、辻、二俣、浦口も通りを挟んで両側とも燃え尽きた/その後、筋向橋が焼け落ち、上中乃郷の両側、橋村世古、西世古も焼き、炎は下中乃郷へと進み、長乃世古、上之久保を経て八日市場へと燃え広がった/その後七つ町を焼き、大世古、一志も残らず焼失、さらに東へと燃え広がり下之久保、一之木も全焼させた後、宮後西河原を経て田中中世古を全焼、さらに館町北側、北御門口から南側の下馬所前野、岩淵、岡本と小田橋手前まで焼き尽くして、翌18日夜の戌の刻(20時頃)ようやく鎮火/被害は、平師職(一般の御師:布教、宿泊所)及び町家1771軒、外宮大宮司家、神宮家(神官)12軒、三方家(町政自治組織の長)11軒、三方家の長屋2か所、年寄家(自治組織役員)110軒、隠居所、春木隼人参籠所、町会所(集会所)6軒、その他3軒の以上1918軒が焼失/土蔵111か所、神社4か所、寺院2か所が焼失、6軒を破壊消防のため倒潰
 1765年1月13日-09:00|日本|東京都文京区|明和1年12月22日|<死去>一橋徳川家10万石「徳川宗尹」(44歳)⇒閏12月21日、四男「徳川治済」が継ぐ(⇒寛政11(1799)年1月27日、隠居)
 1765年1月17日-06:00|ハンガリー/ロシア| |||<就任>ハンガリー摂政「レザ・ハーン」(~17660503)
 1765年1月17日-06:00|ハンガリー/ロシア| |||<就任>ハンガリー・ナワブ・ナジム「ナジム・アッデイン・アリー・ハーン」(~17660503没)
 1765年1月18日-09:00|日本|栃木県日光市|明和1年12月27日|日光東照宮150回忌法要にともなう助郷役増徴に反対し沿道農民が蜂起
 1765年1月18日-09:00|日本|宮城県仙台市若林区|明和1年12月27日|仙台佛眼寺類焼

1770迄 (1648件)

1765年1月22日 04:00|フォークランド/イギリス| |||英国のジョン・バロン提督、フランス人の入植を知らないまま西フォークランド島にエグモント港を建設

1765年1月25日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Victor Therese Charpentier」(~17720309)

1765年1月26日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「ジャン・ロー・ド・ロストン・タンカーヴィル」(1回目~5月)

1765年1月27日-09:00|日本|東京都台東区|明和1年閏12月7日|<死去>佐竹義道(64歳)前出羽岩崎藩主(江戸定府)

1765年1月29日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「フランセスコ・マリア・デラ・ロヴェレ」(~17670129)

1765年2月5日-05:30|インド| |||<死去>ベンガル太守「ミール・ジャファール」

1765年2月5日-05:30|インド| |||<就任>ベンガル太守「ナジームッディーン・アリー・ハーン」(~17660508死去)

1765年2月6日-09:00|日本| |||明和1年閏12月17日|<中山道伝馬騒動>(~翌年1月)主要街道の一つであった中山道沿いで発生した一揆/助郷村では幕府の増助郷に反対する百姓の組織化が起こり、村役人の多くが負担に反発し出頭を断わると、村役人に賛同する農民が熊谷宿、鴻巣宿、桶川宿などに集結して蜂起、幕府側に抵抗/騒動は瞬く間に街道沿いに広がり、武蔵・上野・信濃および下野の一部にわたって発生し、20万人が参加したといわれる伝馬大騒動が起こった/幕府側は、助郷の追加負担を取り下げ沈静化を図ったが暴徒が街道沿いの富農を襲撃する打ちこわしを起し、中山道の機能がマヒする事態となった

1765年2月14日-09:00|日本|東京都|明和1年閏12月25日|江戸北町奉行依田豊前守政次はこの日、当時の消防の新兵器“竜吐水”を、江戸城近辺の町火消13組に合計55柄(台)給付/竜吐水とは、大きな水桶の上に二人で交互に動かす手押しポンプをつけた消火器だが、放水能力は低く、飛び火などによる延焼防止として家の軒先などに水を浴びせるか、火消人足が火中に飛び込む前に水をかぶるのに使ったという

1765年2月18日-05:30|インド/フランス| |||カリカルがフランスに復帰

1765年2月19日-05:30|スリランカ/オランダ| |||オランダがキャンディを占領(~8.31)

1765年2月20日-09:00|日本|東京都|明和2年|絵暦の交換会で、鈴木春信が錦絵を発表

1765年2月20日-08:00|中国| |||清・乾隆30年2月|東トルキスタンのウシュでムスリムの反乱がおこる

1765年2月21日-01:00|オーストリア| |||モーツァルトの交響曲第1番が初演される

1765年3月-07:00|ラオス/ミャンマー| |||ルアンパバーン(ランサン)はビルマの宗主国下(~1772年)

1765年3月14日-09:00|日本|東京都|明和2年1月23日|<死去>綾川五郎次(63歳)第2代横綱

1765年3月16日-09:00|日本|滋賀県大津市|明和2年1月25日|<交替>近江膳所藩6万石「本多康桓」隠居⇒弟「本多康政」が継ぐ(⇒同年10月30日、死去)

1765年3月20日 04:00|グアテマラ/フランス| |||<就任>グアテマラ総督「Pierre Gedeon de Nolivos」(~17681129)

1765年3月21日-09:00|日本|京都府京都市|明和2年春|絵師円山応挙が代表作のひとつ「雪松図」を京都で描く

1765年3月22日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリス議会が印紙条例を制定、アメリカ13植民地への課税強化第3弾

1765年3月24日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ニシュリ・メフメド・パシャ」(~17660411)

1765年3月24日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリス議会が軍隊宿営条例を制定、植民地に軍馬・食糧提供を義務付け

1765年3月24日-09:00|日本|奈良県葛城市|明和2年2月4日|<死去>大和新庄藩1万石「永井直国」(43歳)⇒次男「永井直温」が継ぐ(⇒寛政7(1795)年3月20日、死去)

1765年3月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ムシンザード・メフメド・パシャ」(1期目~17680807)

1765年3月31日-09:00|日本|愛媛県松山市|明和2年2月11日|<死去>伊予松山藩15万「松平定功」(33歳)⇒翌日、従兄「松平定静」が継ぐ(松山新田藩1万石は幕府に返上⇒安永8年7月14日(17790825)、死去)

1765年4月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Melek Ahmed Pasha」(~同年)⇒「Sunbatzade Mehmed Pasha」(~同年)⇒「Ahmed Pasha」(~1767年)

1765年4月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Jean Pierre Antoine de Behague」(2期目~17660128)

1765年4月1日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<死去>オランダ領セイロン総督「エック男爵バルト・ヤン」

1765年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリッポ・マネッティ」「マルク・アントニオ・タッシニ」

1765年4月1日-09:00|日本|愛媛県松山市|明和2年2月12日|<廃藩>松山新田藩1万石「松平定静」宗家松山藩を相続/宗家に吸収

1765年4月2日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア首相「ケニャズ・アレクサンドル・ミハイロヴィチ・ゴリツィン」(~17730502)

1765年4月5日 00:00|イギリス| |||<死去>ヤング/81歳(誕生16830703)「アン王女をいたむ」の詩人

1765年4月7日-05:30|インド/イギリス| |||サウアンディ国はイギリス保護領(18190217に確認)

1765年4月9日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>オランダ摂政「ウィルヘルミナ・カロリーナ・ド・オレンジ・バタン・ナッソー」(~17660308)

1765年4月11日-05:30|インド/フランス| |||ポンデ・イシェリがフランスに復帰

1765年4月14日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|明和2年2月25日|<死去>紀伊和歌山藩55万5千石「徳川宗将」(46歳)⇒3月29日、次男「徳川重倫」が継ぐ(⇒安永4(1775)年2月3日、隠居)

1765年4月18日-01:00|デンマーク/ルウェー| |||ルウェーでデンマーク王の暫定的人頭税への抗議行動がおこる

1765年4月25日-09:00|日本|東京都港区|明和2年3月6日|<大相撲>明和2年3月場所[江戸芝神明社](~8日間)優勝(東小結)出水川、7勝0敗1分

1765年4月25日-09:00|日本|福井県福井市|明和2年3月6日|福井城下で火事、侍家22軒・町家803軒など焼失

1765年4月26日-09:00|日本|東京都|明和2年3月7日|<死去>深井志道軒(86歳)講釈師

1765年5月-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督代行「ランソワ・ニコラ」(~1766年)

1765年5月7日-01:00|スペイン/エクアドル| |||キートでスペインの圧政に対する大衆蜂起(パリオの反乱)/住民はアウデ・イエンシアを占拠、ペガ・フロリダ伯をアウデ・イエンシアの王として推戴/その後リオンでアメリカ先住民反乱

1765年5月8日-09:00|日本|北海道|明和2年3月19日|<死去>蝦夷松前藩1万石「松前資広」(40歳)⇒10月11日、長男「松前道広」が継ぐ(⇒寛政4(1792)年10月28日、隠居)

1765年5月9日-09:00|日本| |||明和2年3月20日|<死去>桃田伊信(不明)絵師

1770迄 (1648件)

1765年5月13日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督代理「アンソニー・ムーヤート」(~8.7)
 1765年5月15日-05:30|インド/フランス| |||ヤサオンがフランスに復帰
 1765年5月15日-09:00|日本|福島県福島市|明和2年3月26日|<死去>陸奥福島藩3万石「板倉勝承」(31歳)⇒弟「板倉勝任」が継ぐ(⇒翌年7月7日(17660812)、死去)
 1765年5月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト＝ベルンブルク侯「Victor Frederick」
 1765年5月18日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト＝ベルンブルク侯「Frederick Albert」(~17960409死去)
 1765年5月25日 00:00|セネガル/イギリス| |||<就任>イギリス・セネガル総督「チャールズ・オハラ」(~1775年11月)
 1765年5月30日-05:30|インド/フランス| |||マハがフランスに復帰
 1765年6月-04:00|ロシア| |||ロシアで自由経済協会が設立される
 1765年6月-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル総督代行「ジョン・アーウィン」(~1767年)
 1765年6月7日 10:00|ポロニア/イギリス| |||トウアモツ諸島は、英国の大尉ジョン・パインによって再発見され、失望の島と命名
 1765年6月10日-09:00|日本|大阪府高槻市|明和2年4月22日|<死去>永井直期(63歳)前摂津高槻藩主
 1765年6月14日 00:00|モロッコ/イタリア| |||ベネチア、モロッコの سلطان との条約
 1765年6月15日-05:30|インド/フランス| |||ハンデルナゴールがフランスに復帰
 1765年6月18日-09:00|日本| |||明和2年5月|<刊行>後藤梨春「紅毛談(オランダばなし)」/エレクトルと称する電気医療器を紹介/オランダ文字を文中に使ったため幕府から絶版に処される
 1765年6月19日 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン| |||<就任>トリニダード 知事代行「ファン・デ・ブルノ」(~1766年)
 1765年6月20日 00:00|イギリス/インド| |||カルカッタで黒い穴事件でイギリス人123人が死亡
 1765年6月21日-13:00|ケルマディック/イギリス| |||無人のアタラは、英国コモドールジョン・パインがHMS「ルフィン」で訪れ、ヨーク公爵島の名付けられた
 1765年6月21日 00:00|マン島/イギリス| |||マン島は英国王が所持(17650711引き継ぎ)
 1765年6月21日 10:00|クック諸島/イギリス| |||フカカはイギリスのジョン・パイン提督によって再発見され、危険島と名付けられた
 1765年6月24日-01:00|イタリア| |||イタリア・モンテピアーノ、土砂災害、死者600
 1765年6月25日-02:00|ラトビア/ポーランド| |||<就任>ポーランド・リウオニア総督代行「ジョセフ・アイゼン・ヒルツェン」(~7.9)
 1765年6月25日-09:00|日本|和歌山県田辺市|明和2年5月8日|<死去>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤次由」(50歳)⇒6月24日、養子「安藤寛長」が継ぐ(⇒明和8(1771)年3月12日、25歳で死去)
 1765年6月27日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「デ・イゴ・アントニオ・マンリケ」(~7.24没)
 1765年6月29日 00:00|フィロ諸島| |||<死去>フィロ諸島領土執行使「Jorgen Frantz Hammershaimb」
 1765年6月29日 00:00|フィロ諸島| |||<就任>フィロ諸島領土執行使「Wenceslaus Hammershaimb」(~1815年)
 1765年6月30日-01:00|スペイン/エクアドル| |||6月末|アメリカ先住民の反乱が総督軍により壊滅される
 1765年7月2日-13:30|キリバス/イギリス| |||ニクカを英国軍大尉ジョン・パインが発見
 1765年7月5日 00:00|イギリス| |||<死去>ポルトン公・ウィンチェスター侯「チャールズ・ホーレット」
 1765年7月5日 00:00|イギリス| |||<就任>ポルトン公・ウィンチェスター侯「ハリー・ホーレット」(~17941225死去ポルトン公爵位廃絶)
 1765年7月6日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「ルイス・アントニオ・ラオン」(~1770.7)
 1765年7月7日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・景興26年5月20日|<死去>広南国王「武王・阮福濶」
 1765年7月7日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・景興26年5月20日|<即位>広南国王「定王阮福淳」(~1775年譲位~1777.8殺害される)
 1765年7月8日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|明和2年5月21日|<死去>伊達村信(46歳)前伊予吉田藩主
 1765年7月8日-09:00|日本|福島県相馬市|明和2年5月21日|<交替>陸奥中村藩6万石「相馬尊胤」隠居⇒養子「相馬怒胤」が継ぐ(⇒天明3(1783)年12月2日、隠居)
 1765年7月9日-02:00|ラトビア/ポーランド| |||<就任>ポーランド・リウオニア総督「ヤン・イェトルジエ・ヨゼフ・ホルツ」(~17671019)
 1765年7月13日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン王国第9代首相「第2代ロッキンガム侯爵チャールズ・ワトソン＝ウェントワース」ホイッグ党(~17660730)
 1765年7月14日-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「イスクンダル・スルカルナイン・イナヤット・シャー・カハル・ハリファット・ウル・ラーマン・ヨハン・ベルタウラート・ジラヒ・フィル・アラム・イブニ・アル・マルフム・スルタン・ムハンマド・シャー・アマウラ」
 1765年7月14日-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「マフムド2世シャー・イブニ・アル・マルフム・スルタン・ムハンマド・シャー・アミヌッラー」(~17730617没)
 1765年7月16日-09:00|日本|青森県八戸市|明和2年5月29日|<交替>陸奥八戸藩2万石「南部信興」隠居⇒長男「南部信依」が継ぐ(⇒天明元(1781)年2月9日、隠居)
 1765年7月18日-01:00|イタリア| |||<即位>パルマ公「フェルディナント」フィリッポの息子(~18021009死去51歳)
 1765年7月24日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官代行「パスクアル・ヒメネス・デ・シネロス」(~17660311)
 1765年8月2日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「John Irwin」(~1767.11)
 1765年8月7日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督「イマーン・ウィルム・ファルク」(~17850205)
 1765年8月12日-05:30|インド/イギリス| |||イギリスがベンガルの政権を引き継ぐ(東インド会社支配下)
 1765年8月12日-05:30|インド/イギリス| |||コホ・ヒール国はイギリス領インド 宗主権下
 1765年8月16日-05:30|インド/イギリス| |||イギリスとアワド王シュジャー・ウダ・ウは戦後処理としてアラハーバード条約を締結/アワドはアラハーバードとコーの年額280万ルピーの価値のある土地を会社に割譲し、イギリスはこれらの領土を皇帝シャー・アラム2世に与えた/また、イギリスはアワドに賠償金500万ルピーを課した

1770迄 (1648件)

1765年8月17日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク総督・総司令官「マヌエル・バルタザール・ペレイラ・ド・ラゴ」(~17790603)

1765年8月17日-09:00|日本| ||明和2年7月|<刊行>川柳集「誹風柳多留」初編

1765年8月18日-01:00|トイツ/オーストリア/チェコ/イタリア/フランス/ポーランド| |||<死去>神聖ローマ皇帝・トイツ王・オーストリア大公・トスカナ大公・ロレーヌ公・チェシン公「フランツ1世」兼カラブリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)「フランチェスコ」兼アルトワ伯「フランス1世」

1765年8月18日-01:00|トイツ/オーストリア/ポーランド/イタリア/チェコ| |||<即位>神聖ローマ皇帝・オーストリア大公「ヨーゼフ2世」兼カラブリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)「ジュゼッペ」フランツ1世の長男(~17900220死去)兼チェシン公「ヨーゼフ2世」(~1766年)トイツ王・ボヘミア王・ハンガリー・クロアチア王

1765年8月18日-01:00|イタリア| |||<即位>トスカナ大公「ピエトロ・レオナルド」フランチェスコ2世の息子(~17900722神聖ローマ皇帝となる)

1765年8月21日-05:30|インド| |||<即位>キヤンガル国マハラジャ「サルタール・シン」(~17680516没)

1765年8月22日-05:30|インド| |||<死去>パティアル国マハラジャ「アラ・シン」

1765年8月22日-05:30|インド| |||<即位>パティアル国マハラジャ「アマル・シン」(~1767年)

1765年8月29日 04:00|米領グァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督「Ulrich Wilhelm Roepstorff」(~17660512)

1765年9月1日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキチ総督・領主「スカルラット・グリコール・ギカ」(2回目~17661202)

1765年9月2日-08:00|中国| ||清・乾隆30年7月18日|甘肅・武山・甘谷地震/M6. 5、死者2, 068人

1765年9月8日-09:00|日本|京都府宮津市|明和2年7月23日|<死去>丹後宮津藩7万石「松平資尹」(20歳)⇒9月16日、養子「松平資承」が継ぐ(⇒寛政8(1796)年11月17日、隠居)

1765年9月16日-09:00|日本| ||明和2年8月2日|<明和2年北九州、四国、東海、関東暴風雨>北九州では肥前で田畑2514町が川水と土砂の下に埋もれ、2347町が海水の下になった/四国では土佐の東南部、田野、奈半利に被害をおよぼし、田野では堤防が決壊し町が水浸しになり家々が潰れ、流され、橋が落ちた。奈半利でも大堤防が決壊、多くの家が流されている/阿波では、高潮と翌日の吉野川をはじめとする河川の氾らんにより“酉年の大水”と名付けられた洪水が発生、8日の洪水による被害も含め、11万9628石を失った/紀伊では、熊野本宮大社の礼殿(拝殿)の石段が流され、大和奈良では春日大社の杉の大木など、名だたる大木が暴風のため倒れ、道路が閉鎖された/尾張では庄内川の氾濫のため、熱田、名古屋の町々が一面水に浸かり、東は奥田町から浜街道まで、西は佐屋街道から津島にいたるあいだ、一面皆、水中に没した/三河岡崎でも矢作川の水面が一丈六尺もせり上がり、洪水となり拳母町では80軒が流されるなど多くの人が犠牲となった/美濃では長良川及び揖斐川の支流牧田川が氾らん、大坪村、江月村、島江村の各所で堤防を破壊/武蔵及び江戸では、大風雨のため鶴見川の塩田堤が高潮で決壊、深川あたりの家々が床上浸水の被害に遭っている

1765年9月18日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ハートフォード 伯爵フランス・シーモア・コンウェイ」(~17660611)

1765年9月22日-09:00|日本|京都府京丹後市|明和2年8月8日|<交替>丹後峰山藩11100石「京極高長」隠居⇒養子「京極高久」が継ぐ(⇒文化5(1808)年4月20日、死去)

1765年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「フランチェスコ・ベニ」

1765年10月10日 00:00|イギリス| |||<死去>初代トーマセット公「ライオネル・クランフィールド・サックヴィル」

1765年10月10日 00:00|イギリス| |||<就任>2代トーマセット公「チャールズ・サックヴィル」(~17690105死去)

1765年10月14日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和2年8月30日|<廃座>「豊竹座」

1765年10月18日-09:00|日本| ||明和2年9月4日|<発行>五匁/銀金貨為替レート固定を狙い田沼意次の命で川井久敬が考案も失敗

1765年10月19日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「統治委員会(アントニオ・タウ・エイラ・ダ・ネウ・ア・ブルム・ダ・シルヴェイラ(2回目)/シジョン・バプティスタ・グアス・ペレイラ/シジョン・ホセ・デ・メロ)」(~17680312)

1765年10月26日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン代行「ミクス・パルフィ・エルデイ伯爵」(~12. 26)

1765年10月31日 00:00|イギリス| |||<死去>カバールランド公「ウィリアム・オガスタス」

1765年11月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代スペンサー伯「ジョン・スペンサー」(~17831031死去)

1765年11月1日 06:00|アメリカ| |||印紙条例が発効/ニューヨーク農民の大反乱が始まる

1765年11月3日-09:00|日本|山形県新庄市|明和2年9月20日|<死去>出羽新庄藩68200石「戸沢正謨」(46歳)⇒長男「戸沢正産」が継ぐ(⇒安永9(1780)年10月7日、死去)

1765年11月26日-09:00|日本|東京都江東区|明和2年10月14日|<大相撲>明和2年10月場所[江戸深川八幡宮](~8日間)優勝(西前3)関ノ戸、6勝0敗2無勝負

1765年12月3日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ペドロ・デ・サラザール・イ・エレラ・ナハラ・イ・メントーサ」(~17710520没)

1765年12月12日-09:00|日本|滋賀県大津市|明和2年10月30日|<死去>近江膳所藩6万石「本多康政」(21歳)⇒養子「本多康伴」が継ぐ(⇒明和8(1771)年8月29日、死去)

1765年12月13日-09:00|日本| ||明和2年11月|<刊行>島田充房・小野蘭山、植物図説「花彙」図に立体感をもたせるよう工夫された

1765年12月26日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン「アルベルト・ガシミール・アウグスト・フォン・ザクセン・ヘルツォーク・ツー・テシェン」(~1780年)

1765年12月30日-09:00|日本|島根県安来市|明和2年11月18日|<交替>出雲母里藩1万石「松平直員」隠居⇒長男「松平直道」が継ぐ(⇒明和4(1767)年閏9月26日、隠居)

1766年-08:00|インドネシア| |||<即位>ジャバ第4代スルタン「Abdul Jalil Alamuddin Shah」(~1780年)

1766年-08:00|マレーシア| |||<即位>セランゴール・スルタン「トゥアンク・サラフディン・シャー・イブニ・アルマルフム・ヤムトゥアン・ムタ・ダイン・チェラク」(~1778年没)

1770迄 (1648件)

1766年-05:30|インド| |||<就任>アウトル 国統治者(パンツ・プ・ラティネイ)「バグ・ワントラオ・トリムバク」(~17760405没)
1766年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ウル・カーン・カタク」(1回目~同年)⇒「クラム・カーン」(~1767年)
1766年-05:30|インド| |||<就任>コタケ 国ラジャ「ムタヤ」(~1770年没)、「ムット」2世(~1770年没)
1766年-05:30|インド| |||<就任>タルチャー 国ラジャ「アヤティ・ヒラール・ハリヤンタン」(~1774年没)
1766年-05:30|インド| |||<就任>ハリナ 国統治者(タル・サーヒブ)「アルハ・イ」(~1770年)
1766年-05:30|インド| |||<就任>マルコトラ 国支配者(ナワブ)「カーン・サーヒブ・ウマル・カーン」(~17801101没)
1766年-05:30|インド| |||<就任>ランポール 国首都がマントウ・ゲガンに移転
1766年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ 国第38代ハン「シャー・ガーズィー」アフル・ガーズィー2世の子(~1768年)
1766年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリ王「ティムラズ」(~1768年)
1766年-02:00|エジプト| |||エジプトのアリー・ベイが政争に敗れて一時亡命
1766年-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| |||<就任>オーストリア領ルクセンブルグ 総督「マクシミリアン・フリードリヒ・エルスト・フルスト・フォン・ザルム・サルム」(~1773年5月)
1766年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ 暫定総督「Diego de Noboa y Villamarin」(2期目~同年)⇒総督「Francisco Antonio Tineo」(~1770年)
1766年-01:00|ポーランド| |||<就任>チェシ公「マリア・クリスティーナ」(~17980624死去)、「アルベルト・ガズミール」(~18220210死去) 共同統治
1766年-01:00|ベルギー| |||<就任>リニユ公「シャル・ジョゼフ」(~1814年)
1766年-01:00|アルジェリア| |||<即位>トゥグルト・スルタン「アフマト」6世(~1778年)
1766年-01:00|クワチア| |||<即位>ホルヒツァ大公「フラノ・パウ・ヴィッチ」(~1768年)
1766年-01:00|スペイン/フィリピン| |||インド 洋経由のスペインとフィリピン間の貿易が開始
1766年-01:00|オランダ/スリランカ| |||オランダ とキャンディ王国との間に和平条約/キャンディ王国の王は、オランダ に譲歩し、マータ、ゴール、コロンボ、ジャファ、カルピティア、マンナル、トリンコマリ、パツィカアをオランダ に割譲
1766年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>スペイン王国エルベントウ島 永続的軍政知事「Gines de Cabrera Bethencourt Dumpierrez」
1766年 00:00|イギリス/セントビンセント| |||<就任>イギリス植民地セントビンセント(グレナダ に従属) 副総督「ローリン・マクリン」(~同年)
1766年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ベルナルド・デ・アゼベド・コウチーニョ」(~1770年)
1766年 00:00|セネガル| |||<就任>ケール統治者(タンメル)「コトウ・クンバ」(~1777年)
1766年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国ラ・ゴメラ及びエル・ヒロ 総支配人「Francisco del Castillo Santelices」(~1786.9死去)
1766年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「セバスチャン・ダ・クニャ・ソウト・マイオール」(~1775年)
1766年 00:00|モーリタニア| |||<就任>ブラクナ連合エミール「ムハンマド・ウルド・ムタル」(~1800年没)
1766年 00:00|イギリス| |||化学者のヘンリ・キャヴェンディッシュが水素ガスを発見
1766年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス 総督代理「Samuel Rous」(1期目~1768年)
1766年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>ネイビス 大統領「チャールズ・ヒム・ハート」⇒大統領代行「ジョン・リチャード・ソーンハート」(2度目⇒1767年、大統領~1782年)
1766年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス 聴問庁長官「ファン・マルティネス・デ・ティネオ」((1767年まで暫定~1769年)
1766年 04:00|グアドループ/フランス| |||グアドループ はフランス領アンティル 植民地の一部(~1775年)
1766年 05:00|タークス・カイコス諸島/イギリス| |||<就任>タークス・カイコス諸島 代理人「Andrew Seymour」(~1772年)
1766年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネチカット 植民地総督「ウィリアム・ピトキン」(~17691001)
1766年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ 州市長兼副司令官「マヌエル・フラデ・イ・コ・イェナ」(2回目~1771年)
1766年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルイズ・アナ 植民地総督「アントニオ・デ・ウリョア」(~1768年)
1766年 06:00|ニカラガア/スペイン| |||<就任>ニカラガア 総督「トミンゴ・カペロ・イ・ロブレ」(~1776年)
1766年1月7日-09:00|日本|愛知県豊田市|明和2年11月26日|<交替>三河拳母藩2万石「内藤政苗」隠居⇒養子「内藤学文」が継ぐ(⇒寛政6(1794)年6月10日、死去)
1766年1月8日 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領西フォークランド 海軍担当官「John MacBride大佐」(~1767.1)
1766年1月8日 04:00|フォークランド/イギリス| |||イギリス人が西フォークランド 島に入植
1766年1月14日-01:00|ルウェー/デンマーク/ドイツ| |||<死去>ルウェー・デンマーク王・シュレースヴィヒ公・ホルシュタイン公「フレデリク5世」兼オランダ 伯「フレデリク3世」42歳(誕生17230331)
1766年1月14日-01:00|ルウェー/デンマーク/ドイツ| |||<即位>ルウェー・デンマーク王・シュレースヴィヒ公・ホルシュタイン公「クリスチャン7世」フレデリク5世とルイズ・オヴ・グレート・ブリテンの次男(~18080313死去59歳) 兼オランダ 伯「クリスチャン10世」(~17730701退任)
1766年1月14日-09:00|日本|東京都千代田区|明和2年12月4日|奥医師多紀安元が、神田佐久間町に医学館「躰寿館」を創設
1766年1月16日 00:00|イギリス| |||<死去>18代サーランド 伯「ウィリアム・サーランド」
1766年1月16日 00:00|イギリス| |||<就任>19代サーランド 女伯「エリザベス・ルーソン＝コア」(~18390129死去)
1766年1月17日-09:00|日本| |||明和2年12月7日|<死去>初代青木宗鳳(76歳) 茶人
1766年1月20日-09:00|日本|広島県広島市|明和2年12月10日|広島江波島出火、家91軒焼失

1770迄(1648件)

1766年1月24日-09:00|日本|福島県二本松市|明和2年12月14日|<死去>陸奥二本松藩100700石「丹羽高庸」(36歳)
⇒翌年1月27日、長男「丹羽長貴」が継ぐ(⇒寛政8年3月27日(17960504)死去)
1766年1月28日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ知事「Louis Thomas Jacau de Fiedmond」(2期目~17811215)
1766年2月-05:00|ウズベキスタン| ||<即位>ヒヴァハン国ハン「Shah Ghazi Khan」(~1768年死去)
1766年2月-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのデイ「ムハンマド5世ベン・オスマン」(~17910712没)
1766年2月1日-09:00|日本|東京都千代田区|明和2年12月22日|<就任>老中「阿部正右」(~天明6年7月12日)
1766年2月2日-09:00|日本| ||明和2年12月23日|検校・勾頭・座頭等の高利貸を禁ず
1766年2月4日-05:30|インド| ||マラータ国宰相マダーウーウとハイダル・アリーが協定を締結
1766年2月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和3年1月|<初演>近松半二、三好松洛、竹田因幡、竹田小出、竹田平七、竹田三郎兵衛、人形浄瑠璃「本朝廿四考」竹本座
1766年2月23日-01:00|フランス/ポーランド| ||<死去>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「スタニスラス」(前ポーランド王スタニスワフ1世)88歳(誕生16771020)ロレーヌ公国はフランス王ルイ15世に相続され、王領に併合
1766年3月4日 00:00|イギリス| ||イギリス議会在、植民地の激しい反発のため印紙税法を撤回
1766年3月8日 09:00|日本|青森県|明和3年1月28日|<明和3年津軽半島地震>酉の刻(18時ごろ)、津軽国でマグニチュード7クラスの地震/弘前城では多くの櫓や門などが破損/各地で地割れがあり、液状化し砂が噴出、割れ目に転落して死亡した人もいた/余震が多く翌日夜明けまでにおよそ20回もあり年末まで続き、特に2月8日の余震は大きく家屋の破損があった/被害総数、倒壊により979人(寺社での被害含まず)、火災により298人合計1277人死亡家屋全壊5005棟、同半壊323棟、同焼失225棟、土蔵全壊155棟、同半壊7棟、同焼失65棟
1766年3月11日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「アントニオ・マリア・デ・フカリー・イ・ウルア・ヒストサ・ラツ・デ・ラ・ベガ」(~17710814)
1766年3月12日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Marcos de Vergara」(~10.28)
1766年3月18日 00:00|イギリス/アメリカ| ||イギリス議会在が廃止した印紙条例の代りに「宣言条例」を可決
1766年3月18日-09:00|日本|青森県弘前市|明和3年2月8日|弘前で地震。家屋破損多数。人馬死傷多数
1766年3月23日-01:00|スペイン| ||スペインで穀物価格設定の自由化政策に反対するスクーレ暴動がおこる
1766年3月24日-09:00|日本|茨城県水戸市|明和3年2月14日|<死去>常陸水戸藩35万石「徳川宗翰」(39歳)⇒3月25日、長男「徳川治保」が継ぐ(⇒文化2(1805)年11月1日、死去)
1766年4月 00:00|セネガル/イギリス| ||<制定>イギリス王領セネガル植民地
1766年4月1日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド総督代行「アントレ・ボワロー」(~17670210)
1766年4月1日-01:00|サマリ/ ||<就任>サマリ/共和国執政「フリッポ・ベルツィ」(ホンペイ・ゾリ)
1766年4月5日 04:00|トリニダード・トバゴ/スペイン| ||<就任>トリニダード知事「ホセ・デ・フロレス」(~17730331)
1766年4月6日-09:00|日本|長崎県長崎市|明和3年2月27日|<長崎明和3年の大火>(~28日)西古川町より出火、十六町に延焼し翌朝辰刻(7時半ごろ)鎮火/本古川町や今鍛冶屋町に飛び火し、鍛冶屋町から今籠町、今石灰町、新石灰町、油屋町と延焼、榎津町、萬屋町、東浜町を焼き尽くした/火元の西古川町や西浜町、鍛冶屋町はほとんど灰となり、銅座跡、磨屋町では数戸焼け、主な建物では柳川屋敷、五島屋敷、町年寄(町政を預かる町役人の筆頭)久松善兵衛の居宅が焼け、寺では大音寺、崇福寺、現応寺、南光寺、聖寿院、良泉院、金蔵院、快行院などが軒並み灰となった/2794戸焼失
1766年4月7日-01:00|ベルギー| ||<就任>フアン・レオ「チャールズ・ジョセフ」(~17930512)
1766年4月9日 05:00|エクアドル/スペイン| ||<就任>スペイン領トビ略定総督・総司令官・大審問院長「フアン・アントニオ・セラヤ・イ・ベルカウ」(~17670717)
1766年4月9日-09:00|日本| ||明和3年3月|<死去>書家・高陽谷/48
1766年4月9日-09:00|日本| ||明和3年3月|幕府が浄土真宗御蔵門徒を異端として逮捕(9月29日ごろまでに処刑)
1766年4月11日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「ケプリル・ハック・アフメト・パシャ」(2回目~17670305)
1766年4月13日 03:00|日本|福井県福井市|明和2年3月5日|<福井明和3年の大火>午の刻(午前12時ごろ)三ッ橋の高須屋與四郎方から出火、谷町から大工町の半ばを焼き、神明町、一乗寺、上与力町の半ばも灰とした/そこから五カ寺門前から照護寺より西の片町の壕に至り、南は足羽川の岸に達し、ことごとく焼き尽くした/被害は最上級武士の下屋敷6軒、土家(士分:上・中級武士の家)15軒、与力宅(主君へのお目見え可能な下級武士)24軒、組家(足軽の家)61軒、武家奉公人の家58軒、町家2464軒、大安寺里坊、藩の札所(藩札:藩専用紙幣の発行管理所)、牢屋など総計2637軒、ほかに蔵137棟、寺院43か所が焼失/17人死亡
1766年4月16日-09:00|日本|京都府綾部市|明和3年3月8日|<交替>丹波綾部藩19500石「九鬼隆寛」隠居⇒四男「九鬼隆貞」が継ぐ(⇒安永9(1780)年12月12日、死去)
1766年4月25日-05:30|インド| ||<死去>マイソール国マハラジャ「クリシュナラジャ2世ウデヤール」
1766年4月25日-05:30|インド| ||<即位>マイソール国マハラジャ「ナンジャラジャ・ウデヤール」(~17700802没)
1766年5月2日-09:00|日本|東京都港区|明和3年3月24日|<大相撲>明和3年3月場所[江戸芝神明社](~9日間)優勝(東小結)出水川、5勝0敗1分1預1無勝負
1766年5月3日-06:00|バングラデシュ| ||<就任>ベンガル摂政「レザー・カーン」(2回目~1770年)
1766年5月3日-06:00|バングラデシュ| ||<就任>ベンガル・ナワブ・ナジム「サイフッダウラ・ナジブ・アッ・カーン」(~1770年)
1766年5月5日-09:00|日本|茨城県水戸市|明和3年3月27日|<水戸明和3年の大火>未の中刻(14時ごろ)、紺屋町並松の町家から出火、城下の南、下町がほぼ全焼、郊外まで及び、細谷村、浜田村にも及んだ/下町ではわずかに一之町、鼠町、十軒町の侍屋敷と七軒町の荒神社が残っただけで、ほとんどが灰となるなど、町数では武士小路52町、町方58町が被災し、侍屋敷300軒余、町家812軒、浜田村110軒、細谷村280軒と合計1502軒余が焼失/河岸の藩倉庫

1770迄 (1648件)

にも延焼し、米粃10万俵余を焼いた

1766年5月8日-05:30|インド| |||<死去>ベンガル太守「ナジ ムッデ ィーン・アリー・ハーン」

1766年5月12日 04:00|米領グアージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督「Jens Nielsen Kragh」(~17730429死去)

1766年5月20日-05:30|インド| |||<就任>インダール国統治者(スェタール)「マレ・ラオ・ホルカル2世」(~17670405没)

1766年5月22日-05:30|インド| |||<就任>ベンガル太守「ナジャバト・アリー・ハーン」(~17700310死去)

1766年5月27日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「Samuel Rous」(1期目~17680211)

1766年6月1日 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>リーワード・カリブー諸島総司令官・総督代行「ジェームズ・ウェルチャイルド」(~17680410)

1766年6月2日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントアゴ総督代行「ロジャー・ホープ・エレットソン」(~17680930)

1766年6月7日-09:00|日本| ||明和3年5月|<初演>歌舞伎「廿四考」大坂中の芝居

1766年6月11日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「ホウス男爵ジョン・ホウス・コナン/ドモハダ伯爵チャールズ・ムーア/ジョン・ボンソビエ」(~17671014)

1766年6月12日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サスカラワ植民地総督「チャールズ・グレヴィル・モンタギュー」(~1768.5)

1766年6月14日-09:00|日本|山形県鶴岡市|明和3年5月8日|<死去>出羽庄内藩14万石「酒井忠寄」(63歳)⇒長男「酒井忠温」が継ぐ(⇒明和4年1月16日(17670214)、死去)

1766年6月25日 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国エルベントウ島永続的軍政知事「Agustin de Cabrera Bethencourt Sanchez Dumpierrez」(~18281203死去)

1766年6月27日-09:00|日本|長崎県平戸市|明和3年5月21日|<交替>平戸新田藩1万石「松浦到」隠居⇒長男「松浦宝」が継ぐ(⇒天明3(1783)年5月7日、35歳で死去)

1766年7月1日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミンゴ総督「モンバゾン公ルイ・アルマン・コンスタンタン・ド・ローアン」(~17690210)

1766年7月6日-09:00|日本|静岡県浜松市|明和3年5月30日|<死去>遠江国浜松藩6万石「井上正経」(42歳)⇒四男「井上正定」が継ぐ(⇒天明6(1786)年3月20日、死去)

1766年7月24日 06:00|アメリカ| |||オワ族とイギリスがオスウィーゴ条約を結ぶ/ホンティアック戦争が終結

1766年7月30日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン王国第10代首相「初代チャム伯爵ウィリアム・ピット(大ピット)」ホイッグ党(~17681014)

1766年8月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サンミゲル島太守長官「Luis Antonio Jose Maria da Camara」(~18020326死去)

1766年8月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||グランドサ島、サントマリア島・サンミゲル島、フロレス島・コルヴォ島、ファイアル島・ピコ島、ブラワイはアゾレス諸島総司令部の一部

1766年8月4日 00:00|イギリス| |||<就任>初代チャム伯「ウィリアム・ピット」(~17780511死去)

1766年8月5日-09:00|日本|新潟県長岡市|明和3年6月30日|<死去>越後長岡藩74000石「牧野忠寛」(26歳)⇒長男「牧野忠精」が継ぐ(⇒天保2(1831)年4月18日、隠居)

1766年8月6日-09:00|日本|東京都中央区|明和3年7月|中村座で「縄張」始める☆榎席の元でなわばりの語源

1766年8月6日-09:00|日本|京都府京都市|明和3年7月1日|朝廷が、宮中に仕える役人たちに対して、菊の紋章入りの提灯をみだりに使用することを禁じる

1766年8月7日 04:00|米領グアージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Peter Clausen」(2期目~17700504)

1766年8月11日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー州植民地総督「ジョン・ウェントワース」(~17750824)

1766年8月12日-09:00|日本|福島県福島市|明和3年7月7日|<死去>陸奥福島藩3万石「板倉勝任」(31歳)⇒養子「板倉勝行」が継ぐ(⇒安永2年8月16日(17731002)、死去)

1766年8月15日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>ラ・デ・ラ・プラタ総督「フランシスコ・デ・ホーラ・ブカリリ・ウルスA」(~17700904)

1766年8月15日-09:00|日本|広島県広島市|明和3年7月10日|広島茅屋町出火、家数197軒(388竈)、寺1焼失

1766年8月20日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|明和3年7月15日|<死去>伊勢神戸藩15000石「本多忠興」(25歳)⇒従弟「本多忠裔」が継ぐ(⇒享和3(1803)年1月22日、死去)

1766年8月22日 00:00|イギリス| |||イギリスがウオリス艦隊を太平洋探検航海に派遣

1766年8月23日-05:30|インド| |||<就任>第2代インドール太守「マレ・ラオ・ホルカル」(~17670405死去)

1766年8月23日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「クロウ侯爵カルロス・フランシスコ・デ・クロウ」(~17710923)

1766年9月13日-09:00|日本|北海道松山郡江差町|明和3年8月10日|松前藩江差で一揆が起こる

1766年9月23日-09:00|日本|奈良県天理市|明和3年8月20日|<死去>大和柳本藩1万石「織田長恒」(28歳)⇒10月16日、甥「織田秀綿」が継ぐ(⇒文化3(1806)年9月20日、死去)

1766年9月28日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「カルロス・モフィ」(~17720823)

1766年9月29日-09:00|日本|愛知県岡崎市|明和3年8月26日|<死去>三河西大平藩1万石「大岡忠宜」(58歳)⇒次男「大岡忠恒」が継ぐ(⇒天明4(1784)年、隠居)

1766年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・ジャンニニ」「ジュゼッペ・フランツォーニ」

1766年10月7日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アゾレス諸島総司令官「Antao de Alameda」(~1776年)

1766年10月20日 00:00|グアテマラ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴート＝コスト総督「クリスチャン・ティクセン」(~17680111)

1766年10月22日 00:00|イギリス| |||<就任>カンバーランド＝ストラサン公・初代ダブリン伯「ヘンリー・フレデリック王子」ウェールズ公フレデリック・ルイスの第6子、ジョージ3世の弟(~17900918死去)

1766年10月22日 00:00|イギリス| |||<昇格>2代ノーサンバーク伯「ヒュー・パーシー」⇒初代ノーサンバーク公兼初代パーシー伯(~

1770迄 (1648件)

17860606死去)

1766年10月27日-09:00|日本|宮崎県延岡市|明和3年9月24日|<死去>内藤政樹(61歳)前日向延岡藩主
1766年10月28日 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督代理「Jose Trentor」(~17700731)
1766年10月30日-09:00|日本| ||明和3年9月27日|<死去>初代山本利兵衛(79歳)蒔絵師
1766年11月1日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリス議会、通商法改正、アメリカ植民地が輸入するすべての糖蜜に課税
1766年11月3日-09:00|日本| ||明和3年10月|<初演>人形浄瑠璃「太平記中心講釈」全十段、四段目「石切梶原」、六
段目「七条河原」、七段目「喜内住家」、八段目「宅兵衛上使」、竹本座
1766年11月5日 00:00|イギリス| |||<就任>初代モンタギュー公・初代モンサマー侯「ジョージ・モンタギュー」4代カーティガン伯(~1790
0523死去モンタギュー公爵廃絶)
1766年11月10日 06:00|アメリカ| |||クイーンズ・カレッジ(後のラゴース大学)創立
1766年11月12日-05:30|インド/イギリス| |||ニザーム王国5代国王ミール・ニザーム・アリー・ハーンはイギリスと友好条約を結び、その
同盟国となった
1766年11月12日-05:30|インド/イギリス| |||ハイデラバード国はイギリス保護領(18001012および18090822に条約により確
認)
1766年11月16日-09:00|日本|東京都江東区|明和3年10月15日|<大相撲>明和3年10月場所[江戸深川八幡宮](~8日
間)優勝(西前1)越ノ海、6勝0敗1分1預
1766年11月22日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「尹東度」(~17670109)
1766年11月26日 00:00|イギリス| |||<就任>初代リンスター公「ジェームズ・フィッツジェラルド」初代キルデア侯・初代オファリー伯(~1773
1119死去)
1766年12月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキチ総督・領主「アレクサンドル・スカラット・ギカ」(~1768年11月)
1766年12月2日-01:00|スウェーデン| |||スウェーデンで出版自由法が制定
1766年12月2日 00:00|イギリス/セントビンセント| |||<就任>イギリス植民地セントビンセント(グレナダに従属)副総督「ユリウス・フィッ
モリス」(~17720821没)
1766年12月2日-09:00|日本|大阪府大阪市西区|明和3年11月|「豊竹此吉座」北堀江に開場(豊竹此太夫・人形浄瑠
璃)
1766年12月5日 00:00|イギリス| |||ジェームズ・クリスティーがオークションハウス「クリスティーズ」設立(ロンドン)
1766年12月9日-09:00|日本| ||明和3年11月8日|<死去>竹本大和掾(65歳)浄瑠璃太夫
1766年12月21日-09:00|日本|茨城県笠間市|明和3年11月20日|<死去>常陸宍戸藩1万石「松平頼多」(45歳)⇒婿養
子「松平頼教」が継ぐ(⇒享和2(1802)年4月5日、隠居)
1766年12月27日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「ジョン・エンリケ・バエタ」(~17670504没)
1767年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Hendrik Breton」(~1770年)
1767年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンクーレン大統領府総督「Richard Wyatt」(~1776年)
1767年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Hermanus Munnik」(~1771年)
1767年-08:00|インドネシア| |||<即位>スメラブ君主「Tirtanegara」(~1811年)
1767年-08:00|インドネシア| |||<即位>パンバンガン君主「Pangeran Wilis」(~1768年)
1767年-08:00|マレーシア/ミャンマー| |||クダはビルマ宗主権下(~1769年)
1767年-07:00|ラオス| |||<死去>ヴァンエンチャン王「オンロン」
1767年-07:00|ラオス| |||<即位>ヴァンエンチャン王「オンバン」(1回目~1778年)
1767年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ王国国王「スルタン・マフムード・アフドゥル・ジャリル・カリムラ・ムアリム・シャー」(~1786年)
1767年-05:30|インド| |||<就任>アウク国統治者「ウエンカタ・ナランハ」(~1771年)
1767年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ファキール・ウッラー・カント」(~同年)⇒「スルッティン・カーン・ハンザ
イ」(3回目~1770年)
1767年-05:30|インド| |||<就任>コット・カプラ国支配者「テジ・シン」(~1806年)
1767年-05:30|インド| |||<就任>トリプラ国ラジャ「クリシュナ・マーニーヤ」(2回目~17830711)
1767年-05:30|インド| |||<就任>パティアル国統治者(ラジャ・エ・ラジガン)「アマル・シン」(~17810205)
1767年-05:30|インド| |||<就任>ファルタン国統治者(ナイク)「サヤジ・ラオ・ニハルカル」(~1774年)
1767年-05:30|インド| |||<就任>ホラハット国ラジャ「ジャガンナート・シン4世」(~不明)⇒「ハリハル・シン」(~不明)⇒「ラクバール・シン」(~
1818年)
1767年-05:30|インド| |||<即位>ゴワ・スルタン「I Mallisujawa Daeng Riboko Arungmampu」(~1769年)
1767年-05:00|モルデイグ| |||<即位>モルデイグ・スルタン「カヤート・アッディン・ムハンマド」(~17731222)
1767年-02:00|エジプト/トルコ| |||<交替>オスマン帝国領エジプト総督「シラフタル・マヒル・ハムザ・パシャ」地元の首長によって退
位させられた⇒「チェビ・マフメド・パシャ」就任(~同年)⇒「ラキム・マフメド・パシャ」(~1768年、アリ・ベイ・アル=カビールによって退位
させられた)
1767年-02:00|ブルンジ| |||<死去>ブルンジ王国国王「ムタガ3世セニャムウイザ」
1767年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ワリス(総督)「Mehmed Pasha」(~同年)⇒「Kul Ahmed Pashazade Ali
Pasha」(~同年)
1767年-02:00|ラトヴィア| |||<就任>ケルラント・ゼムガレン公国政府議長「オットー・クリストフ・フォン・デア・ハウエン」(2回目~17751208)
1767年-02:00|ラトヴィア/エストニア| |||<就任>リガ大司教・ラヴァント公「メルキオール・フォン・ヴァーダーウ若公」(~1772年)
1767年-02:00|ブルンジ| |||<即位>ブルンジ王国国王「ムワンツァ3世ジャルジャンボ・ブタマ」(~1796年頃没)
1767年-02:00|エジプト| |||エジプトでアリー・ベイが支配権を再確立
1767年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「アンヌ2世レオン」(~1799年)
1767年-01:00|リビア| |||<即位>オスマン帝国フェザン・スルタン「タヒル2世」(~1776年)

1770迄(1648件)

1767年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Lourenco Lobo de Almeida Garcez Palha」(~1769年死去)

1767年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>ラ・コメロ伯「Florenzia Pizarro Piccolomini y Herrera」(~1794年死去)

1767年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領西フロリダ 植民地総督代理「モンフォート・ブラウン」(~1769年)

1767年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ウゴ・オコル」(~1770年)

1767年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Pedro Fermin de Mendinueta」(~1777年)

1767年 07:00|メキシコ/スペイン| |||ゲアナファトなどバヒオ地方の三つの鉱山街で、イエズス会士の追放処分に抗議する暴動/ガルベスは弾圧策で抵抗を封じ込め85人が絞首刑

1767年1月 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領西フォークランド 海軍担当官「ジョン・Rayner大佐」(~1768. 2)

1767年1月1日-08:00|中国/ミャンマー| ||清・乾隆32年12月|明瑞率いる清軍が雲南に侵入したビルマ軍を撃退

1767年1月2日-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| |||<就任>オーストリア領ルクセンブルグ 総督代行「クリスチャン・ヤコブ・フライヘル・フォン・フォーケルツング」(⇒1773年5月、総督~1785年)

1767年1月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「徐志修」(~4. 17)

1767年1月12日-09:00|日本|東京都中央区|明和3年12月|山県大貳・藤井右門・竹内式部らの尊王論を幕府が弾圧、山県大貳捕縛される

1767年1月18日-09:00|日本|岐阜県山県市|明和3年12月18日|<死去>美濃高富藩1万石「本庄道信」(19歳)⇒翌年2月11日、養子「本庄道揚」が継ぐ(⇒明和8(1771)年10月18日、死去)

1767年1月19日-09:00|日本| ||明和3年12月19日|<死去>八文字屋瑞笑(40歳)版元、浮世草子作者

1767年1月23日-01:00|オーストリア| |||マリア・テレジアの土地台帳令

1767年1月24日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|明和3年12月24日|<死去>摂津尼崎藩48000石「松平忠名」(53歳)⇒翌年2月20日、三男「松平忠告」が継ぐ(⇒文化2(1805)年12月10日、死去)

1767年1月30日-08:00|中国| ||清・乾隆32年|<死去>ハミ郡ハーン「ユースフ」

1767年1月30日-08:00|中国| ||清・乾隆32年|<即位>ハミ郡ハーン「イシャク」(~1779年、死去)

1767年2月-01:00|スペイン| |||スペインでイエズス会士の追放令

1767年2月3日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ゲリゴール・イオン・カリマチ」(2回目~17690614)

1767年2月3日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「マルチェロ・テュラツ」(~17690203)

1767年2月10日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド 総督「タンカウ・イル伯爵ジャン・ロート・ロートン」(2回目~17770108)

1767年2月14日-09:00|日本|山形県鶴岡市|明和4年1月16日|<死去>出羽庄内藩14万石「酒井忠温」(36歳)⇒長男「酒井忠徳」が継ぐ(⇒文化2(1805)年9月25日、隠居)

1767年2月15日-09:00|日本|熊本県人吉市|明和4年1月17日|<死去>肥後人吉藩22165石「相良頼完」(19歳)⇒養子「相良福将」が継ぐ(⇒明和6(1769)年1月12日、死去)

1767年2月23日-05:30|インド/イギリス| |||コザム王国はイギリスに新たな友好条約を結ばされ、イギリスからの税收差額支払いの減額を決められた

1767年2月23日-09:00|日本|岡山県倉敷市|明和4年1月25日|<死去>岡山新田藩15000石「池田政員」(31歳)⇒弟「池田政弼」が継ぐ(⇒安永5(1776)年7月25日、35歳で死去)

1767年2月27日 04:00|パラグアイ/スペイン/ポルトガル| |||パラグアイのイエズス会は追放され、旧州はスペイン(リオ・デ・ラ・プラタ/パラグアイ)とポルトガル(ブラジル)間で分割(発効17680823)

1767年2月28日-09:00|日本| ||明和4年春|<刊行>小幡宗左衛門、怪談集「新説百物語」

1767年2月28日-09:00|日本|東京都中央区|明和4年2月|<初演>歌舞伎「太平記忠臣講釈」市村座

1767年3月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Domingo Bernardi Gomez Rabelo」

1767年3月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官代理「Augustin Gabriel de Castillo」(~1768年)

1767年3月 00:00|イギリス| |||ウィリアム・ピットが病気のため引退し、ゲラトン公が名実ともに首相となる

1767年3月2日-09:00|日本| ||明和4年2月3日|<死去>木村探元(89歳)画家

1767年3月4日-05:30|インド| |||マラーター王国宰相マダーウ・ラーオはマイソール王国マドゥカリを攻略

1767年3月5日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「シラダル・メフメド・パシャ」(1回目~17701209)

1767年3月14日-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハーン「アルスラン・ギレイ」(2期目~1767. 6死去)

1767年3月26日-09:00|日本| ||明和4年2月27日|<死去>初代鳥羽屋三右衛門(56歳)長唄・浄瑠璃三味線方

1767年3月27日-05:30|インド| |||<就任>インド 英国摂政「アハリア・ハイ・カル3世」(~17950813没)

1767年3月28日-07:00|タイ| |||タイのアユタヤがビルマ軍の侵入を受け、廃墟となる/アユタヤ朝が滅亡

1767年3月31日-04:00|レニオン/フランス| |||<就任>ブルボン島知事「Martin Adrien Bellier」(~11. 4)

1767年4月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Silahdar Hamza Pasha」(~1768年)

1767年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マッジョーニ」「フィリッポ・ファツィーニ」

1767年4月1日 04:00|フォークランド/フランス/スペイン| |||スペイン、東フォークランド島のフランス植民地(ポルト・ルイ)を購入/東フォークランド島の領有権を確定、ルタート島と名づける

1767年4月2日 04:00|フォークランド/スペイン| |||<就任>スペイン領フォークランド 諸島総督「Felipe Ruiz Puente」(~17730123)

1767年4月7日-07:00|タイ/ミャンマー| |||ビルマ軍の攻撃によりタイのアユタヤ朝が滅亡

1767年4月13日-09:00|日本|東京都江東区|明和4年3月15日|<大相撲>明和4年3月場所[江戸深川八幡宮](~8日間)優勝(東関脇)岩見形, 7勝1敗

1767年4月16日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|明和4年3月18日|<死去>大和高取藩20500石「植村家道」(38歳)

1770迄 (1648件)

⇒長男「植村家久」が継ぐ(⇒安永7(1778)年12月2日、死去)
1767年4月17日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金致仁」(~17681211)
1767年4月27日-09:00|日本|沖縄県|明和4年3月29日|<死去>殷元良(50歳)琉球の宮廷画家
1767年5月4日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ総督「商工会議所上院/マヌエル・ゴンサルベス・デ・カルヴァーリョ/ジ・ジョアン・フレイレ・デ・アントニオ・ラ・テ」(~17691213)
1767年5月6日-09:00|日本|広島県広島市|明和4年4月9日|広島小町出火、国泰寺白神あたり全焼、袋町・草屋町類焼、社1、寺5、侍屋敷6軒、町家134軒(304竈)焼失
1767年5月13日-01:00|オーストリア| |||<初演>ゲオルク・アンゲル・アマデウス・モーツァルト《歌劇「アホロとヒュキントウス」》
1767年5月21日-09:00|日本|山形県米沢市|明和4年4月24日|<交替>出羽米沢藩15万石「上杉重定」隠居⇒養子「上杉治憲(鷹山)」が継ぐ(⇒天明5(1785)年2月7日、隠居)
1767年5月22日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Miguel Fernandez de Saavedra」(~1772年死去)
1767年5月31日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|明和4年5月4日|<死去>森長記(81歳)前播磨三日月藩主
1767年6月-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア汗国ハン「アルスラン・ギレイ」
1767年6月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン代理「Devlet 4世 Geray」(1期目)
1767年6月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン「マクスト・ギレイ」(1期目~17681019)
1767年6月8日-09:00|日本| |||明和4年5月12日|幕府が、調度類の銀使用を禁じる
1767年6月11日-09:00|日本|栃木県さくら市|明和4年5月15日|<死去>喜連川茂氏(68歳)前下野喜連川藩主
1767年6月29日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリス議会が13植民地にタウンシップ諸条令を制定、関税徴収を強化
1767年6月29日-09:00|日本|秋田県秋田市|明和4年6月4日|<出羽久保田明和4年の大火>夜の九つ時(午前0時ごろ)過ぎ、茶町菊ノ丁から出火、茶町三丁目、大町三丁目から四丁目、通町は全焼/大工町、足軽町は半分余焼失、八日町、田中町、米町、肴町、柳町と川端一丁目から三丁目までは半分ほど焼失/翌日五つ(午前8時ごろ)過ぎに鎮火、家中の足軽の家100軒、町家1862軒、寺院13か所、土蔵84棟、穴蔵5か所が焼失。19人死亡/一乗院、大八幡社も焼失
1767年7月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ暫定総督「ホセ・ガブリエル」⇒「マヌエル・デ・アグレイラ」(~1768年)
1767年7月2日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリス議会、ニューヨーク植民地議会停止法制定
1767年7月2日 08:00|ビトケアン諸島/イギリス| |||フィリップ・カートレット大尉によって発見され、ビトケアン島と名付けられた
1767年7月5日 00:00|イギリス| |||<死去>8代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」
1767年7月5日 00:00|イギリス| |||<就任>9代マリ伯「フアン・ステュアート」先代の息子(~18100828死去)
1767年7月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュヴァルツブルク＝ルドルフシュタット侯「John Frederick」
1767年7月10日-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク＝ルドルフシュタット侯「ルートヴィヒ・ギンター4世」(~17900829死去)
1767年7月11日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<死去>オランダ領ゴールドコースト総裁「ヤン・ピーター・テオドル・ル・ハイデ・コパー」
1767年7月11日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁代行「ウィレム・シュルヤート・ファン・リフダール・コーネリス・クロック」(~8.27)
1767年7月11日 16:00|ギリシャ| |||ギリシャ、ケファロニアで地震(M7.2)死者253人
1767年7月14日-04:00|モリスヤス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督「ジャン・ダニエル・デュマ」(~17681127)
1767年7月17日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領ネグロス総督・総司令官・大審問院長「ホセ・デ・イグナシオ・ビレヤ・コメス」(~17781129)
1767年7月24日 10:00|ボリネア/イギリス| |||ヒッチをイギリスのサミュエル・ウォリス大尉が訪れ、ジョージ王の島と名付けた
1767年7月24日-09:00|日本| |||明和4年6月29日|足に宿疾がある者に対し、夏期足袋をはく事を許可。重臣にはすでに許可あり。番士への適用は最初
1767年7月26日-09:00|日本|群馬県安中市|明和4年7月1日|<加増>上野安中藩2万石「板倉勝清」+1万石⇒3万石(⇒安永9(1780)年5月28日、死去)
1767年7月26日-09:00|日本|静岡県牧之原市|明和4年7月1日|<加増>遠江相良藩15000石「田沼意次」⇒2万石(⇒明和6(1769)年8月18日、25000石に加増)
1767年7月26日-09:00|日本|東京都千代田区|明和4年7月1日|<就任>老中「板倉勝清」(~安永9年6月28日)
1767年8月4日-09:00|日本|愛知県|明和4年7月10日|<明和4年尾張「明和の洪水」>大雨で西三河の矢作川では渡村、下矢作片町、大門、日名、青木、細川、仁木など数百か所で堤防が決壊し、挙母と、岡崎城下付近まで浸水、下流の伏見屋、平七新田も氾濫、幕府領など7万5000石余のうち6万2000石と流域の田の8割余りに冠水/土砂災害も多数発生しておびただしい犠牲者が出た
1767年8月6日 11:00|日本|愛知県|明和4年7月12日|<明和4年尾張「明和の洪水」>夜、庄内川は右岸の比良、大野木、土器野、松原などで決壊し、味鋤、如意など一帯が泥海化した/矢田川左岸の猪子石で堤防が決壊、名古屋城西門・巾下門の前あたりまで水が押し寄せ、城下の北東部から西部にかけての低地がすべて浸水、名古屋城西側の道路では水深1.5m余となったので、数日間は舟で往来せざるを得なかった/名古屋南部では天白川も破堤し、鳴海周辺が大洪水となり、家屋の多くに浸水被害が出た/東海道の水深も約1.8mになり尾張藩では舟を出して救助に努め、避難小屋を建て被災民の救助に当たった/尾張藩内の被害合計、2154人死亡、家屋流失1516軒、田畑砂入損壊26平方km、同損害9万313石、堤防決壊348か所延べ20km
1767年8月13日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|明和4年7月19日|<死去>酒井忠告(79歳)前上野伊勢崎藩主
1767年8月16日-12:00|ウォリス・フツナ/イギリス| |||ウヰアはイギリスのサミュエル・ウォリス大尉によって発見され、ウォリス島と名付けられた
1767年8月25日 00:00|イギリス/インド| |||ハイドール・アリーが英軍と第1次マイソール戦争を開始
1767年8月27日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「ピーター・ワートマン」(1769年まで総督~17800414在任中死去)
1767年8月27日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和4年8月4日|<初演>近松半二、三好松洛、竹田文吉、竹田小出雲、八

1770迄 (1648件)

民平七、竹本三郎兵衛、人形浄瑠璃「関取千両幟」竹本座
1767年9月6日-09:00|日本|大分県杵築市|明和4年8月14日|<交替>豊後杵築藩32000石「松平親盈」隠居⇒長男「松平親貞」が継ぐ(⇒天明5(1785)年5月23日、隠居)
1767年9月10日-09:00|日本|愛知県刈谷市|明和4年8月18日|<交替>三河刈谷藩23000石「土井利信」隠居⇒養子「土井利徳」が継ぐ(⇒天明7(1787)年12月16日、隠居)
1767年9月12日-09:00|日本|長野県須坂市|明和4年8月20日|<死去>堀直英(68歳)前信濃須坂藩主
1767年9月13日-09:00|日本|山形県|明和4年8月21日|<交替>上野小幡藩2万石「織田信邦」明和事件に連座蟄居隠居⇒弟「織田信浮」が継ぎ陸奥国信夫郡・出羽置賜郡・出羽村山郡内2万石へ移封(⇒翌年11月15日出羽置賜郡高島村に陣屋を構え出羽国高島藩2万石立藩)
1767年9月14日-09:00|日本| ||明和4年8月22日|幕府が、尊王論者山県大弼を死罪に処し、宝暦事件の竹内式部を八丈島に流罪とする(明和事件)
1767年9月17日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ヨーク・オールバニ公・初代アルスター伯「エドワード・オーガスタス王子」
1767年9月23日-09:00|日本| ||明和4年9月|<刊行>大田南畝「寝惚先生文集」初編
1767年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ジャンバティスト・エンゼル」
1767年10月2日-09:00|日本|大阪府和泉市|明和4年9月10日|<交替>和泉国伯太藩13500石「渡辺登綱」隠居⇒次男「渡辺信綱」が継ぐ(⇒明和9(1772)年正月22日、死去)
1767年10月14日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「タウンゼント子爵ジョージ・タウンゼント」(~17721130)
1767年10月16日-09:00|日本|熊本県熊本市|明和4年9月24日|<死去>熊本新田藩35000石「細川利寛」(52歳)⇒三男「細川利致」が継ぐ(⇒天明元(1781)年5月25日、死去)
1767年10月17日-01:00|モンテネグロ| ||<就任>モンテネグロ司教公「シュチェパン・マリ」(~17730922死去)
1767年10月17日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|明和4年9月25日|<交替>上総大多喜藩2万石「松平正温」隠居⇒長男「松平正升」が継ぐ(⇒享和3(1803)年5月23日、隠居)
1767年10月19日-02:00|ラトヴィア/ポーランド| ||<就任>ポーランド・リウオニア総督代行「オットー・フォン・ザイベルク」(1回目~11.3)
1767年10月27日 00:00|イギリス| ||<死去>3代タンカーヴィル伯「チャールズ・ベネット」
1767年10月27日 00:00|イギリス| ||<就任>4代タンカーヴィル伯「チャールズ・ベネット」(~18221210死去)
1767年11月2日-05:30|イット| ||<就任>ナワガル国統治者(ジャム・サハブ)「ジャザ・ラクハジ」(~18140806没)、摂政「メル・カス」(2回目~1800年)
1767年11月3日-02:00|ラトヴィア/ポーランド| ||<就任>ポーランド・リウオニア総督「スタニス・ウ・アウブルグ・ストフスキ」(~17690408没)
1767年11月4日-04:00|リュネオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Guillaume Leonard de Bellecombe」(~17731004)
1767年11月6日-07:00|タイ| ||タイのタクシンがトンブリ朝を占領(即位)シャム国トンブリ王朝国王タクシン(鄭信/鄭昭)(~6 April 1782)
1767年11月6日-09:00|日本|埼玉県川越市|明和4年閏9月15日|<藩庁移転>上野国前橋藩15万石「松平朝矩」廃藩⇒武蔵国川越藩15万石(⇒翌年6月10日(17680723)、死去)
1767年11月6日-09:00|日本|山形県山形市|明和4年閏9月15日|<移封>武蔵川越藩6万石「秋元凉朝」⇒出羽山形藩6万石(⇒明和5(1768)年5月24日、隠居)
1767年11月7日-09:00|日本|島根県浜田市|明和4年閏9月16日|<死去>石見浜田藩5万石「本多忠盈」(36歳)⇒養子「本多忠肅」が継ぐ(⇒明和6(1769)年11月18日、三河岡崎藩に移封)
1767年11月17日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「アザンブジャ伯爵アントニオ・ロドリグ・モウラ・タレス」(~17691104)
1767年11月17日-09:00|日本|島根県安来市|明和4年閏9月26日|<交替>出雲母里藩1万石「松平直道」隠居⇒弟「松平直行」が継ぐ(⇒寛政4(1792)年10月27日、隠居)
1767年11月19日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|明和4年閏9月28日|<移封>上野上里見藩2万石「松平忠恒」⇒上野小幡藩2万石(⇒翌年11月8日、死去)
1767年12月1日 00:00|イギリス| ||<死去>10代バカン伯「ヘンリー・デヴィッド・アースキン」
1767年12月1日 00:00|イギリス| ||<就任>11代バカン伯「デヴィッド・スチュアート・アースキン」(~18290419死去)
1767年12月1日-09:00|日本|埼玉県久喜市|明和4年10月11日|<交替>武蔵久喜藩11000石「米津政崇」隠居⇒長男「米津通政」が継ぐ(⇒寛政10(1798)年7月6日、長瀬藩11000石へ移封)
1767年12月1日-09:00|日本|東京都江東区|明和4年10月11日|<大相撲>明和4年10月場所[江戸深川八幡宮](~9日間)優勝(東小结)出水川、7勝0敗1分1休
1767年12月2日-09:00|日本| ||明和4年10月12日|幕府が間引禁止令を出す
1767年12月4日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|明和4年10月14日|<死去>近江水口藩25000石「加藤明熙」(47歳)⇒養子「加藤明堯」が継ぐ(⇒安永7(1778)年5月6日、隠居)
1767年12月5日-09:00|日本|京都府京丹後市|明和4年10月15日|<死去>丹波園部藩24000石「小出英持」(62歳)⇒12月7日、次男「小出英常」が継ぐ(⇒安永4(1775)年9月29日、33歳で死去)
1767年12月9日 00:00|ポルトガル| ||<就任>マテウス総督「Joao Antonio de Sa Pereira」(~17770616)
1767年12月10日 00:00|イギリス| ||<死去>10代ロズ伯「ジョン・レスリー」
1767年12月10日 00:00|イギリス| ||<就任>11代ロズ伯「ジョン・レスリー」先代の息子(~17730618死去)
1767年12月11日-09:00|日本|大阪府和泉市|明和4年10月21日|<死去>渡辺登綱(74歳)前和泉伯太藩主
1767年12月25日-09:00|日本| ||明和4年11月5日|相川町に竹槍などをもちた農民たちが集まり、佐渡明和一揆が起こる
1767年12月26日-09:00|日本| ||明和4年11月6日|<死去>荒木蘭皐(51歳)漢詩人
1767年12月28日-07:00|タイ| ||<即位>トンブリ王朝国王「タクシン(鄭信/鄭昭)」(~17820406)

1770迄 (1648件)

1767年12月30日 06:00|アメリカ| |||マサチューセッツ議会が開会
1768年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「アントニオ・ホセ・テレス・デ・メネセス」(~1776年)
1768年-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王朝「ホー・マユグワン」(~1771年)
1768年-07:00|ラオス| |||<即位>ルアンパバーン王「スリヤホン2世」(~1788年)
1768年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「トナム・ルトン・ウプ」(~1773年没)
1768年-05:30|インド| |||<就任>オムカ国ラジャ「マン・シン」(~1775年)
1768年-05:30|インド| |||<就任>ジャウハル国ラジャ「ハタンシャ-2世」(~1798年没)
1768年-05:30|インド| |||<就任>チュタ国統治者(タークール)「ガジ・シンジ・ライシンジ」(~1780年没)
1768年-05:30|インド| |||<就任>ハランプル国統治者(デイワン)「サリム・カーン」(~1781年没)
1768年-05:30|インド| |||<就任>ラサナ国統治者(タークール)「クマジンジ・バーラツインジ」(~1802年没)
1768年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>ヒヴァ・ハン国ハン「Shah Ghazi Khan」
1768年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第39代ハン「アフル・ガースィ-3世」イルバリス1世の子孫(~1769年)
1768年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>サルヤン汗国ハン「クハート・スルタン」(~1782年)
1768年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャマク汗国ハン「ファト・アリー・ハン」再建(1回目~1774年)
1768年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメレティ王「ソモン1世」(2回目~17840504)
1768年-04:00|UAE| |||<即位>ウム・アル・カイワイン首長「Sheikh Rashid bin Majid Al Mualla」(~1820年退位)
1768年-04:00|アゼルバイジャン| |||カバ汗国ハンが他のアゼルバイハン国(バクー、シャマハ、デルベント、サリヤン、ジャワド、シェキ、タリシュ)のほとんどもを支配(~1789年)
1768年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムテッサリフ「フユク・スレイマン・パシャ」(1回目~1778年)
1768年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブンヤ統治者(オムカマ)「ムチャブレ2世」(~1791年)
1768年-03:00|エチオピア| |||<即位>カファ帝国カフィ・アティオ「アベチ・ヒナチョ」(~1776年)
1768年-03:00|スーダン| |||<即位>フジ・スルタン国スルタン「イスマイル・イブン・バーデ4世」(~1776年没)
1768年-03:00|マダガスカル/フランス| |||フランスのドーファン岩(トラナロ)再定住の試み(~1771年)
1768年-02:00|エジプト/トルコ| |||<交替>オスマン帝国領エジプト総督「ラクム・マフメド・パシャ」アリ・ベイ・アル=カヒールによって退位させられた⇒代行「アリ・ベイ・アル=カヒール」就任(⇒1769年、スルタン~17730413、死去)
1768年-02:00|エジプト| |||アリ・ベイがエジプト総督を解任し、権力を強化
1768年-01:00|フランス| |||<死去>スガエル公「Philip Julius Francis Mancini」
1768年-01:00|ニジェール| |||<就任>アイル国統治者(アメリカル)「ムハンマド・アル=アデイル・イブン・ムハンマド・ファマト」(~1810年)
1768年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Pedro de Alcantara Fernandez de Cordoba-Figueroa y de Montcada」(~1789年)
1768年-01:00|ドイツ| |||<就任>イーゼンブルク=ビューディングン伯「ルートヴィヒ・カジミール」(~1775年)
1768年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのウリス「メフメド・パシャ・ブシャティ」(~1774年死去)
1768年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ウリス「ハチ・ハサン・パシャ」(2度目~1769年)
1768年-01:00|フランス| |||<即位>スガエル公「Louis-Jules Mancini」(~17980225死去)
1768年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルヴィツァ大公「イワン・イエロンチッチ」(~1771年)
1768年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルヴィツァ大公「イワン・イエロンチッチ」(~1771年)
1768年-01:00|ポーランド| |||ポーランドでこの年農奴に対する「生死権」が廃止
1768年 00:00|イギリス| |||エンサイクロペディア・ブリタニカの初版が発刊される
1768年 04:00|アンギラ/イギリス| |||<死去>イギリス領アンギラ副総督「ヘンジヤミン・Gumbs2世」
1768年 04:00|アンティグア・ババーダ| |||<就任>アンティグア大統領「エドワード・オットー・ヘイヤー」
1768年 04:00|アンギラ/イギリス| |||<就任>イギリス領アンギラ副総督「ヘンジヤミン・ロバーツ」(~1771年)
1768年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「William Spry」(~17720904在任中死去)
1768年 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Robert」(~1777. 5)
1768年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王代理「Isnard」(~1770年)
1768年 04:00|マルティニーク/フランス| |||マルティニークはフランス領アンティルの一部(~1783年)
1768年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ニコラス・デ・カストロ」(1回目~1769年)
1768年 06:00|カタラ/イギリス| |||<就任>イギリス領ヘック植民地総督「ガイ・カールトン」(~1778年)
1768年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルイジアナ植民地総督「ジャル・フィリップ・オーブリー」(~1769年)
1768年-04:00|ロシア| |||ベーリング島のスーラカイェウが絶滅
1768年1月8日-09:00|日本|高知県高知市|明和4年11月19日|<死去>土佐藩20万2600石「山内豊敷」(56歳)⇒次男「山内豊雍」が継ぐ(~寛政元(1789)年8月24日、死去)
1768年1月8日-09:00|日本|滋賀県大津市|明和4年11月19日|幕府、大津代官を創置
1768年1月8日-09:00|日本|東京都三宅村|明和4年11月19日|<死去>神道家・尊王論者の竹内式部が八丈島流刑の途中、三宅島で病没(56)
1768年1月11日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド=コースト総督「フランツ・ヨアヒム・ケーベルグ」(~17690702)
1768年1月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「ヨハン9世フィリップ」
1768年1月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「クレムス・ヴェンツェル」(~1801年)
1768年1月16日-09:00|日本|島根県松江市|明和4年11月27日|<交替>出雲松江藩18万6千石「松平宗衍」隠居⇒次男「松平治郷」が継ぐ(⇒文化3年3月11日(18060429)、隠居)
1768年1月17日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督代行「ジュアン・デ・バルセタ・イ・チェンサーノ・ベルトラ」(~17700303)
1768年1月18日-05:30|インド| |||<就任>ケワル国統治者(スベタル)「マダブラオ1世シンディア」(~17940212没)

1770迄(1648件)

1768年1月25日-09:00|日本| ||明和4年12月6日|<死去>京極宮家仁親王(64歳)皇族
1768年2月11日 04:00|フォークランド/イギリス| ||<就任>イギリス領西フォークランド 海軍担当官「Anthony Hunt大佐」(~17700307)
1768年2月11日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「ウィリアム・Spry」(~17720902死去)
1768年2月16日 00:00|アイルランド| ||アイルランドで8年議会法が制定
1768年2月18日-09:00|日本|長野県須坂市|明和5年|<交替>信濃須坂藩10053石「堀直寛」隠居⇒長男「堀直堅」が継ぐ(⇒安永8年10月26日(17791203)死去)
1768年2月18日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・景興29年|<即位>パントラング王「Po Tisuntiraydapaghoh(Nguyen Van Tich)」(~1780年)
1768年2月18日-09:00|日本| ||明和5年1月|平賀源内が、本邦初の寒暖計である寒熱昇降器をつくる
1768年2月22日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア大元帥(首相)「ジュザフ・パウラス・サングシュカ」(3.7まで代行~17810512没)
1768年2月23日-05:30|インド/イギリス| ||ニザーム王国はイギリスと新たな友好条約を結ばされる
1768年2月29日-01:00|ポーランド| ||ポーランドの旧教徒の貴族が自由と信仰を守るための「バル同盟」を結成
1768年3月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンドリス(総督)「Yaglikcizade Emin Mehmed Pasha」(~7月)
1768年3月8日 04:00|ドミニカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領ドミニカ総督「ウィリアム・ヤング」(~1773年)
1768年3月10日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和5年1月22日|大坂で富商らの出願した教質奥印差配所の設置に反対する町人たちが、出願人宅などを打ちこわす
1768年3月12日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督「ジョアン・ペドロ・メロ」(~17740113)
1768年3月16日-09:00|日本|愛知県犬山市|明和5年1月28日|<交替>尾張犬山藩35000石(尾張藩附家老)「成瀬正泰」隠居⇒次男「成瀬正典」が継ぐ(⇒文化6(1809)年7月29日、隠居)
1768年3月19日-09:00|日本| ||明和5年2月|「西山物語」建部綾足、著
1768年3月19日-09:00|日本|長野県木曽郡|明和5年2月1日|信濃国木曽で農民騒擾が起こる
1768年3月20日 09:00|日本|長崎県長崎市|明和5年2月2日|夜、長崎南馬町より出火。出来大工町、大井手町、今博多町に延焼。町使、散使長屋その他339戸と青光寺を焼失
1768年3月22日-01:00|イタリヤ| ||サン・カルロ号難破し600人の犠牲者
1768年3月27日-02:00|ルーマニア| ||<就任>トランシルヴァニア総督「カール・クラウゼ・イウス・グラーフ・フォン・オドネル」(政府大統領~17700928)
1768年3月29日-09:00|日本|東京都|明和5年2月11日|<死去>奥村政信/浮世絵師
1768年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ゴジ」/「フランチェスコ・カサリ」
1768年4月1日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Miguel Lopez y Fernandez de Heredia」(~1774年)
1768年4月1日-09:00|日本| ||明和5年2月14日|幕府が全国の人口を調査
1768年4月2日 10:00|ポルトガリア/フランス| ||フランスのルイ・アントワヌ・ド・ブーゲンビル大尉が訪れたタヒチは、ヌーヴェル・シテ・ア(ニュー・シテ)と名を持つ
1768年4月10日 04:00|アンティグア・バグーダ/イギリス| ||<就任>リワード・カリビアン諸島総司令官・総督「ウィリアム・ウットリー」(1回目~1770年)
1768年4月17日-09:00|日本|愛媛県松山市|明和5年3月|松山藩、和気郡祝谷村に東照宮本宮完成(現松山神社)
1768年4月17日-09:00|日本| ||明和5年3月|<刊行>「平安人物志」/京都に遊学する者のため
1768年5月 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ウィリアム・ブル2世」(~10.30)
1768年5月1日-01:00|オーストリア| ||<初演>ゲオルク・アンゲル・モーツァルト《歌劇「見てくれのばか娘」》
1768年5月4日-09:00|日本|奈良県奈良市|明和5年3月18日|<死去>柳生俊平(70歳)前大和柳生藩主
1768年5月5日 11:00|米領サマタ/フランス| ||フランスのルイ・アントワヌ・ド・ブーゲンビル大尉がサマタを再訪し、レ・ゲーター諸島と名付けた
1768年5月9日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和5年3月23日|<大坂明和5年の大火「堂島火事」>正九つ時(午前12時ごろ)、堂島さくら橋北詰東浜の茶屋の二階より出火、次々に延焼、北新地二丁目と一丁目は瞬く間に焼失/夕方前になり堂島へ炎が移り、大江橋より渡辺橋までの町並みはすべて灰となり、翌早朝の寅の刻(午前4時ごろ)鎮火/焼失家屋はかまど数でおおよそ6500軒、13人死亡
1768年5月11日-09:00|日本|福井県福井市|明和5年3月25日|<明和蕨虫騒動>福井藩領の農民、御用金賦課に反対し福井城下に乱入
1768年5月12日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|明和5年3月26日|<死去>下総多古藩12000石「松平勝尹」(56歳)⇒長男「松平勝全」が継ぐ(⇒寛政6(1794)年10月6日、隠居)
1768年5月12日-09:00|日本|新潟県上越市|明和5年3月26日|直江津今町の下層町民ら、高田藩の新規運上取立てに反対し、騒動を起こす
1768年5月15日-01:00|イタリヤ| ||ジェノヴァ、ヴェルサイユ条約によりコルシカをフランスに移譲
1768年5月15日-01:00|フランス| ||フランスがコルシカ島をジェノヴァから買収
1768年5月16日-05:30|インド| ||<死去>キヤンガル国マハラジャ「サルタール・シン」
1768年5月16日-09:00|日本| ||明和5年4月|<刊行>上田秋成「雨月物語」
1768年5月16日-09:00|日本|香川県丸亀市|明和5年4月|与謝蕪村、丸亀の妙法寺に滞在し蘇鉄の襖絵を描く
1768年5月17日-09:00|日本|新潟県佐渡市|明和5年4月2日|幕府、佐渡においた代官を廃止し、佐渡奉行の全島支配を回復
1768年5月20日-09:00|日本|J. フロントリイリッパ|明和5年4月5日|いとう呉服店が上野広小路の松坂屋を買収、「いとう

1770迄(1648件)

松坂屋」として開業

- 1768年5月23日-11:00|バヌアツ/フランス| |||フランスのルイ・アントワント・ブーゲンビルによって再発見され、アルペル・レ・グラン・キラデスと名付けられた名付けられた
- 1768年5月25日 00:00|イギリス| |||クックがエンデバー号による太平洋探検航海を下命される
- 1768年5月28日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|明和5年4月13日|<交替>鳥取西館新田藩2万石「池田定就」隠居⇒長男「池田定得」が継ぐ(⇒安永2(1773)年7月9日、病死)
- 1768年5月29日-09:00|日本|島根県安来市|明和5年4月14日|<死去>松平直員(74歳)前出雲母里藩主
- 1768年6月5日-09:00|日本|新潟県柏崎市|明和5年4月21日|<死去>越後椎谷藩1万石「堀直著」(41歳)⇒長男「堀直宣」が継ぐ(⇒天明元年8月10日(17810927)、死去)
- 1768年6月7日-09:00|日本|岐阜県大垣市|明和5年4月23日|<死去>美濃大垣藩10万石「戸田氏英」(40歳)⇒養子「戸田氏教」が継ぐ(⇒文化3(1806)年4月26日、死去)
- 1768年6月9日-10:00|グアム/北マリア諸島/スペイン| |||<就任>マリア諸島知事「Enrique de Olavide y Michelena」(2期目~17710915)
- 1768年6月10日 06:00|アメリカ/イギリス| |||ボストンでリパティエ号暴動発生
- 1768年6月12日-09:00|日本| |||明和5年4月28日|幕府が真鍮銭[四文銭]を新鑄
- 1768年6月18日-09:00|日本|東京都|明和5年5月4日|<死去>2代坂東彦三郎(28歳)歌舞伎役者
- 1768年7月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリス(総督)「Halebli Recep Pasha」(~1769.5)
- 1768年7月2日-10:00|パプアニューギニア/フランス| |||フランス国王のフリゲート艦ラ・ブーテューズ号でフランス軍司令官ルイ・アントワント・ブーゲンビルによってブーゲンビル島が目撃され後にその名が付けられた
- 1768年7月6日-09:00|日本|愛媛県大洲市|明和5年5月22日|<死去>伊予大洲藩5万石「加藤泰武」脚気のため(24歳)⇒養子「加藤泰行」が継ぐ(⇒翌年5月8日、17歳で死去)
- 1768年7月8日-07:00|タイ| |||<即位>ナン王国第3代国主「ナナイイ」ピルマの指命(~1769年2月)
- 1768年7月8日-09:00|日本|山形県山形市|明和5年5月24日|<交替>出羽山形藩6万石「秋元涼朝」隠居⇒甥「秋元永朝」が継ぐ(⇒文化7(1810)年7月9日、死去)
- 1768年7月11日-09:00|日本|岡山県高梁市|明和5年5月27日|<死去>備中松山藩5万石「板倉勝武」⇒弟「板倉勝從」が継ぐ(⇒安永7(1778)年2月9日、29歳で死去)
- 1768年7月13日-07:00|タイ| |||<即位>ナン王国第4代国主「ナンマノ」ピルマの指命(~17750215)
- 1768年7月14日-09:00|日本| |||明和5年6月1日|<死去>矢田部通寿(72歳)装剣金工
- 1768年7月14日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和5年6月1日|<初演>近松半二、八民平七ほか、人形浄瑠璃「傾城阿波鳴門」大坂竹本座
- 1768年7月17日-09:00|日本| |||明和5年6月4日|<死去>河村殷根(20歳)国学者、歌人
- 1768年7月23日-09:00|日本|埼玉県川越市|明和5年6月10日|<死去>武蔵国川越藩15万石「松平朝矩」(31歳)⇒次男「松平直恒」が継ぐ(⇒文化7(1810)年1月18日、死去)
- 1768年8月 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督・最高司令官代行「ユリウス・フィッツモリス」(1回目~17700405)
- 1768年8月1日-09:00|日本|長崎県長崎市|明和5年6月19日|幕府が長崎に輸入品と国産品をとともに扱う竜脳座を設置
- 1768年8月7日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「シラフタル・ハムザ・マヒル・パシャ」(~10.20)
- 1768年8月13日-09:00|日本|大分県臼杵市|明和5年7月2日|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉泰通」(39歳)⇒次男「稲葉副通」が継ぐ(⇒翌年6月、16歳で死去)
- 1768年8月18日-05:30|インド| |||<就任>ハダ国統治者(セ・カス・ケル)「コヴァント・ラオ・ケークワル」(1回目~1769年)
- 1768年8月25日 00:00|イギリス| |||<就任>初代キングストン伯「エドワード・キング」(~17971108死去)
- 1768年8月27日-05:30|インド| |||<死去>パトプトル国ハラジャ「シヤワヒル・シン」
- 1768年8月28日-05:30|インド| |||<即位>パトプトル国ハラジャ「ラタン・シン」(~17690411没)、摂政「タン・シャヒ」(~17690411)
- 1768年9月-05:45|ネパール| |||ゴルカ王プリトビ・ナヤン・シャー、カマンズを征服/カマンズの王、ジャヤ・プラカシュ・マッラはパタンに逃亡
- 1768年9月1日-01:00|サマリナ| |||<就任>サマリナ共和国執政「コスタンティーノ・ボネリ」ジヨヴァンニ・アントニオ・マルペリ
- 1768年9月9日-09:00|日本|大分県速見郡日出町|明和5年7月29日|<死去>豊後日出藩25000石「木下俊泰」(43歳)⇒9月21日、養子「木下俊胤」が継ぐ(⇒安永5(1776)年5月20日、死去)
- 1768年9月11日-04:00|ロシア/中国| |||清・乾隆33年8月|清がキヤフタにおけるロシアとの交易を再開
- 1768年9月25日-05:45|ネパール| |||<即位>ネパール国王「プリトビ・ナヤン・シャー」ネパールを統一(~17750111没)
- 1768年9月25日-04:00|ロシア/トルコ| |||ロシア暦9月14日|第1次ロシア・トルコ戦争が始まる
- 1768年9月30日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントアゴ総督「ウィリアム・トレローニ卿」(~17721211没)
- 1768年10月-05:45|ネパール| |||ゴルカ王プリトビ・ナヤン・シャー、パタンを征服
- 1768年10月5日-09:00|日本|岡山県浅口市|明和5年8月25日|<死去>岡山新田藩25000石「池田政香」(28歳)⇒弟「池田政直」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年8月26日、隠居)
- 1768年10月9日-01:00|フランス| |||<ボルゴの戦い>(8日~)地中海のコルシカ島(仏)の戦いで、パステア南郊でコルシカ軍がフランス軍を駆逐
- 1768年10月10日 04:00|アルバ/オランダ| |||<死去>アルバ島司令官「Jan van der Biest1世」
- 1768年10月10日 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ島司令官代理「Gilles Poppe」(~1772年)
- 1768年10月12日 00:00|イギリス| |||<死去>14代モートン伯「ジェームズ・ダグラス」
- 1768年10月12日 00:00|イギリス| |||<就任>15代モートン伯「ショルト・チャールズ・ダグラス」(~17740925死去)
- 1768年10月14日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン王国第11代首相(第3代グラフトン公爵)オーガスタス・フィッツロイ「ホイッグ」

1770迄 (1648件)

党] (~17700128)

1768年10月17日-04:00|アゼルバイジャン| |||<死去>バクー汗国ハン「ハジ・ミルザ・ムハンマド・ハン1世」
1768年10月17日-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>バクー汗国ハン「ファト・アリー・ハン」 (~1772年)
1768年10月17日-01:00|トイ| |||<死去>ヘッセン＝ダルムシュタット方伯「ルトヴィヒ8世」
1768年10月17日-01:00|トイ| |||<就任>ヘッセン＝ダルムシュタット方伯「ルトヴィヒ9世」ルトヴィヒ8世の息子 (~17900406死去)
1768年10月19日-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミアハン国ハン「クルム・ギレイ」 (2期目 ~1769.3死去)
1768年10月20日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ヤルチュサデ・メフメド・エミン・パシャ」 (~17690812)
1768年10月28日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「クリコール・アレクサンドル・ギカ」 (~17691205)
1768年10月28日-09:00|日本| ||明和5年9月18日|<死去>村田春郷 (30歳) 歌人
1768年10月29日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明和5年9月19日|<死去>三河吉田藩7万石「松平信復」腫れ物のため (50歳) =>11月16日、長男「松平信礼」が継ぐ (=>明和7年6月16日 (17700708)、死去)
1768年10月29日-09:00|日本|新潟県新潟市|明和5年9月19日|新潟で町民一揆 (新潟湊騒動)
1768年10月30日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「チャールズ・グレイヴ・モンタギュー」 (~17690731)
1768年10月30日-09:00|日本|広島県福山市|明和5年9月20日|松山藩福山城下で打ち壊しが起こる
1768年11月1日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督「フレック男爵クリスティアン・レブ・レヒト」 (~17691219)
1768年11月5日-09:00|日本|新潟県新潟市|明和5年9月26日|<新潟明和騒動>夜12時頃、越後国新潟町民は早鐘を合図に一斉蜂起し、町役人宅や八木屋市兵衛宅、米屋などを打ち壊した/新潟町奉行側は鉄砲隊で攻撃したが町人側は薪を投げて応戦し町役人を敗走させた
1768年11月6日-09:00|日本|新潟県新潟市|明和5年9月27日|<新潟明和騒動>涌井は越後国新潟町奉行所打ち壊しに向かっていった町民等を説得、事態は沈静化/涌井らが藩に代わって町政を掌握し約2ヶ月にわたる町民自治を行なった
1768年11月7日-09:00|日本|東京都墨田区|明和5年9月28日|<大相撲>明和5年9月場所[江戸本所回向院] (~8日間) 優勝 (西関脇) 関戸, 5勝0敗1無勝負2休
1768年11月9日-08:00|中国/台湾| ||清・乾隆33年10月|台湾で黄教が反乱を起こす (1769.6鎮圧)
1768年11月12日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ボネール司令官「Andreas Daal」 (~1780年)
1768年11月15日 06:00|アメリカ/イギリス| |||イギリス、ネイティヴ・アメリカ人とフォート・スタンウィクス条約締結
1768年11月17日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ニューカッスル＝アングレーズ＝ライン公・初代ニューカッスル＝アボーン＝タイン公・初代クレア侯「トマス・ペラム＝ホルズ」ニューカッスル＝アボーン＝タイン公爵位消滅
1768年11月17日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ニューカッスル＝アングレーズ＝ライン公「ヘンリー・ペラム＝クリントン」9代リカン伯 (~17940222死去)
1768年11月17日 00:00|イギリス| |||大地主でイギリス首相ニューカッスル没/75歳 (誕生:16930721) ホック 党
1768年11月19日-09:00|日本|愛媛県松山市|明和5年10月11日|松山城下大火、200軒余を焼く
1768年11月22日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ 領スリナム (オランダ 西インド 会社) 総督代行「ネッゲウ」 (2度目 =>17700308、総督 ~17790227)
1768年11月27日-04:00|モリシャス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督代行「ジャン・ギヨーム・ト・シュタイナウエル」 (~17690606)
1768年11月28日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督「トマス・シャーリー」 (~1774年10月)
1768年11月29日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事「Anne Joseph Hippolyte de Maures de Malartic」 (~17690227)
1768年12月3日 00:00|イギリス| |||イギリスの作家ロレンス・スタン没/55歳 (誕生:17131124) /「センチメンタル・ジャーニー」
1768年12月9日-09:00|日本| ||明和5年11月|<刊行>賀茂真淵「万葉考」巻6まで
1768年12月10日 00:00|イギリス| |||イギリス王立美術アカデミーが創立
1768年12月11日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「洪鳳漢」 (~17700205)
1768年12月11日-09:00|日本|東京都新宿区|明和5年11月3日|<大相撲>明和5年11月場所[江戸市ヶ谷八幡宮] (~8日間) 優勝 (西関脇?) 友綱 (雪見山) 6勝0敗1分1無勝負
1768年12月13日-09:00|日本| ||明和5年11月5日|<死去>豊竹筑前少掾 (69歳) 浄瑠璃太夫
1768年12月16日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|明和5年11月8日|<死去>上野小幡藩2万石「松平忠恒」 (49歳) =>長男「松平忠福」が継ぐ (=>寛政11 (1799) 年5月22日、死去)
1768年12月20日-09:00|日本|茨城県牛久市|明和5年11月12日|<死去>常陸牛久藩1万石「山口弘長」 (62歳) =>12月25日、養子「山口弘道」が継ぐ (=>天明3 (1783) 年9月12日、44歳で病死)
1768年12月23日-09:00|日本|愛知県碧南市|明和5年11月15日|<加増立藩>三河大浜藩13000石「水野忠友」 (=>安永6 (1777) 年4月21日、駿河沼津藩2万石へ加増移封)
1768年12月23日-09:00|日本|山形県東置賜郡高島町|明和5年11月15日|<陣屋移転>陸奥国信夫郡・出羽置賜郡・出羽村山郡内2万石「織田信浮」=>出羽国高島藩2万石 (=>文政元 (1818) 年11月19日、死去)
1768年12月24日-09:00|日本|広島県安芸高田市|明和5年11月16日|高田郡吉田町火事、焼失町家104軒 (竈数125)
1768年12月30日-09:00|日本|新潟県新潟市|明和5年11月22日|<新潟明和騒動>長岡藩へ出頭した涌井らは藩側の策略により捕らえられた
1769年-08:00|マレーシア/タイ| |||タムはタイの統治下 (~19090709)
1769年-07:00|タイ| |||<死去>ランナー王朝「オンカム」
1769年-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王朝「オンチャン」 (~1761年)
1769年-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「スニョファ・ラクシュミー・シン」 (~1780年)

1770迄 (1648件)

1769年-05:30|インド| |||<就任>ジャーン国統治者(オ)「ラグナート・ラオ1世」建国(〜1796年没)
1769年-05:30|インド| |||<就任>パロダ国統治者(セ・カス・ケル)「サジ・ラオ・イ・ゲ・ケル」(1回目〜1773年)、摂政「ファテ・シン・ラオ・ゲ・ケル」(1回目〜1773年)
1769年-05:30|インド| |||<就任>ラタル国統治者(タル・サーヒブ)「ライダンジ・アパラジ」(〜1798年)
1769年-05:30|インド| |||ベンガルで大飢饉、1000万人が餓死
1769年-05:00|ウスベキスタン/トルクメニスタン| |||<即位>ヒグ・ア・ハン国第40代ハン「ヌール・アリー」中ジユスのバラク・ハンの子(〜1769年)
⇒第41代ハン「ジャンギル・カイフ」の子(〜1770. 9)
1769年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャマ汗国摂政「アブト・アッラー・ベグ」(〜1770年)
1769年-04:00|ロシア| |||カバルダはロシアの宗主権下(1774年7月21日のキチュク・カイナリ条約によりオスマン帝国が承認)
1769年-03:00|スーダン| |||<死去>フジ・スルタン国スルタン「ナシル・イブン・バーデ」4世
1769年-03:00|エチオピア| |||エチオピアが小国分立時代に入る
1769年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「キョプ・リュリュ・ハフィズ・アフメト・パシャ」(〜同年)⇒「ケレチ・オスマン・パシャ」(〜1771年)
1769年-02:00|エジプト| |||アリー・ベイ軍が上エジプトのハワーラ部族の反乱を鎮圧
1769年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「カラ・ハリル・パシャ」(〜1770年)
1769年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ・プリンシペ総督「Lourenco Lobo de Almeida Garcez Palha」
1769年 00:00|フェロー諸島| |||<死去>フェロー諸島首席大臣「Hans Jacobsen Debes」
1769年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ総督「Chamber Senate」(〜1770. 11)
1769年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島首席大臣代理「Peder Samuelson Weyhe」(〜同年)⇒首席大臣「Thorkild Fjeldsted」(〜1772年)
1769年 00:00|イギリス| |||ワットが蒸気機関を改良し実用化に成功
1769年 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||<死去>サラムント新植民地ポルトガル総督「Pedro Jose Soares de Figueiredo Sacramento」
1769年 03:00|ウルグアイ/ポルトガル| |||<就任>サラムント新植民地ポルトガル総督「Francisco Antonio Cardoso de Meneses」(〜17750325)
1769年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・フータ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「アンブ・ロゾ・オ・デ・ベ・ナヒ・デ・ス・メ・イ・ナ・リニヤン・イトレス」(〜1777年)
1769年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/アンティグア・バーブーダ/イギリス| |||イギリス植民地セントクリストファー・ス・はアンティグアから直接統治(〜1782年2月)
1769年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領西フロリダ植民地総督「ジョン・エリオット」(〜同年)⇒代理「モンフォート・ブラウン」(〜同年)⇒「ライアス・ターンフォード」(〜1770年)
1769年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド植民地総督「ロバート・エテン」(〜1776年)
1769年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネチカット植民地総督「ジョン・サントランブル」(〜17761010)
1769年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケ・ア県暫定総督「ファン・アントニオ・ゴンザレス」(〜17700513)
1769年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルイジアナ植民地総督「アレハンドロ・オレイリー」(〜同年)
1769年1月5日 00:00|イギリス| |||<死去>2代トーマセット公「チャールズ・サックウィル」
1769年1月5日 00:00|イギリス| |||<就任>トーマセット公「ジョン・フレデリック・サックウィル」(〜17990719死去)
1769年1月14日-05:30|インド| |||<就任>シャープラ国統治者(タークル)「ラム・シン」(17740529没)
1769年1月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランテンブルク=ハノーヴァー辺境伯「フリードリヒ・クリスティアン」
1769年1月20日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク=ハノーヴァー辺境伯「クリスティアン・フリードリヒ・カール・アレクサンダー」(〜1791年称号返上、アンスタット侯領及びハノーヴァー侯領を終身年金と引き替えにプロシヤ王国に売却)
1769年2月-01:00|スロバキア/ハンガリー| |||シッパスがハンガリーに占領される
1769年2月2日-01:00|バチカン| |||<死去>第248代ローマ教皇「クレメンティス13世」[16930307生〜]享年75
1769年2月10日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミンス総督「ノヴァス伯爵ピエール・ジエモン」(〜17720115)
1769年2月16日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・バチスタ・ネロネ」(〜17710216)
1769年2月18日-09:00|日本|熊本県人吉市|明和6年1月12日|<死去>肥後人吉藩22165石「相良福将」(20歳)⇒養子「相良長寛」が継ぐ(⇒享和2(1802)年2月5日、隠居)
1769年2月27日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Francois Claude Amour du Chariol」(〜1771. 8)
1769年3月-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国ハン「クルム・ギレイ」
1769年3月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン代理「Mesud Geray Sultan」(〜1769. 4)
1769年3月4日-05:30|インド| |||<即位>ジャイプール国マハラジャ「サイ・プリスヴィ・シン2世」(〜17780416没)、摂政「ラニ・チャンダ・ワイジ」(〜17780416)
1769年3月11日 00:00|モロッコ| |||マザガンはモロッコに再編入された
1769年3月16日-09:00|日本|三重県津市|明和6年2月9日|<交替>伊勢津藩32万3千石「藤堂高朗」隠居⇒嫡孫「藤堂高悠」が継ぐ(⇒明和7(1770)年閏6月2日、20歳で病死)
1769年3月17日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|明和6年2月10日|<死去>下野烏山藩3万石「大久保忠卿」(24歳)⇒弟「大久保忠喜」が継ぐ(⇒文化2(1805)年、隠居)
1769年3月27日 00:00|イギリス/インド| |||ハイダル・アリーがイギリス東インド会社と休戦協定
1769年4月-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン「デヴレト4世ギレイ」(2期目〜17700225)
1769年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルタッサレ・ジヤンギ」「マルク・アントニオ・タッシーニ」

1770迄 (1648件)

1769年4月7日-05:30|インド| |||<就任>パナマ共和国統治者(ナワ)「サイド・フェイン・アリ・カン」(~17830826没)

1769年4月8日-02:00|ラトビア/ポーランド| |||<就任>ポーランド・リヴァウニア総督「ホザ・ファト・ザ・イベルク」(2回目~17750323)

1769年4月11日-05:30|インド| |||<死去>パナマ共和国マハラジャ「ラタン・シン」

1769年4月11日-05:30|インド| |||<即位>パナマ共和国マハラジャ「ケシュリ・シン」(~17780328没)、摂政「ニハル・シン」(~17750811没)

1769年4月13日 00:00|イギリス/ポリネシア| |||クック探検隊がツシマ諸島の外島に到達

1769年4月20日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サンタマリア島ドナリア長官「Jose de Vasconcelos e Sousa Caminha Camara Faro e Veiga」

1769年4月20日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サンタマリア島ドナリア長官「Antonio Jose de Vasconcelos e Sousa Camara Caminha Faro e Veiga」(~18010606死去)

1769年5月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Topal Osmanzade Mehmed Pasha」(~同年)

1769年5月7日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「ヨハネス2世」(~10. 18死去)

1769年5月8日-09:00|日本|京都府京丹後市|明和6年4月3日|<死去>京極高長(75歳)前丹後峰山藩主

1769年5月9日-01:00|フランス| |||<ホント・ノウ(ホント・オウ・オ)の戦い>地中海のコレシカ島(仏)の戦いで、フランス軍は圧倒的兵力をもってコレシカ軍を破る/コレシカ民族主義の指導者「ハスカル・パオリ」はイングランドに亡命/コレシカ島(仏)が完全にフランス領となる

1769年5月11日-09:00|日本| ||明和6年4月6日|西宮~兵庫間の30余ヶ村が幕府領に編入される(明和の上知)

1769年5月13日-09:00|日本|東京都江東区|明和6年4月8日|<大相撲>明和6年4月場所「江戸深川八幡宮」(~8日間)優勝(西前2)越ノ海、6勝0敗1休

1769年5月17日 06:00|アメリカ/イギリス| |||イギリスのヴァージニア総督、植民地議会を解散

1769年5月19日-01:00|バチカン| |||<就任>第249代ローマ教皇「クレメンス14世」(~17740922死去)

1769年5月19日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿國務長官「ラザロ・ロ・ツィオ・パウル・イェニ」(~17850223)

1769年6月1日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|明和6年4月27日|<死去>河内狭山藩11000石「北条氏彦」(28歳)⇒長男「北条氏昉」が継ぐ(⇒享和元(1801)年10月26日、隠居)

1769年6月3日 00:00|世界| |||金星が太陽面を通過、世界各地で同時観測し地球と太陽の距離を測定

1769年6月6日-04:00|モリシャス/フランス/レユニオン/セイシェル| |||<就任>マスカリン諸島総督「フランソワ・ジュリアン・デュ・ト・レスネ・シュヴァリエ・デ・ロッシュ」(~17720823)

1769年6月6日-09:00|日本|岡山県高梁市|明和6年5月3日|<死去>板倉勝澄(51歳)前備中松山藩主

1769年6月11日-09:00|日本|愛媛県大洲市|明和6年5月8日|<死去>伊予大洲藩5万石「加藤泰行」(17歳)⇒弟「加藤泰候」が継ぐ(⇒天明7(1787)年7月4日、死去)

1769年6月13日-01:00|フランス| |||フランスがコレシカ共和国を併合

1769年6月18日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「コンスタンティン・シクロエ・マヴロコダット」(4回目~9. 26)

1769年6月30日-09:00|日本|岡山県高梁市|明和6年5月27日|<死去>板倉勝武(35歳)備中松山藩主⇒弟の勝従が継いだ

1769年7月2日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督代行「ヨアヒム・クリスチャン・オッター」(~17700611)

1769年7月3日 00:00|イギリス| |||イギリス人のアー・クライトが水力紡績機を発明

1769年7月4日-09:00|日本|大分県臼杵市|明和6年6月|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉副通」16歳⇒兄「稲葉弘通」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年9月10日、隠居)

1769年7月7日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ハミルトン公・4代グラントン公・ダグラス侯「ジェームズ・ハミルトン」

1769年7月7日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ハミルトン公・5代グラントン公「ダグラス・ハミルトン」先代の弟(~17990802死去)

1769年7月21日-09:00|日本|滋賀県大津市|明和6年6月18日|<死去>本多康桓(56歳)前近江膳所藩主

1769年7月31日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ウィリアム・ブル2世」(~17710915)

1769年8月 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルが良き理性の法を公布

1769年8月1日-09:00|日本|福島県二本松市|明和6年6月29日|<死去>丹羽高寛(63歳)前陸奥二本松藩主

1769年8月2日 00:00|イギリス| |||<死去>8代ウィンチルシー伯・3代ノッティンガム伯「ダニエル・フィンチ」

1769年8月2日 00:00|イギリス| |||<就任>9代ウィンチルシー伯・4代ノッティンガム伯「ジョージ・フィンチ」(~18260802死去)

1769年8月2日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾直轄植民地総督代理「トマス・ハッチソン」(~17740517)

1769年8月7日-09:00|日本| ||明和6年7月6日|<死去>藤間勘兵衛(不明)振付師

1769年8月12日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「モルタ・ヴァンク・アリー・パシャ」(~12. 12)

1769年8月13日-09:00|日本|広島県福山市|明和6年7月12日|<死去>備後福山藩10万石(老中)「阿部正右」(46歳)⇒8月29日、三男「阿部正倫」が継ぐ(⇒享和3(1803)年10月5日、隠居)

1769年8月18日-01:00|イタリア| |||<ブレシア・聖サロ教会爆発事故>イタリアのブレシアにある聖サロ教会に落雷、通廊に保管されていた80トンの火薬に引火して爆発、都市の1/6が破壊され、3,000人の死者を出す大事故となった

1769年8月19日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|明和6年7月18日|<死去>美濃加納藩32000石「永井尚備」(27歳)⇒長男「永井直旧」が継ぐ(⇒寛政2(1790)年9月8日、23歳で死去)

1769年8月24日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|明和6年7月23日|<交替>播磨赤穂藩2万石「森忠洪」隠居⇒長男「森忠興」が継ぐ(⇒安永9(1780)年8月6日、隠居)

1769年8月28日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ジャージー伯「ウィリアム・ウイリアーズ」

1769年8月28日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ジャージー伯「ジョージ・ビュシー・ウイリアーズ」(~18050822死去)

1769年8月29日-09:00|日本| ||明和6年7月28日|豊後と日向で大地震。日向高鍋城と延岡城が破損

1769年8月31日-09:00|日本|東京都|明和6年8月|(~10月)江戸で風邪が大流行/死者多数

1769年9月12日-09:00|日本|山口県下関市|明和6年8月13日|<死去>長門長府藩5万石「毛利匡満」(22歳)⇒弟「毛利匡芳」が継ぐ(⇒天明3(1783)年5月19日、城主格)

1770迄 (1648件)

1769年9月16日 00:00|ポルトガル| |||<就任>初代ポルトガル侯「セバスチャン・ホセ・ド・カルヴァルホ・エ・メロ」初代タイラス公 (~17820508死去)

1769年9月17日-09:00|日本|京都府京都市|明和6年8月18日|<就任>京都所司代「土井利里」(⇒1777 (安永6年8月14日))

1769年9月17日-09:00|日本|静岡県牧之原市|明和6年8月18日|<加増>相良藩2万石「田沼意次」⇒25000石 (⇒明和9 (1772) 年1月15日、3万石に加増)

1769年9月17日-09:00|日本|東京都千代田区|明和6年8月18日|<就任>老中格「田沼意次」(~安永1年1月15日)

1769年9月25日-09:00|日本|東京都|明和6年8月26日|午後2時ころから大風が吹き、多数の家屋が倒壊、深川十三間堂も破損

1769年9月26日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>モルダヴィア総督「クニャース・アレクサンドル・アレクサンドロヴィチ・プロコフスキー」(ロシア軍司令官~1770年1月)

1769年9月26日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||モルダヴィアはロシアに占領される (~17740928)

1769年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリッポ・マネンティ」「フランチェスコ・アントニオ・ガッーリ」

1769年10月2日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|明和6年9月3日|<死去>因幡鹿奴藩3万石「池田澄延」(20歳)⇒弟「池田延俊」が継ぐ (⇒明和8 (1771) 年3月7日、死去)

1769年10月3日-09:00|日本|愛知県西尾市|明和6年9月4日|<死去>三河国西尾藩6万石「松平乗祐」(55歳)⇒10月27日、五男「松平乗完」が継ぐ (⇒寛政5 (1793) 年8月19日、死去)

1769年10月4日-09:00|日本|京都府京都市|明和6年9月5日|<死去>一条道香 (48歳) 元摂政・関白、左大臣

1769年10月8日-12:00|ニュージーランド/イギリス| |||ジェームス・クックがニュージーランドの北島に到着、イギリスの領有権宣言

1769年10月18日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国 (ソモモ朝) 皇帝「テケレ・ハイマノート2世ヨハネス」(1回目~1770年6月)

1769年10月23日-09:00|日本|大阪府大阪市|明和6年9月24日|<就任>大坂城代「久世出雲守広明」(~安永6. 9. 15)

1769年10月29日-09:00|日本|神奈川県小田原市|明和6年10月1日|<死去>相模小田原藩11万3000石「大久保忠由」(34歳)⇒長男「大久保忠顕」が継ぐ (⇒寛政8 (1796) 年10月8日、隠居)

1769年11月4日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ラウラント・オ伯爵・侯爵ルイ・オヴ・アルメイダ・ポルトガル・ソアレス」(~17780430)

1769年11月7日-09:00|日本|広島県福山市|明和6年10月10日|<死去>阿部正福 (70歳) 前備後福山藩主、元大坂城代

1769年11月8日-09:00|日本|東京都江東区|明和6年10月11日|<大相撲>明和6年10月場所[江戸深川八幡宮] (~8日間) 優勝 (西前1) 越ノ海 (稲川)、7勝1敗

1769年11月9日-09:00|日本|東京都|明和6年10月12日|<死去>青木昆陽、流行性感冒のため (72歳、元禄11 (1698) 05 (2生) 儒学者・蘭学者/甘藷先生と呼ばれた

1769年11月13日-05:45|ネパール| |||ゴルダ王「リトゥビ・ナヤン・シャー」によりバクタブルが陥落しマッラ王朝は完全に終焉/カトマズ盆地を完全に手中におさめネパール国王に即位しカトマズを首都とする

1769年11月19日-09:00|日本|京都府京都市|明和6年10月22日|<死去>有栖川宮職仁親王 (57歳) 皇族

1769年11月23日-09:00|日本| |||明和6年10月26日|<死去>初代浜野政随 (74歳) 装剣金工

1769年11月25日-02:00|エチオピア| |||<就任>ケルラント・ゼムカレン公「ヘンター・フォン・ビロン」(~17950328領土をロシアへ譲渡)

1769年11月27日-09:00|日本|東京都|明和6年10月30日|<死去>賀茂真淵 (73歳、1697年3月4日生) 国学者、歌人

1769年11月27日-09:00|日本|徳島県徳島市|明和6年10月30日|<交替>阿波徳島藩25万7千石「蜂須賀重喜」隠居⇒長男「蜂須賀喜昭」が継ぐ (⇒明和7 (1770) 年11月7日「治昭」に改名)

1769年12月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクボ・ワリス (総督) 「Asaf Mehmed Pasha」(~1770. 4)

1769年12月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ヒセンテ・デ・オラレキ」(~1772年6月没)

1769年12月 06:00|アメリカ| |||ニューハンプシャー以外の全植民地が不輸入協定に参加

1769年12月5日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>ワキア総督・領主「ゲラフ・ピョートル・アレクサンドロヴィチ・ルミヤンツェフ」(ロシア軍司令官~1770年)

1769年12月5日-02:00|ルーマニア/ロシア| |||ワキアはロシアが占領 (~1774年9月/ロシア軍は1770年5月~1771年10月に撤退)

1769年12月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホーエンツォレルン＝ジグマリンゲン侯「Joseph Friedrich Ernst」

1769年12月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホーエンツォレルン＝ジグマリンゲン侯「Karl Friedrich」(~17851220死去)

1769年12月12日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「イブナー・ハルル・パシャ」(~17701225)

1769年12月13日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「ジョアキン サルマ・サルダニャ・ロホ」(~17760303)

1769年12月13日-08:00|中国/ミャンマー| |||清・乾隆34年11月16日|清のビルマ遠征が、両軍の撤退と通商の復活という協定を結んで終結

1769年12月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|明和6年11月18日|<移封>石見浜田藩5万石「本多忠肅」⇒三河岡崎藩5万石 (⇒安永6年5月8日 (17770613)、死去)

1769年12月15日-09:00|日本|島根県浜田市|明和6年11月18日|<移封>三河岡崎藩5万石「松平康福」⇒石見浜田藩5万石 (⇒天明5 (1785) 年1月29日、1万石加増され6万石)

1769年12月28日-05:30|インド| |||<就任>ブドゥッコタイ国ラジャ「ラヤ・ラガ・ナタ・トンダ・イマン」(~17891230没)

1769年12月28日-09:00|日本|群馬県館林市|明和6年12月1日|<加増>上野国館林藩54000石「松平武元」+7000石⇒61000石 (⇒安永8 (1779) 年7月25日、死去)

1770年-13:00|トンガ| |||<死去>トンガ大首長「ファタフェイ・トウイ・フ・ロウ・イ・ランギ・トウ・オト」

1770年-13:00|トンガ| |||<即位>トンガ大首長「ファタフェイ・パウホ」(~1784年死去)

1770年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Johan アブラハム・van der Voort」(~1775年)

1770年-08:00|インドネシア| |||<即位>パンカラン君主「Cakraningrat6世」(~1780年)

1770年-08:00|マレーシア| |||<即位>パンダハラ・セリ・マハラジャ「トウン・アフドゥル・マジッド・ビン・トウン・ハサン」(~1802年没)

1770迄 (1648件)

1770年-08:00|マレーシア| |||ハ・ハンは名目上、ジョホール宗主権下にあった(〜1882年)
 1770年-05:30|インド/アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン・カシミール総督「ウル・カーン・カタク」(2回目〜1771年)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>カンパラ国ラジャ「ニラトリ・シン・マルドラージ・プ・ラマルハール・ライ」(〜1794年)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>キルチール国統治者(デューン)「アバ・イ・シン」(〜1787年)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>コッホ・ビール国ラジャ「ラジエント・ラ1世ナラン」(〜1772年没)、摂政「ヘンストウマ(ブータン人)」(〜1772年)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>コダグ国ラジャ「デーグ・アッパ」(〜1774年没)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>シハ国ラジャ「シェール・シン」(〜1800年没)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>ジャインティア国ラジャ「チャトラ・シン・シム・ストウガ」(〜1780年)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>ジャバア国ラジャ「ヒム・シン」(〜1821年)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>ソネール国ラジャ「ジャワル・シン・デオ」(〜1771年没)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>スルプール国ラジャ「フリス・イ・シン」(〜1805年没)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>パトラ国ラジャ「ファテ・ハル」(〜1790年没)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>ハンスタ国統治者(ラジャ・サヒブ)「キラツムシ・ラス」(〜1780年没)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>ハリタナ国統治者(タル・サヒブ)「ウンダシ・ノンハンジ」(〜1820年)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>ヒンドル国ラジャ「ラダカント・シン・マルドラージ・ジャガデブ」(〜1781年)
 1770年-05:30|インド| |||<就任>ブンディ国統治者(オ・ラジャ)「アジット・シン」(〜1773年没)
 1770年-05:30|インド| |||<即位>ゴワ・スルタン「I Temmassongeng Karaeng Katanka Sultan Zainuddin」(〜1778年)
 1770年-05:30|インド/ブータン| |||コッホ・ビール国はブータン宗主権下(〜1774年)
 1770年-05:30|インド| |||ハンガール国カンクラとギューラに分割
 1770年-05:00|パキスタン| |||<就任>チトラル国統治者(ミフタル)「シャー・アフザル1世」(〜1775年)
 1770年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>コーカンド(フェルガナ)ベク「Sulayman Biy」(3週間で死去)⇒「Narbuta Biy」(〜1798年死去)
 1770年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>シャマ汗国摂政「イルダル・ベグ」(〜1774年)
 1770年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>ナフチヴァン汗国ハーン「アリー・ゲリ・カーン」(〜1773年)
 1770年-04:00|アゼルバイジャン| |||<就任>バクー汗国摂政「アブド・アッラー・ベグ」(〜1772年)
 1770年-04:00|セイシェル/フランス| |||フランス人がセイシェル諸島へ入植を開始
 1770年-03:00|ジブチ| |||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「ハマト・ビシ・ナセル」⇒「フマト・ビシ・ムハンマド」
 1770年-03:00|マダガスカル| |||<即位>メリナ王国君主「Andrianjafynandriamanitra」(〜1787年)
 1770年-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>ワラキア総督・領主「アレクサンドル・ガウリロヴィチ・ザミヤチン」(ワラキアのデ・イヴァンのロシア大統領)
 1770年-02:00|ギリシャ/トルコ/ロシア| |||モリア半島南岸でロシアの支援を受けたギリシア人が蜂起
 1770年-02:00|レバノン| |||ユースフ・シャーフ・ガレバノンのアミールとなる
 1770年-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「ハジ・ハリール・パシャ」(〜1772年)
 1770年-01:00|オランダ| |||<就任>ゲルト司令官「ニコラス・ベルナルト・ウス・デ・ホルグ・グレイヴ」(〜1777年没)
 1770年-01:00|ペナン| |||<就任>サヘ統治者「オ・エイモン」(〜1795年)
 1770年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Diego Soler」(〜同年)⇒総督「Domingo Joaquin de Salcedo y Castellanos」(〜1783年)
 1770年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝フィリップスタール方伯「ヴィルヘルム」(〜1806年ヴュースターレン王国に併合)
 1770年-01:00|リトアニア/プロシヤ| |||<就任>リトアニア王室廷吏代行「P. ガブリエル・ラインハルト」(〜1771年)
 1770年-01:00|ナイジェリア| |||<即位>オヨ王国アフィン「アビ・オ・ウン」(〜1789年)
 1770年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「フランソワ・パウ・イッチ」(〜1777年)
 1770年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「セ・ビセンテ・ペレイラ」(〜1774年)
 1770年 00:00|セネガル| |||<就任>ジョロ帝国統治者(フルバ・ジョロ)「ムハ・クハ・ス・ンジャイ」(〜1805年)
 1770年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>バナ諸島首長「ジェームス・クリブランド」(〜17910324没)
 1770年 04:00|アンティグア・バブーター| |||<就任>アンティグア大統領「トマス・ジャベス」⇒「エドワード・オットー・ヘイヤー」
 1770年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王代理「Gaspard Bayon」
 1770年 05:00|ハイチ| |||カプ・フランスに代わりポルト・フランスが首都となる
 1770年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領西フロリダ植民地総督「ピーター・チェスター」(〜17810509)
 1770年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ファン・マリア・ビセンソ」(〜1778年)
 1770年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルイジアナ植民地総督「ルイス・デ・ウンサガ」(〜1777年)
 1770年 10:00|ハワイ| |||<死去>オアフ島・カワイ島国王「Peleioholani」
 1770年 10:00|ハワイ| |||<即位>オアフ島国王「Kumahana」(〜1773年)
 1770年 10:00|ハワイ| |||<即位>カワイ島女王「Kamakahahelei」(〜1794年死去)
 1770年1月-02:00|ルーマニア/ロシア| |||<就任>モルダヴィア総督「セシオン・パヴロヴィッチ・チルノイ」(モルダヴィアのデ・イヴァンのロシア大統領〜10月)
 1770年1月5日-09:00|日本| |||明和6年12月9日|<初演>近松半二、八民平七、松田才二、三好松洛、竹田新松、近松東南、竹本三郎兵衛「近江源氏先陣館」竹本座
 1770年1月6日-09:00|日本|福岡県福岡市|明和6年12月1日|<交替>筑前福岡藩473100石「黒田継高」隠居⇒養子「黒田治之」が継ぐ(⇒天明元(1781)年8月21日、死去)
 1770年1月8日-09:00|日本|広島県広島市|明和6年12月12日|<死去>広島新田藩3万石「浅野長喬」(38歳)⇒翌年2月4日、養子「浅野長員」が継ぐ(⇒寛政12(1800)年9月10日、隠居)

1770迄 (1648件)

1770年1月12日 00:00|イギリス| |||<死去>初代コータウン伯「ジェームズ・ストップフォード」
1770年1月12日 00:00|イギリス| |||<就任>2代コータウン伯「ジェームズ・ストップフォード」(~18100330死去)
1770年1月16日-09:00|日本|長崎県五島市|明和6年12月20日|<交替>肥前福江藩12530石「五島盛道」隠居⇒次男「五島盛運」が継ぐ(⇒文化6年5月9日(18090621)、死去)
1770年1月19日 06:00|アメリカ/イギリス| |||(ゴールデン・ヒルの戦い)ニューヨークで、軍隊宿舎法に反対植民地住民がイギリス軍と衝突し、流血の惨事となる
1770年1月21日-09:00|日本|広島県福山市|明和6年12月25日|広島近郊広瀬村出火、小屋町類焼、町家111軒(183竈)、百姓家15軒(45竈)焼失
1770年1月27日-09:00|日本|北海道|明和7年|この年、ロシアの狩猟隊、ウルフ島にきてエトワア奴らに乱暴、エトワア奴の長老らを殺害
1770年1月27日-09:00|日本| ||明和7年1月|<刊行>吉文字屋市兵衛「近代百物語」
1770年1月27日-09:00|日本| ||明和7年1月|<刊行>土岐氏家臣で俳人の虚実庵春路、句集「はるの遊び」
1770年1月28日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン王国第12代首相「ノース男爵フレデリック・ノース」トリー党(~17820322)
1770年2月5日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金致仁」(~17720411)
1770年2月11日-09:00|日本|東京都|明和7年1月16日|<初演>福内鬼外(平賀源内)、浄瑠璃「神霊矢口渡」江戸外記座
1770年2月25日-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア汗国ハン「カラン2世ギレイ」(~1771.1死去)
1770年3月 00:00|イギリス/ニュージーランド| |||クックがニュージーランドを6か月間かけて測量し島を確認
1770年3月 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領西フォークランド海軍担当官「George Farmer大佐」(~6.10)
1770年3月3日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督代行「フランシスコ・ハビエル・デ・モリス・イ・カステホン・デ・アロ」(~17720306)
1770年3月5日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<ホストン虐殺事件>アメリカ、ホストンの街頭で市民とイギリス駐屯軍とが衝突し、投石した市民3名が兵に射殺され2名が瀕死の重傷を負った
1770年3月10日-05:30|インド| |||<死去>ベンガル太守「ナジャート・アリー・ハーン」
1770年3月10日-05:30|インド| |||<就任>ベンガル太守「アシュラフ・アリー・ハーン」(~3.24死去)
1770年3月24日-05:30|インド| |||<死去>ベンガル太守「アシュラフ・アリー・ハーン」
1770年3月24日-05:30|インド| |||<就任>ベンガル太守「ムハメド・アリー・ハーン」(~17930906死去)
1770年4月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Abdarrahman Pasha」(~1771年)
1770年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ガエターノ・ベルツツィ」(「ホンペ・イ・ゾリ」)
1770年4月3日-09:00|日本|東京都港区|明和7年3月8日|<大相撲>明和7年3月場所「江戸芝西久保八幡宮」(~8日間)優勝(西関脇)関ノ戸、7勝0敗1分
1770年4月4日-02:00|ギリシャ/トルコ/ロシア| |||クレタ島でロシアの保護下でスファキア蜂起(~17710617)
1770年4月5日 04:00|グレートブリテン/イギリス| |||<就任>グレートブリテン総督・最高司令官「ロバート・メルヴィル」(2回目~17710713)
1770年4月12日 00:00|イギリス/アメリカ| |||イギリスのフレデリック・ノース首相が、茶税を除くタックス歳入条例廃止
1770年4月19日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||イギリス人のジェームズ・クックがオーストラリア上陸、ボタニ湾と命名して領有宣言
1770年5月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「エマヌエル・マノレ・ジヤニル」(~1771年10月)
1770年5月4日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクリア総督「Frederik Christian Moth」(~17720301)
1770年5月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝フィリップ＝スタール方伯「カール1世」
1770年5月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝フィリップ＝スタール方伯「ヴィルヘルム」(~1806年ヴァイマル王国に併合)
1770年5月13日 06:00|ロシア/スペイン| |||<就任>コマケア県暫定総督「アントニオ・フェランデイス」(~同年)⇒「バルトロメ・ペレス・キアノ」(~1775年)
1770年5月16日-01:00|フランス/オーストリア| |||フランス王太子ルイ(のちのフランス王ルイ16世)が、オーストリア女帝マリア・テレジアの末娘マリ・アントワネットと結婚
1770年5月23日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アフマド・ブン・サイード」(~7.12)
1770年5月24日 11:00|日本|秋田県秋田市|明和7年4月29日|<出羽久保田明和7年の大火>夜五つ時(20時ごろ)五丁目の斎藤家より出火、東照宮も炎上するなど城下への延焼が町数で10余丁に達し、八幡村まで飛び火/被災数は屋敷持の家全焼772軒、同消火のため潰家22軒、同痛んだ家7軒、同半焼1軒。借家15軒、丁内上り屋敷1軒、扶持人(給料生活の下級武士)9軒、長屋借家全焼540軒、同潰家15軒、土蔵21棟、1人死亡
1770年5月26日-06:00|バングラデシュ/インド/イギリス| |||バングラデシュは英領インドの一部(~19470814)
1770年5月27日-02:00|エジプト/サウジアラビア| |||エジプト太守のアリー・ベイがヒジャーズに遠征
1770年5月30日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王ルイ15世の宮廷画家、ランソワ・ブーシェ(1703-、66歳)優美で貴族的な画風で知られる「ロココ美術」の画家
1770年6月-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝)皇帝「セネヨス2世」(~12月)
1770年6月2日-09:00|日本|新潟県佐渡市|明和7年5月9日|幕府、佐渡蔵奉行を廃止
1770年6月6日-09:00|日本| ||明和7年5月13日|<死去>4代山本春正(68歳)蒔絵師
1770年6月10日 00:00|イギリス| |||<死去>3代チャムリー伯「ジョージ・チャムリー」
1770年6月10日 00:00|イギリス| |||<就任>4代チャムリー伯「ジョージ・チャムリー」(⇒18151122、初代チャムリー侯~18270410死去)
1770年6月11日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督代行「ヨハン・ダニエル・フレリッヒ」(~17720615)
1770年6月14日-01:00|フランス| |||フランスの天文学者メシエがレクセル彗星発見(最初に軌道を観測したレクセルの名前が付けられている)(7月1日、地球から約226万kmと史上最も地球近傍を通過)
1770年6月20日-09:00|日本|長野県諏訪市|明和7年5月27日|<死去>諏訪忠林(68歳)前信濃諏訪藩主
1770年7月-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「シモン・デ・アンダ」(2期目~17761030)
1770年7月3日 04:00|アンティグア・バハマ/イギリス| |||<就任>リーワード・カリブ諸島総司令官・総督代行「リチャード・ホークン

1770迄 (1648件)

ー・ロサック」(~17720201)

1770年7月6日-04:00|ロシア/トルコ| ||ロシア暦6月25日|第1次ロシア・トルコ戦争のチェシュメの海戦で、オスマン帝国艦隊がロシア艦隊に大敗

1770年7月7日-09:00|日本|東京都|明和7年6月15日|<死去>鈴木春信(46歳、享保10(1725)年生)錦絵の創始などで浮世絵画法を革新した

1770年7月8日-09:00|日本|愛知県豊橋市|明和7年6月16日|<死去>三河吉田藩7万石「松平信礼」(34歳)⇒長男「松平信明」が継ぐ(⇒文化14年8月16日(18170926)、死去)

1770年7月9日-09:00|日本| ||明和7年6月17日|<死去>初代中村吉右衛門(77歳)歌舞伎役者

1770年7月10日-09:00|日本|長野県佐久市|明和7年6月18日|<死去>信濃岩村田藩15000石「内藤正弼」(38歳)⇒次男「内藤正興」が継ぐ(⇒寛政4(1792)年10月17日、死去)

1770年7月12日-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ・シャリフ「アフドゥッラー4世・イブン・フサイン」(~17730205)

1770年7月14日-09:00|日本|京都府京都市|明和7年6月22日|<死去>京極宮公仁親王(38歳)皇族

1770年7月18日-09:00|日本|栃木県大田原市|明和7年6月26日|<死去>大関増興(62歳)前下野黒羽藩主

1770年7月24日-09:00|日本|三重県津市|明和7年閏6月2日|<死去>伊勢津藩32万3千石「藤堂高悠」(20歳)病死⇒同月26日、兄「藤堂高嶷」が継ぐ(⇒文化3(1806)年8月26日、死去)

1770年7月31日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Miguel de Muesas」(~17760602)

1770年8月 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド総督「ラウリッ・アント・レ・アス・トナル」(~1785年8月)

1770年8月1日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|明和7年閏6月10日|<死去>肥前佐賀藩32万石「鍋島重茂」(38歳)⇒弟「鍋島治茂」が継ぐ(⇒文化2年1月10日(18050209)、死去)

1770年8月1日-01:00|セルビア/ロシア/トルコ| ||ロシア暦7月21日|第1次ロシア・トルコ戦争のバルカン半島のモルダヴィアの戦いでオスマン帝国軍がロシア軍に敗れる

1770年8月2日-05:30|インド| ||<死去>マイソール国マハラジャ「ナンジヤラジャ・ウデ・ヤール」首席大臣「ハイダル・アリー」の命によって送られた毒入りの牛乳を飲み、シュリーランガパットの宮殿で

1770年8月2日-05:30|インド| ||<即位>マイソール国マハラジャ「チャマラジャ8世・ウデ・ヤール」(~17760916没)、摂政「ハイダー・アリー」(1回目~17760916)

1770年8月8日 00:00|イギリス/インド| ||「ハイダル・アリー」がイギリスと友好条約を締結

1770年8月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・乾隆35年6月18日|朝鮮、叢校刑を廃止

1770年8月14日-09:00|日本|兵庫県姫路市|明和7年閏6月23日|<立藩>姫路新田藩1万石「酒井忠交」姫路藩から分与(⇒享和4(1804)年1月20日、死去)

1770年8月17日-09:00|日本|三重県津市|明和7年閏6月23日|<交替>伊勢久居藩53000石「藤堂高敦」本家伊勢津藩を継ぐ⇒9月7日、弟「藤堂高尙」が継ぐ(⇒安永4(1775)年12月28日、隠居)

1770年8月19日-05:30|インド| ||<就任>パナラス国ラジャ「チャイト・シン」(~17810914)

1770年8月21日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|明和7年7月|<交替>肥前鹿島藩25000石「鍋島直熙」佐賀藩を継ぐ⇒養子「鍋島直宜」が継ぐ(⇒享和元(1801)年4月21日、隠居)

1770年8月22日 00:00|イギリス/オーストラリア| ||イギリスのクックがオーストラリア東部の領有を宣言

1770年8月25日-09:00|日本|千葉県富津市|明和7年7月5日|<交替>上総飯野藩2万石「保科正富」隠居⇒長男「保科正率」が継ぐ(⇒享和2(1802)年6月3日、隠居)

1770年8月27日-04:00|セイシェル/フランス| ||<就任>フランス領セイシェル司令官「ジャン=シャルル・ド・ローネ・ド・ラ・ペリエール」(~1772年)

1770年9月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| ||<即位>ヒヴァ・ハン国第41代ハン「ホレクイ」アブル=ハイルの孫、小「ジュズ」のエラル=ハンの子(~10月)

1770年9月1日-09:00|日本|福島県白河市|明和7年7月12日|<死去>陸奥白河藩11万石「松平定賢」(62歳)⇒8月27日、長男「松平定邦」が継ぐ(⇒天明3(1783)年10月16日、隠居)

1770年9月4日 03:00|アルゼンチン/スペイン| ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ファン・ホセ・デ・グエルティス・イ・サルセド」(~17760731)

1770年9月10日-09:00|日本|大分県大分市|明和7年7月21日|<交替>豊後府内藩22200石「松平近形」隠居⇒長男「松平近儔」が継ぐ(⇒文化元(1804)年12月6日、隠居)

1770年9月15日-09:00|日本|大阪府豊中市|明和7年7月26日|<交替>摂津麻田藩1万石「青木一新」隠居⇒婿養子「青木一貫」が継ぐ(⇒天明6(1786)年6月28日、死去)

1770年9月16日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国秘密評議会議長「トート・ティル・ガウ・ノ伯爵オットー」(~12.10)

1770年9月17日-09:00|日本|大阪府豊中市|明和7年7月28日|日本で「赤気(せっき、オーロラ)」が観測された。京都でも見ることができた/放射状の白い筋が入った扇形の赤いオーロラだった

1770年10月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| ||<即位>ヒヴァ・ハン国第42代ハン「アグム(アフドゥッラー)」アブル=ハイルの孫(1期目~1771年)

1770年10月-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ対立シャリフ「アフマド・ブン・サイード」(~同月)

1770年10月-02:00|ルーマニア/ロシア| ||<就任>モルダヴィア総督「アント・レイ・イワノヴィッチ・メーダー」(モルダヴィアのデイウ・アンのロシア大統領~1771年2月)

1770年10月-02:00|ギリシャ/ロシア| ||ロシアがナクソス島とキクラデス諸島を占領(~17750603)

1770年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・ジヤンニニ」「アントニオ・カピッティオニ」

1770年10月4日 00:00|イギリス| ||<死去>5代ワイト・デール侯「ジョージ・ヘイ」

1770年10月4日 00:00|イギリス| ||<就任>6代ワイト・デール侯「ジョージ・ヘイ」(~17871116死去)

1770年10月5日-09:00|日本|茨城県筑西市|明和7年8月17日|<死去>常陸下館藩2万石「石川総候」(53歳)⇒三男「石川総弾」が継ぐ(⇒寛政7年7月12日(17950826)、死去)

1770年10月6日-09:00|日本|兵庫県姫路市|明和7年8月18日|<死去>播磨安志藩1万石「小笠原長達」(58歳)⇒次男「

1770迄 (1648件)

小笠原長為」が継ぐ(⇒天明2(1782)年2月12日、死去)
1770年10月12日-09:00|日本|広島県|明和7年8月24日|安那郡の農民, 小作地の加地子免除・借銀の年賦払等を福
山藩に願ひ, 一揆発生するたちまち全藩に波及し, 芦田郡村々の庄屋宅等打ちこわされる
1770年10月13日-09:00|日本|新潟県新潟市|明和7年8月25日|涌井藤四郎・岩船屋佐次兵衛, 新潟明和騒動の責任
者として市中引き回しの上斬首される
1770年10月15日-09:00|日本|広島県|明和7年8月27日|1000余人が鞆の御用達商人宅を破却
1770年10月18日-09:00|日本|京都府福知山市|明和7年8月30日|<死去>丹波福知山藩32000石「朽木玄綱」(62歳)⇒
10月24日、養子「朽木綱貞」が継ぐ(⇒安永9(1780)年8月6日、隠居)
1770年10月18日-09:00|日本|東京都|明和7年8月30日|<死去>2代澤村宗十郎(58歳)歌舞伎役者
1770年10月19日-09:00|日本|東京都中央区|明和7年9月|<初演>歌舞伎「日高川入相花王」森田座
1770年10月20日-09:00|日本| |明和7年9月2日|幕府「油仕法」を改正
1770年11月 00:00|サントメ・プリンセ /ポルトガル| |<就任>サントメ・プリンセ 総督「Vicente Gomes Ferreira」(~1779. 7)
1770年11月4日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |<エジプトのマムルーク朝のアリー・ベイがシリアに侵攻
1770年11月9日 00:00|イギリス| |<死去>4代アール公「ジョン・キャンベル」
1770年11月9日 00:00|イギリス| |<就任>5代アール公「ジョン・キャンベル」(~18060524死去)
1770年11月21日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|明和7年10月5日|<死去>鍋島直郷(53歳)前肥前鹿島藩主
1770年12月-03:00|エチオピア| |<即位>エチオピア帝国(後期ソモン朝) 皇帝「テケレ・ヘイマノット2世ヨハネス」(2回目~17770413)
1770年12月5日 00:00|イギリス| |<死去>イギリスの数学者スターリング /78歳(誕生1692年)スターリングの公式
1770年12月9日-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |<就任>ホースニア総督「メフメト・ハッシャ」(~17720907)
1770年12月15日-09:00|日本| |明和7年10月29日|<死去>石崎元徳(78歳)画家
1770年12月15日-09:00|日本|愛媛県大洲市|明和7年10月29日|大洲領忽那島に大火があり、146戸を焼失
1770年12月15日-09:00|日本|宮崎県延岡市|明和7年10月29日|<交替>日向延岡7万石「内藤政陽」隠居⇒婿養子「内
藤政脩」が継ぐ(⇒寛政2(1790)年8月20日、隠居)
1770年12月23日-09:00|日本|徳島県徳島市|明和7年11月7日|<改名>阿波徳島藩25万7千石「蜂須賀喜昭」⇒「蜂須
賀治昭」(⇒文化10(1813)年9月7日、隠居)
1770年12月25日-02:00|トルコ| |<就任>オスマン帝国大宰相「シラファール・メフメト・ハッシャ」(~17711211)
1770年12月25日-01:00|フランス| |<就任>フランス王国首席大臣「ルネ・ニコラス・シャルル・オーガスト・ド・モレー」(~17740823)
1770年12月25日-09:00|日本|東京都新宿区|明和7年11月9日|<大相撲>明和7年11月場所[江戸市ヶ谷左内坂長龍
寺](~8日間)優勝(西東大関)釋迦ヶ嶽, 6勝0敗1預1休